

7445



統監府法規提要

明治四十三年三月三十一日現行

統  
監  
府

明治  
43. 5. 18  
寄贈

統監府

寄贈











追録	第一輯 官制	頁行 誤	正	二五四十三	四十三	三	二	頁行 誤	正	二五八	一五八
	第二輯 官規	頁行 誤	正	四十三	三	二	二	頁行 誤	正	一五八	一五八
第六輯 會計	附錄	頁行 誤	正	二五四十三	四十三	三	二	頁行 誤	正	二五八	一五八
	年別索引	頁行 誤	正	四十三	三	二	二	頁行 誤	正	一五八	一五八

# 統監府法規提要

## 凡例

- 一本書ハ明治四十三年一月三十一日現行ノ統監府法令竝
- 統監府ニ關係ヲ有スル法令ヲ事類ニ從ヒ輯録ス
- 一他ノ法令ヲ準用シタルモノハ參照トシテ之ヲ掲クルモ
- 一冗長ニ渉ルモノハ其ノ件名ノミヲ掲ケ或ハ之ヲ省略ス
- 一日韓條約、協定又ハ取極書等ノ如キハ特ニ之ヲ採録セリ
- 一各法令ノ首ニハ題目ヲ掲クルヲ例トス但シ事項ノ相同
- シキモノ又ハ主タル法令ニ附隨セシムルヲ便トスルモ
- 一ノハ一題目ノ下ニ併載スルモアリ
- 一法令公布ノ様式ハ之ヲ省略シ公布ノ年月、種別、番號ヲ題
- 目ノ下ニ掲ク

凡例

一



- 一 本書ハ概ネ法令ノ全文ヲ掲載スト雖其ノ附録書式圖表  
雛形等ノ如キハ略シテ之ヲ載セサルモアリ
- 一 各法令中加除改正ニ係ル條項字句ハ直ニ修正ヲ加ヘ其  
ノ改正法令ノ年次番號ヲ本令番號ノ次ニ掲ク但シ統監  
府及其ノ所管官制ニ付テハ既ニ廢止ニ係ルモノヲモ便  
宜上併セテ之ヲ纂輯シ一括シテ卷首ニ掲載セリ
- 一 他ノ法令ノ改正廢止ニ依リ自然ニ消滅シ又ハ變改シタ  
ル等ノ文字ニハ注意符〔 〕ヲ施シ改竄ヲ加ヘス
- 一 在外指定學校ノ指定等ノ如キハ其ノ令文ヲ省キ表ニ製  
シテ一覽ニ便ス
- 一 一時ノ公布ニ止マルモノ及一般ノ知悉ヲ要セスト認ム  
ル法令及内訓内規ハ之ヲ省略ス
- 一 韓國政府ノ公布シタル法令ニシテ統監府ニ於テ其ノ譯

文ヲ告示シタルモノハ之ヲ總括シテ附録トナシタリ  
 一年別索引ヲ作り之ヲ末尾ニ附シテ檢索ニ便ス  
 一 明治四十三年二月一日ヨリ三月末日ニ至ルマテノ間ニ  
 於テ公布ニ係ル法令ハ之ヲ輯メテ追録トシ其ノ題目ハ  
 之ヲ目次中ニ總括セリ

明治四十三年三月

統監府監查部



# 統監府法規提要總目次

第一輯	官制	一
第二輯	官規	七三
第一章	官等等級及俸給	七三
第二章	手當、諸給、旅費	一〇四
第三章	任用、採用、試驗	一二六
第四章	恩給、退隱料、扶助料、退官賜金	一五五
第五章	分限	一九〇
第六章	服務紀律	一九五
第七章	賞罰	二〇〇
第三輯	服制、徽章	二〇七
第四輯	公文式、雜	二一九
第五輯	外事	二二五
第一章	條約及諸制	二二五
第二章	外國旅券	二九九
第六輯	會計	三〇七
第一章	會計法	三〇七
第二章	豫算及決算	三七九
第三章	工事及物件ノ賣買、貸借	三八三



第四章	收入	三八四
第五章	支出	四二三
第六章	出納官吏	四五八
第七章	金庫	四八五
第八章	官有財産	五一六
第九章	保管、供託	五一九
第十章	會計検査	五四一
第七章	居留民團	六二九
第八章	警察	六六七
第九章	宗教	六九七
第十章	民事	七〇三
第十一章	刑事、監獄	七〇七
第十二章	裁判	七二五
第十三輯	租稅	七三九
第十四輯	學事及時	七五三
第十五輯	會社、組合	七八三
第十六輯	銀行、度量衡	七九三
第十七輯	特許、意匠、實用新案、商標、商號、著作權	八一七
第一章	特許	八一七

第二章	意匠	八九三
第三章	實用新案	九〇八
第四章	商標	九二〇
第五章	商號	九三九
第六章	著作權	九四〇
第十八輯	通信	九五三
第一章	郵便	九五三
第二章	郵便爲替	九七六
第三章	郵便貯金	九八一
第四章	電信電話	一〇〇二
第十九輯	土地建物	一〇七一
第二十輯	軍事	一〇七三
第二十一輯	褒賞	一〇七七
第二十二輯	船舶	追録九一

附 錄

韓國政府ノ法令ニシテ統監府ニ於テ其ノ譯文ヲ告示シタルモノ

第一章	内部主管事項	一
第二章	度支部主管事項	三四
第三章	農商工部主管事項	一〇二



總目次

第四章 學部主管事項……………二四四

第五章 民事、刑事及商事ニ關スル事項……………二五二

# 統監府法規提要目次

## 第一輯 官制

● 統監府及理事廳設置(三八勅令二四〇)……………	一
● 統監府及理事廳官制(三八勅令二六七)……………	一
○ (參照)領事官職務規則(三三勅令一五三)……………	五
○ 內國官憲管掌事項ニ付統監ノ職權ニ關スル制(三九法律五七)……………	六
○ 同上法律ニ依リ統監管掌事項(三九勅令一六七)……………	六
○ 韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ニ對スル統監及韓國駐節軍司令官ノ權限(四二勅令三四〇)……………	七
○ 統監府事務分掌規程(四〇統訓二一)……………	七
○ 理事廳職員定員令(三八勅令二六九)……………	九
○ 理事廳位置及管轄區域(三九統令六)……………	九
● 統監府司法廳官制(四二勅令二四二)……………	一二
○ 統監府司法廳分課規程(四二統訓二四)……………	一三
● 統監府裁判所令(四二勅令二三六)……………	一四
○ 統監府警視警部ノ檢事ノ職務取扱ニ關スル制(四二統訓二八)……………	一九
○ 統監府裁判所ノ名稱位置及管轄區域(四二統令二八)……………	一九
○ 統監府地方裁判所支所ノ名稱位置及管轄區域(四二統令二九)……………	二六
○ 統監府裁判所開廳期日(四二統令一〇六)……………	二七



- 未開廳區裁判所事務取扱ニ關スル制(四二統令三〇).....二八
- 統監府裁判所及檢事局事務章程(四二統令三三).....二九
- 統監府裁判所及檢事局處務規程(四二統訓二六).....三一
- 統監府司法警察官官制(四二勅令二四四).....三三
- 統監府監獄官制(四二勅令二四三).....三四
- 官吏待遇監獄職員定員(四二統令四五).....三五
- 看守所長設置(四二統令四六).....三五
- 監獄及分監ノ名稱位置(四二統令三一).....三六
- 統監府營林廠官制(四〇勅令七二).....三七
- 同上中改正ノ件(四三勅令九七).....三七
- 統監府營林廠ノ位置(四二統令一〇九).....三八
- 統監府特許局官制(四一勅令二〇二).....三八
- 同上中改正ノ件(四三勅令九八).....三八
- 統監府特許局ノ位置(四二統令一〇).....三九
- 統監府特許局出張所設置(四一統令二二六).....三九
- 統監府特許局事務取扱所設置(四二統令四三).....三九
- 統監府特許局分課規程(四二統訓一九).....四〇
- 統監府特許局特許品陳列所規則(四二統令二〇).....四一
- 統監府中學校官制(四三勅令九九).....四一
- 統監府中學校長職務規程(四三統訓三).....四二
- 統監府通信官署官制(三八勅令二六八).....四二
- 同上中改正ノ件(四三勅令九六).....四二
- 郵便官署ヲシテ年金恩給等ノ事務ヲ取扱ハシムルノ制(第六輯第五章ニ收ム).....四二
- 統監府通信管理局分課規程(三九統訓二八).....四三
- 統監府郵便局分課規程(四一統訓一五).....四五
- 統監府郵便局長職務章程(四二統訓一六).....五七
- 電信電話線等維持上特ニ受持區域ヲ定ムルヲ得ルノ制(四二統訓一〇).....六一
- 郵便及電信取扱所取扱事務(三九統令一〇〇).....六一
- 郵便所取扱事務(四〇統令三六).....六二
- 統監附陸海軍武官々々制(三九勅令一五).....六二
- 韓國駐荷軍司令部條例(三九勅令二〇五).....六二
- 韓國駐荷軍陸軍軍法會議法(四〇法律四六).....六四
- 陸軍監獄管理ニ關スル制(四〇勅令四一).....六五
- 韓國軍人軍屬ノ犯罪審判ニ關スル制(四二勅令二九二).....六五
- 韓國駐荷憲兵ニ關スル制(四〇勅令三二三).....六七
- (參照)憲兵條例(三一勅令三三七).....六七
- 憲兵隊ノ配置及憲兵分隊管區表(四二統令五〇).....七一

追録 二

追録 三

- 統監府通信官署官制(三八勅令二六八).....四二
- 同上中改正ノ件(四三勅令九六).....四二
- 郵便官署ヲシテ年金恩給等ノ事務ヲ取扱ハシムルノ制(第六輯第五章ニ收ム).....四二
- 統監府通信管理局分課規程(三九統訓二八).....四三
- 統監府郵便局分課規程(四一統訓一五).....四五
- 統監府郵便局長職務章程(四二統訓一六).....五七
- 電信電話線等維持上特ニ受持區域ヲ定ムルヲ得ルノ制(四二統訓一〇).....六一
- 郵便及電信取扱所取扱事務(三九統令一〇〇).....六一
- 郵便所取扱事務(四〇統令三六).....六二
- 統監附陸海軍武官々々制(三九勅令一五).....六二
- 韓國駐荷軍司令部條例(三九勅令二〇五).....六二
- 韓國駐荷軍陸軍軍法會議法(四〇法律四六).....六四
- 陸軍監獄管理ニ關スル制(四〇勅令四一).....六五
- 韓國軍人軍屬ノ犯罪審判ニ關スル制(四二勅令二九二).....六五
- 韓國駐荷憲兵ニ關スル制(四〇勅令三二三).....六七
- (參照)憲兵條例(三一勅令三三七).....六七
- 憲兵隊ノ配置及憲兵分隊管區表(四二統令五〇).....七一

第二輯 官規

第一章 官等等級及俸給



- 統監府及理事廳高等官等令(三八勅令二七一)廢止 ..... 七三
- (參照) 高等官官等俸給令(二五勅令九六) 全部改正 ..... 七三
- 高等官官等俸給令(四三勅令一三四) ..... 追録五
- 初級官等ノ制限ヲ受ケサル高等文官他ノ高等文官ト爲ル場合ノ官等ニ關スル制 (三六勅令一八五) ..... 七五
- 統監府總務長官及統監秘書官ニ初級ノ制限ヲ適用セサル制(本輯第三章ニ收ム) ..... 七五
- 統監府中學校教諭、講師俸給支給等ニ關スル制(四三勅令一六五) ..... 追録四四
- (參照) 明治四十三年勅令第五百五十四號 ..... 追録四五
- 統監府及理事廳職員給與令(三八勅令二七三)廢止 ..... 七六
- 統監府及所屬官署技師官等給與令(四〇勅令六八) 廢止 ..... 七九
- 文官判任官等級表抄(二七勅令四三) ..... 七九
- 判任官俸給令(二四勅令八三) 全部改正 ..... 八〇
- 判任官俸給令(四三勅令一三五) ..... 追録四五
- 月俸三十圓未滿ノ判任官俸給ニ關スル制(三九勅令二一六)廢止 ..... 八一
- 同上中改正ノ件(四三勅令一三六) ..... 八一
- 統監府司法廳職員官等給與令(四二勅令二四六)廢止 ..... 八二
- 統監府判事及檢事官等給與令(四二勅令二四七) ..... 八二
- 同上中改正ノ件(四三勅令一六三) ..... 追録四九
- 統監府判事、檢事ニ初級ノ制限ヲ適用セサルノ制(四二勅令二五二) ..... 八四

- 統監府裁判所書記長、通譯官、書記、通譯生及統監府監獄職員官等給與令(四二勅令二四八)廢止 ..... 八五
- 韓國人タル裁判所及監獄職員ノ給與ニ關スル制(本輯第三章ニ收ム) ..... 八五
- 統監府警視、警部官等給與令(四二勅令二四九)廢止 ..... 八五
- 統監府巡查ノ給與ニ關スル制(本輯第三章ニ收ム) ..... 八五
- 官吏待遇統監府監獄職員給與令(四二勅令二五一) ..... 八六
- (參照) 奏任及判任待遇監獄職員給與令(三九勅令二七六) ..... 八六
- 韓國人タル統監府看守ノ給與ニ關スル制(四二統令四四) ..... 八九
- 統監府營林廠職員官等給與令(四〇勅令七三)廢止 ..... 九〇
- 營林廠高等官ノ官等ニ關スル制(四〇勅令七五) ..... 九〇
- 統監府特許局職員官等俸給令(四一勅令二〇三)廢止 ..... 九〇
- 統監府通信官署職員官等給與令(三八勅令二七四)廢止 ..... 九一
- 滿韓在勤文官加俸令(三九勅令三〇六)廢止 ..... 九二
- 臺灣滿韓及樺太在勤文官加俸令(四三勅令一三七) ..... 追録五〇
- 統監府及所屬官署職員ノ加俸額ニ關スル制(四〇統令一三) ..... 九三
- 同上廢止ノ件(四三統令一一) ..... 追録五〇
- 官吏待遇監獄職員及巡查ノ加俸額ニ關スル制(四二統令四七) ..... 九三
- 同上中改正ノ件(四三統令一一) ..... 追録五一
- 文官俸給支給細則(二五大令一一) ..... 九三
- 官制及俸給令改正ノ際俸給支給方(二四勅令一六五) ..... 九五
- 陸海軍ニ召集セラレタル文官俸給ニ關スル制(三七勅令二〇六) ..... 九五
- 準士官以下ノ受恩給者文官ニ任用ノ場合俸給支給方(三三勅令一三二) ..... 九五



- 進士官以下ノ受恩給者文官ニ任用ノ場合俸給計算方(三三六令一九).....九六
- 進士官以下ノ受恩給者文官ニ任用ノ場合諸給與及納金計算方(三三六令二七三).....九六
- 雇員俸給支給例(二四八五八).....九六
- 雇員俸給及備員其ノ他ニ給スル諸手当支給方(二六六令七).....九七
- 各應雇等日給ノ者休暇日ニモ給額支給(八本達一一四).....九七
- 在外指定學校職員俸給規則(四一統令四八).....九八
- 統監附陸海軍武官給與制(三九勅令一六).....一〇〇
- 韓國駐節陸軍部隊給與令(三九勅令二七九).....一〇〇
- 同上中改正ノ件(四三勅令一四四).....追録五一

第二章 手当、諸給、旅費

- 傳染病豫防救治ニ従事スル官吏準官吏及備員月手当支給制(二八勅令七一).....一〇四
- 受恩給者召集手当支給制(三八勅令一七九).....一〇四
- 統監府及所屬官署職員特別給與令(四三勅令一六二).....追録五二
- 司法廳、裁判所及監獄職員ノ差額手当ニ關スル制(四二勅令二五〇).....一〇四
- 統監府郵便所長給與ニ關スル制(四三勅令一六六).....追録五三
- 統監府郵便所長手当額(四〇統令二).....一〇五
- 年額又ハ月額ノ手当金支給方(三二大令一).....一〇五
- 宿直又ハ徹夜勤務者食料及特別文具ニ關スル制(二四勅令二七).....一〇五
- 在外指定學校職員手当及舍宅給與方(三九統令五四).....一〇六

- 統監府及所屬官署職員宿舍料支給方(四〇勅令一四九).....一〇六
- 看守、女監取締、非番勤務手当、宿料及特別手当支給規則(四二統訓三二).....一〇六
- 看守、女監取締給與品及貸與品規則(四二統令五三).....一〇八
- 監獄備人給與品及貸與品規程(四二統令五四).....一一一
- 内國旅費規則(三〇勅令三三三).....一一七
- 統監府及理事廳囑託員、雇員其ノ他旅費規則(三九年大藏大臣承認).....一一九
- 司法廳、裁判所及監獄囑託員、雇員備人旅費規則(四二統令六三).....一二〇
- 韓國人ニシテ裁判所及監獄ノ官吏、官吏待遇者、雇員及備人タル者ノ旅費ニ關スル制(四二統令五二).....一二二
- 官吏待遇監獄職員旅費規則(四二統令六二).....一二二
- 外國旅費規則(二〇閣令一一).....一二三

第三章 任用、採用、試験

- 文官任用令(三三勅令六一).....一二六
- 統監府總務長官及統監秘書官任用分限及官等ニ關スル制(三八勅令二七五).....一二八
- 統監府及理事廳職員特別任用令(三八勅令二七六).....一二八
- 統監府司法廳職員特別任用令(四二勅令二五四).....一二九
- 統監府判事及檢事ノ任用ニ關スル制(四二勅令二五五).....一三〇
- 同上中改正ノ件(四三勅令一七七).....追録五四
- 統監府裁判所書記長及統監府裁判所書記特別任用令(四二勅令二五七).....一三一



- 統監府裁判所及監獄ノ職員タル韓國人ノ任用分限及給與ニ關スル制(四二勅令二五九) ..... 一三一
- 同上中改正ノ件(四三勅令一六四) ..... 追録五四
- 同上(四三勅令一七八) ..... 追録五四
- 統監府警視、警部ノ任用及分限ニ關スル制(四二勅令二五八) ..... 一三二
- 統監府巡查採用及給與令(四二統令四二) ..... 一三三
- ○(參照)巡查給與令(三九勅令二五九) ..... 一三三
- 統監府典獄及統監府看守長特別任用令(四二勅令二五六) ..... 一三五
- 統監府看守採用規則(四二統令四三) ..... 一三五
- ○(參照)看守採用規則(二六內訓二六) ..... 一三六
- 統監府營林廠職員特別任用令(四〇勅令七四) ..... 一三八
- 統監府中學校長任用ニ關スル制(四三勅令一七九) ..... 追録五五
- 統監府通信官署職員特別任用令(三八勅令二七八) ..... 一三九
- ○(參照)通信事務官、通信事務官補特別任用令(三〇勅令二八一) 四十三年三月勅令第七十號ヲ參照スヘシ ..... 一三九
- ○(參照)鐵道書記補、通信手特別任用令(三六勅令二六八) ..... 一四〇
- ○(參照)三等郵便局長任用制(二〇勅令六六) ..... 一四〇
- 統監府郵便所長採用規則(四〇統令一) ..... 一四一
- 韓國政府聘用官吏ノ轉任、兼任ニ關スル制(三九勅令一五〇) ..... 一四二
- 在外指定學校職員ノ進退報告方(四一統訓一〇) ..... 一四二
- 文官試驗規則(二六勅令一九七) ..... 一四二

- 統監府看守考査及試驗規則(四二統訓四九) ..... 一四五
- 統監府通信官署職員試驗ニ關スル制(三九統令二) ..... 一四九
- ○(參照)鐵道書記補、通信手試驗規則(二八通令二) ..... 一四九

第四章 恩給退隱料、扶助料、退官賜金

- 官吏恩給法(二三法律四三) ..... 一五四
- ○官吏恩給法施行規則(二三閣令三) ..... 一五八
- 同上中改正ノ件(四三閣令三) ..... 追録五五
- 官吏遺族扶助法(二三法律四四) ..... 一六一
- ○官吏遺族扶助法施行規則(二三閣令四) ..... 一六四
- 同上中改正ノ件(四三閣令四) ..... 追録五六
- 官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則(二九法律三六) ..... 一六六
- ○官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則施行規則(二九閣令二) ..... 一六七
- 統監府官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル制(四〇法律四八) ..... 一六八
- ○同上法律ヲ適用セサル官吏ニ關スル制(四〇勅令一八八) ..... 一六九
- 巡查、看守退隱料及遺族扶助料法(三四法律三八) ..... 一六九
- ○巡查看守退隱料及遺族扶助料法施行令(三四勅令一四八) ..... 一七五
- 統監府巡查、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル制(四〇法律四九) ..... 一七六
- ○同上法律ヲ適用セサル巡查、看守及女監取締ニ關スル制(四〇勅令一八九) ..... 一七六
- 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法(三八法律六四) ..... 一七七



- 同上法律ニ依ル學校ノ指定 ..... 一七八
- 同上法律ニ於ケル學校職員ノ資格及在職年數算定方(三三勅令三三九) ..... 一八〇
- 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料等支給規則(三八文令二二) ..... 一八一
- 在外指定學校職員恩給審査規程(四一統令一九) ..... 一八一
- 韓國居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル制(四〇法律四四) ..... 一八二
- 同上中改正ノ件(四〇法律三四) ..... 追録五七
- 文官判任以上ノ者退官賜金制(二三勅令九八) ..... 一八二
- 官吏傳染病豫防救治ノ公務上感染死亡ノ手當金給與方(一九閣令二三) ..... 一八三
- 官吏療治料給與制(二五勅令八〇) ..... 一八四
- 傳染病豫防救治ニ従事スル者ノ手當金ニ關スル制(三三法律三〇) ..... 一八四
- 同上療治料額(三三勅令一四二) ..... 一八六
- 官役職工人夫扶助令(四〇勅令一八六) ..... 一八六
- 韓國在住者ノ恩賞諸祿受領ニ關スル制(四〇統令二六) ..... 一八八

第五章 分限

- 文官分限令(三三勅令六二) ..... 一九〇
- 統監府總務長官及統監秘書官ニ文官分限令ヲ適用セサル制(本輯第三章ニ收ム)
- 韓國人タル裁判所及監獄職員ノ分限ニ關スル制(本輯第三章ニ收ム) ..... 一九二
- 官吏ノ勤績ニ關スル制(二六勅令一九八) ..... 一九二
- 理事廳看守ノ職ニ在リタル者勤績ニ關スル制(四二統令六四) ..... 一九二

- 統監府營林廠職員ニ任セラレタル陸軍現役將校同相當官ニ關スル制(四〇勅令七六) ..... 一九二
- 外國政府ニ聘用セラレタル官吏ニ關スル制(三七勅令一九五) ..... 一九三
- 官吏待遇者ニシテ外國政府ニ聘用セラレタルモノニ關スル制(三七勅令二三七) ..... 一九三
- 外國政府ニ聘用セラレタル判事檢事ニ關スル制(三九勅令二八一) ..... 一九三
- 東洋拓殖株式會社ノ職員トナリタル官吏ニ關スル制(三九勅令二〇九) ..... 一九四

第六章 服務紀律

- 官吏服務紀律(二〇勅令三九) ..... 一九五
- 不用品拂下ノトキ其ノ官廳所屬官吏ノ入札禁止(八太達一五二) ..... 一九六
- 官吏免官ノトキ事務引渡日限(六太達四〇二) ..... 一九七
- 理事官副理事官ニシテ轉勤ヲ命セラレタル場合ニ關スル制(四〇統訓一六) ..... 一九七
- 統監府及所屬官署ノ執務時間 ..... 一九七
- 休暇日 ..... 一九七
- 祭日祝日等ノ休暇日(六太布三四四) ..... 一九八
- 官員父母祭日休暇(六太達三一八) ..... 一九九
- 遼國出張官吏歸京後休暇日限(三太布) ..... 一九九

第七章 賞罰

- 統監府看守及女監取締ノ精勤證書授與ニ關スル制(四二統訓五〇) ..... 二〇〇
- 文官懲戒令(三三勅令六三) ..... 二〇〇



●官吏待遇者ノ懲戒ニ關スル制(四〇勅令一七七)……………二〇四

●巡查及監獄判任待遇職員ノ懲戒ニ關スル制(四〇勅令二九三)……………二〇五

○判任待遇監獄職員ノ懲戒ニ關スル制(四二統令四九)……………二〇五

第三輯 服制、徽章

●統監府及所屬官署職員服制(三九勅令一四)……………二〇七

○統監府及所屬官署職員襟章(三九統令二三)……………二一五

○同上中改正ノ件(四三統令一〇)……………追録五九

●統監旗制定(三九勅令二一)……………二一七

●統監府通信官署ノ徽章(三九統令五三)……………二一七

第四輯 公文式、雜

●公式令(四〇勅令六)……………二一九

●韓國適用法律命令ノ施行時期ニ關スル制(四〇勅令一一)……………二二三

●統監府公文式(三九統令四)……………二二三

○統監府公報發行期日及其ノ代價(四二統令二八)……………二二三

●理事廳令公文式(三九統令五)……………二二四

●土木工事起業者保證金納付制(二四勅令二六)……………二二四

第五輯 外事

第一章 條約及諸制

●日韓修好條規(九太告三四)……………二二五

○同條規附錄(九太告二七)……………二二七

○同條規續約(一五太告五四)……………二三〇

●韓國ニ於テ日本人民貿易ノ規則並海關稅目(一六太告三四)……………二三一

●韓國ノ開港開市地……………二五〇

●釜山港居留地借入約書……………二五二

●元山港居留地々租取極書……………二五二

●仁川港居留地借入約書……………二五三

●仁川濟物浦各國居留地約書……………二五六

●絶影島地所借入約書……………二六一

●月尾島地所借入約書……………二六一

●鎮南浦及木浦居留地規則(三〇外告一四)……………二六二

●群山、馬山浦、城津居留地規則……………二七一

●清津土地規則(附錄第一章ニ收ム)……………二七一

●清津官有地賣下規則(附錄第一章ニ收ム)……………二七一

●韓國漂難船處分方(一〇太達七九)……………二八一



- 韓國漂民經費償還法(三〇勅令二二).....二八二
- 韓國漂民經費償還法中原主ニ屬スル償還手續(二〇外令二).....二八二
- 韓國海岸ニ於テ犯罪ノ日本國漁民取扱規則(一六太達三三).....二八三
- 韓國沿海及内河ノ航行ニ關スル約定書.....二八四
- 同上中改正ノ件(四三統告二四).....追録六一
- 日韓議定書.....二八六
- 韓國通信機關委託ニ關スル取極書.....二八七
- 日韓協約.....二八八
- 森林經營ニ關スル協同約款.....二九一
- 在韓帝國臣民ニ對スル警察事務ノ執行ニ關スル取極書(四〇統告一四〇).....二九二
- 在韓國外國人民ニ對スル警察事務ニ關スル日韓協定(四二統告三〇).....二九二
- 一時貸付金ニ關スル契約.....二九三
- 韓國ニ於ケル發明、意匠、商標及著作權ノ保護ニ關スル日米條約.....二九四
- 日韓兩國漁業協定(四二統告一八六).....二九六
- 韓國ノ司法及監獄事務ヲ日本政府ニ委託ノ件ニ關スル覺書(四二統告六六).....二九六
- 韓國中央銀行ニ關スル日韓兩國政府ノ覺書(四二統告七六).....二九七

第二章 外國旅券

- 外國旅券規則(四〇統令一六).....二九九
- 同一旅券ヲ以テ數次往復シ得(キ)地(四〇統告六五).....三〇一

- 外國旅券規則取扱手續(四〇統訓六).....三〇一
- 護照下付及査證心得(三九統訓六).....三〇五

### 第六輯 會計

#### 第一章 會計法

- 會計法(二法律四).....三〇七
- 會計規則(三勅令六〇).....三一二
- 會計規則ニ依ル諸計算書、仕拂命令領收證及諸帳簿樣式(二六太令三三).....三一九
- 勸業債券、興業債券及時蓄債券ヲ保證金ニ使用制(三六勅令二八三).....三三〇
- 鐵道株式會社ノ株券ヲ國債證券ニ代用制(四〇勅令二九一).....三三〇
- 擔保トシテ政府ニ納ムヘキ國債證券ノ價格算定ニ關スル制(四二勅令二八七).....三三一
- 登錄國債ノ擔保充用ニ關スル制(四二勅令八).....三三一
- 擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル制(四二勅令九).....三三一
- 國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル制(四〇法律三一).....三三一
- 同上法律ニ依ルノ命令(四〇勅令九八).....三三一
- 政府私人間債務相殺ニ關スル制(三四勅令一三一).....三三三
- 同上相殺金額取扱順序(三四太訓二六).....三三三
- 金錢利割稱呼(一一太達乙二二).....三三四
- 計算出納ニ關スル諸證書中數字々體(七太達九六).....三三四



- 金穀受納證書中數字等改削塗抹禁止(十六勅四).....三三五
- 統監府及理事廳ニ於テ會計規則ノ手續制略制(三九勅令七).....三三五
- (參照)在外公館ニ於テ會計規則ノ手續制略制(三〇勅令五八).....三三五
- 理事廳會計事務章程(四一統訓一一).....三三六
- 特許局會計事務ニ關スル制(四二統訓一七).....三五〇
- 統監府裁判所及統監府監獄會計事務章程(四二統訓三三).....三五〇
- 物品會計規則(二二勅令八四).....三五六
- 統監府及理事廳物品會計規程(三九統訓二).....三六九
- 印紙類出納規程(三二大訓一三).....三七〇
- 韓國森林特別會計法(四〇法律二四).....三七五
- 韓國森林特別會計規則(四〇勅令八八).....三七六
- 同上會計規則ニ要スル帳簿等様式(四〇大令一六).....三七七

第二章 豫算及決算

- 歲入歲出豫算概定順序(二三勅令一一).....三七九
- 豫定經費算出概則(二三勅令一九).....三八〇
- 歲入歲出年度科目所管應誤記訂正手續(三二大訓四八).....三八一

第三章 工事及物件ノ賣買ノ賃借

- 在外各廳工事又ハ物件賣買賃借隨意契約制(二七勅令四〇).....三八三

第四章 收入

- 統監府營林廠木材及製品賣拂代金延納ニ關スル制(四二勅令二〇五).....三八三
- 同上延納ノ擔保タル有價證券ノ種類(四二統令二七).....三八三

第四章 收入

- 租稅其ノ他ノ歲入金代用證券取扱ニ關スル制(三八勅令三四).....三八四
- 國債證券及其ノ利札ヲ以テ租稅其ノ他ノ歲入金ニ代用納付方(三八大令七).....三八四
- 代用國債證券及利札ニ押捺スヘキ代用納付印(三八大訓一五).....三八六
- 法令ノ規程ニ依リ國庫ニ於テ收入スヘキ代用證券取扱方(三八大訓二三).....三八六
- 官吏遺族扶助法納金收入規則(二三勅令二二五).....三八七
- 官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序(二三大訓一一三).....三八八
- 統監府及所屬官署諸收入取扱規程(三九統訓二五).....三九三
- (參照)諸收入收納取扱規程(三三大訓二七).....三九三
- 韓國ニ於ケル犯罪即決令ニ依リ沒收シタル金品ノ處分方並罰金、科料及收賍金ノ徵收手續(第八輯ニ收ム).....三九三
- 歲入調定濟額ニシテ翌年六月末日迄ニ收入整理ヲ了セサルモノ取扱方(二四大訓六八).....三九六
- 收入金繰越手續(二五大訓二五).....三九九
- 同繰越計算表(三一大訓一一).....三九九
- 前金渡概算渡返納金戻入取扱規程(二二大令一六).....四〇一
- 諸貸付金取扱規程(二六大訓七七).....四〇四
- 歲入徵收官交替ノトキ通知方(三三大訓四五).....四〇七



- 收入官吏任命及異動報告方(三五大訓五五).....四〇七
- 收入印紙ニ關スル件(三二勅令一四〇).....四〇八
- 郵便切手類及收入印紙賣捌規則(四二統令一〇).....四〇九
- 收入印紙ノ賣捌ヲ爲ス郵便局所(四二統令四二).....四一二
- 收入印紙ヲ以テ手数料割金料等納付制(三八勅令二二七).....四一五
- 同上勅令ニ依リ收入印紙ヲ以テ納付スヘキ種目(三九統令三八).....四一六
- (參照)領事館ノ徵收スル手数料及出張費用ニ關スル規程(三三外令三).....四一六
- 同上納付取扱方(四〇統令二二).....四一八
- 同上(四二統令四四).....四二〇
- 訴訟及非訟事件ニ付韓國人ノ貼用スヘキ收入印紙ニ關スル制(四二統令三七).....四二二

第五章 支出

- 會計年度開始前現金支出規則(三二勅令九五).....四二三
- 特別會計ノ第一豫備金支出ニ關スル制(三〇勅令一一八).....四二三
- 仕拂命令委任規程(三二勅令八九).....四二三
- 仕拂豫算ヲ以テ委任シタル仕拂命令濟額報告書(三二大訓六一).....四二四
- 文官判任以上俸給仕拂命令書等書式(三三大令一七).....四二七
- 政府私人間債務相殺ノ場合仕拂命令書式(三四大令一一).....四三七
- 政府第三債務者トシテ差押ラレタル債務額ノ仕拂停止、仕拂執行及供託ニ關スル手續(二七大令二).....四三五
- 仕拂命令、仕拂請求書、集合仕拂命令等發布ニ關スル取扱手續(二六大訓四〇).....四四二

- 仕拂命令等盜難又ハ亡失ノ場合ニ關スル取扱手續(三八大令三九).....四四六
- 仕拂命令、仕拂請求書、現金交付前ニ誤拂過渡ヲ發見シタルトキノ整理手續(三三大令二七).....四四七
- 俸給旅費其ノ他諸給與仕拂ノ際錢位未滿ノ端數切捨ニ關スル制(三八勅令一三〇).....四四八
- 恩賞諸祿仕拂取扱順序(三〇大訓三三) 事實適用ナシ.....四四九
- 年金、恩給等ノ支給事務ヲ取扱フ官廳ニ關スル制(四三勅令二五).....追録六三
- 年金、恩給支給規則(四三遞令六).....追録六三
- 年金、恩給支給期日(四三遞令三四一).....追録六七
- 統監府通信官署經費渡切ニ關スル制(本輯第六章ニ收ム).....
- 渡切ヲ以テ交付スヘキ通信官署指定(四〇統令七六).....四五四
- 統監府及所屬官署職員ノ俸給手當及宿舍料前金渡ニ關スル制(四〇勅令一五〇).....四五五
- 旅費其ノ外概算渡前金渡制(三二勅令一一一).....四五五
- 在外公館經費中前金拂ノ制(三三勅令三二).....四五五
- 官廳ニ於テ印刷局製造品買入レニ關スル制(四〇法律五).....四五六
- 在外國難民貸與金一時繰替支辨ノ制(二四勅令一).....四五六
- 現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ仕拂計算書提出方(三九統令二四).....四五六
- 現金前渡ヲ受クル官吏ノ毎年末日現在員報告方(三五大訓五六).....四五六

第六章 出納官吏

- 出納官吏身元保證金ニ關スル制(三五勅令二〇五).....四五八
- 郵便爲替爲替貯金出納官吏身元保證金納付制(二三勅令一〇五).....四五八



- 大藏省所屬出納官吏保管金紛失ノトキ報告方(二四大訓一四).....四五九
- 出納官吏現金取扱規則(二二大令一三).....四五九
  - 出納官吏銀行又ハ一私人ニ預託金ニ對シ利子ヲ受取リタルトキノ取扱方(三三大訓五六).....四六二
  - 歳入歳出外現金取扱出納官吏ニ關スル制(二三勅令三五).....四六二
- 官設鐵道及通信官署ノ現金出納ニ關スル制(三三法律五〇).....四六一
  - 統監府通信官署ニ於テ同上法律ニ依ル出納員現金出納ニ關スル制(三八勅令二八〇).....四六一
  - (參照)官設鐵道、通信官署出納員現金出納ニ關スル制(三三勅令四〇八).....四六三
  - (參照)通信官署ノ現金受拂ニ關スル制(三六勅令二三).....四六三
  - (參照)通信官署經費渡切規則(三八勅令六二).....四六三
  - 同上施行ニ關スル制(三九統令三).....四六四
  - (參照)郵便電信電話官署現金受拂規則(三六選令一七).....四六四
  - (參照)出納員現金取扱規則(三七選令三八).....四六四
  - (參照)通信官署經費渡切規則施行細則(四〇選令一四).....四六九
- 通信官署ニ於テ韓國國庫金取扱方(三九統令三六).....四七一
  - 同上出納受持區域指定表(四一統令一四).....四七一
- 出納官吏現金出納簿記帳方(三五訓六一〇).....四七二
- 出納官吏検査規程(二五大訓三〇).....四七七
- 出納官吏交替ノトキ事務引継手續(二三大訓五四).....四八一

第七章 金庫

- 金庫規則(二二勅令二二六).....四八五
- 在韓國各金庫開閉時間(四二大告一六八).....四八六
- 韓國內金庫名稱位置(三九大告八六六).....四八六
- 金庫ニ於テ現金領收後納額告知書現金拂込書及納付書記載年度ノ誤謬ヲ發見ノトキ訂正手續(二四大令一一).....四八七
- 金庫出納事務規程(二六大訓三九).....四八七
  - 出納官吏金庫ヨリ雜部金月計對照表等ノ送付ヲ受ケタルトキ取扱方(三三大訓三二).....五〇四
- 韓國森林特別會計金庫出納事務規程(四〇大訓一六).....五〇四
- 裁判所ヨリ金庫ニ寄託スル假納金、民事豫納金取扱方(三二大訓六).....五〇五
- 預金保管物及供託物金庫出納事務規程(二六大訓三二).....五〇五

第八章 官有財産

- 官有財産管理規則(二三勅令二七五).....五一六

第九章 保管、供託

- 保管金規則(二三法律一).....五一九
  - 政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル公有金私有金寄託方(二三勅令二).....五一九
  - 同上寄託ニ付心得方(二三大訓七八).....五二〇
- 各官廳ニ於テ管理スル政府所有ノ有價證券及政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル有價證券寄託方(二六勅令七〇).....五二〇



- 保管物取扱規程(二六六令二〇) ..... 五二〇
- 出納官吏現金ヲ金庫ニ寄託セシトキ登記方(二八六訓二〇) ..... 五二三
- 救恤又ハ技術獎勵寄附金ノ保管出納制(三三勅令三二九) ..... 五二四
- 保管物取扱規程及供託物取扱規程ニ依リ各地金庫保管ノ有價證券保管轉換方(三四六令六〇) ..... 五二四
- 保管金金庫換及振換拂立利子仕拂手續(三六六令九) ..... 五二四
- 供託法(三三法律一五) ..... 五二六
- 供託物取扱規程(三二六令六) ..... 五二七
- 供託金利息(三二六令九) ..... 五四〇

第十章 會計検査

- 會計検査院法(三二法律一五) ..... 五四一
- 會計検査院事務章程(三三勅令四五七) ..... 五四四
- 收入證明規程(三三會檢達二) ..... 五四八
- 租税外歳入徴収額證明規程(三四會檢達四) ..... 五五〇
- 支出證明規程(三三會檢達一) ..... 五五七
- 仕拂證明規程(三三會檢達二) ..... 五八三
- 通信官署現金出納計算證明規程(三七會檢達一) ..... 五九二
- 郵便爲替金郵便貯金郵便取立金出納計算證明規程(三五會檢達六) ..... 六〇五
- 歳入歳出外現金出納證明規程(二四會檢達二) ..... 六〇九
- 政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル各會社收入支出決算證明規程(二三會檢達三) ..... 六一三

- 物品出納證明規程(三四會檢達一) ..... 六一四

第七輯 居留民團

- 居留民團法(三八法律四一) ..... 六二九
- 居留民團法施行規則(三九統令二一) ..... 六三〇
- 居留民團法施行規則實施心得(三九統訓一五) ..... 六三八
- 居留民團ニ關スル名稱(三九統訓一七) ..... 六六一
- 居留民團設立 ..... 六六一
- 居留民團ノ財務ニ關スル制(四二統訓二) ..... 六六五
- 學校組合令(第十四輯ニ收ム)

第八輯 警察

- 居留規則(四一統令四五) ..... 六六七
- 朝鮮國在留帝國臣民取締法(二九法律八〇) ..... 六六八
- 保安規則(三九統令一〇) ..... 六六九
- 新聞紙規則(四一統令二二) ..... 六七一
- 韓國ノ屠獸規則違背者ニ對スル制裁(四二統令二四) ..... 六七五
- 警察犯處罰令(四一統令四四) ..... 六七五
- 韓國ニ於ケル犯罪即決令(四二勅令二四〇) ..... 六八〇
- 同上ニ依リ沒收シタル金品ノ處分方並罰金、科料及收賍金ノ徴收手續(四三統訓二) ..... 追録六九



- 普通警察報告例(三九統訓七).....六八一
- 在韓國本邦人ニ對スル司法警察官執務規則(四二統訓三四).....六八五
- 韓國人ニ對スル司法警察事務取扱方(四二統訓三〇).....六九四
- 外國人ニ關スル司法警察官執務心得(四二統訓二九).....六九四

第九輯 宗教

- 宗教ノ宣布ニ關スル規則(三九統令四五).....六九七

第十輯 民事

- 官廳民事訴訟上國ノ代表ニ關スル制(三九勅令一八四).....七〇三
- 民事訴訟上國ヲ代表スヘキ官廳(三九統令二四).....七〇三
- 相續人贖缺ノ場合ニ於テ國庫ニ歸屬シタル財産ノ引渡ニ關スル制(三三勅令四〇九).....七〇三
- 政府ノ債務ニ對シ差押命令發行方(二六勅令二六一).....七〇四

第十一輯 刑事、監獄

- 刑法施行前ニ公布シタル命令ニ關スル制(四一勅令二二七).....七〇九
- 印紙犯罪處罰法ニ依ル官沒ニ關スル制(四二統令一一).....七〇七
- (參照)印紙犯罪處罰法(四二法律三九).....七〇七
- 囚人及被告人護送規則(四二統令五一).....七〇八
- 刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程(四二統訓三一).....七一一

- 特赦及減刑ニ關スル制(四一勅令二三〇).....七一四

○ (參照)特赦及減刑ニ關スル制(四一勅令二二五).....七一五

- 刑事判決ノ正本、謄本及抄本ノ手数料(四二統令三八).....七一六

- 刑事事件ニ付檢事カ呼出シタル證人鑑定人及通事ノ給與ニ關スル制(四三統令二).....追録七一

● 韓國ニ於ケル犯罪即決例(第八輯ニ收ム)

- 統監府監獄事務取扱ニ關スル制(四二勅令二三九).....七一六

- 監獄領置品取扱規程(四二統訓四五).....七一七

- 監獄職員銃器携帯ニ關スル制(四二統令四八).....七二四

第十二輯 裁判

● 統監府裁判所令(第一輯ニ收ム)

- 統監府裁判所司法事務取扱令(四二勅令二三七).....七二五

- 韓國人ニ係ル司法ニ關スル制(四二勅令二三八).....七二八

- 裁判所上共助ニ關スル制(四〇法律五二).....七二九

○ (參照)裁判所及臺灣總督府法院共助法(三三法律八三).....七二九

- 裁判上共助ニ關スル費用及囚人刑事被告人押送ニ關スル制(四〇勅令二九二).....七三〇

- 判決執行ニ關スル共助ニ關スル制(四二法律三六).....七三〇

- 外國裁判所ノ囑託ニ依ル共助法(三八法律六三).....七三一

- 執達吏ニ屬スル職務ヲ行フ場合ニ於ケル手数料(四二統令三六).....七三一

- 辯護士規則(四二統令三四).....七三二



第十三輯 租 稅

- 租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託方(四〇法律三四).....七三九
- 國稅徵收法(三〇法律二一).....七三九
- 國稅徵收法施行規則(三五勅令一三五).....七四六
- 韓國政府ノ公布シタル法令ニ定ムル税金ヲ理事官ヲシテ強制徵收セシムル制(四二統令一五).....七五一

第十四輯 學事及時

- 御影並勅語謄本奉置心得(四二統訓二四).....七五三
- 在外指定學校ニ關スル規程(三八文令二〇).....七五三
- 在外指定學校職員ノ名稱待遇及任用解職ニ關スル制(三八勅令二三〇).....七五七
- 同上中改正ノ件(四三勅令一八九).....追録七三
- 小學校規則(四二統令三).....七五九
- 韓國小學校兒童及卒業者ノ他ノ學校へ入學轉學ニ關スル制(四二文令一六).....七六五
- 統監府中學校規則(四三統令九).....追録七三
- 韓國京城居留民團立京城中學校生徒並其ノ卒業者ノ他ノ學校へ入學轉學等ニ關スル制(四二文告二七五)自然消滅.....七六六
- 京城居留民團立京城中學校廢止ノ件(四三統告三八).....追録七七
- 韓國居留民團立高等女學校生徒及卒業者ノ他ノ學校ニ入學及轉學ニ關スル制(四〇文告二三三).....七六六
- 公立私立學校認定ニ關スル規則(三二文令三四).....七六六

- 韓國釜山居留民團立釜山商業學校ヲ徵兵令並文官任用令ニ依リ認定(四一文告一四三).....七六九
- 學校組合令(四二統令七一).....七六九
- 學校組合設立認可.....追録七七
- 學事月報申報方(四〇統訓一八).....七七〇
- 學事年報申報方(四〇統訓一一).....七七四
- 統監府及所屬官署ニ用キル標準時(四一統令五).....七八二

第十五輯 會社、組合

- 東洋殖殖株式會社法(四一法律六三).....七八三
- 外國領海水產組合法(三五法律三五).....七八九
- 外國領海水產組合法施行規則(三五農令五).....七九〇
- 朝鮮海水產組合法設置(三五農令一九).....七九一
- 學校組合令(第十四輯ニ收ム)

第十六輯 銀行、度量衡

- 外國ニ於ケル銀行事業ニ關スル制(三八法律四七).....七九三
- 韓國ニ於ケル銀行業ニ關スル制(四〇勅令三一).....七九三
- 韓國ニ於ケル銀行業ニ關スル規則(四〇統令二〇).....七九四
- 韓國銀行總裁理事ニシテ韓國銀行條例違犯ニ對スル制裁(四二統令二一).....八一五
- 度量衡ニ關スル制(四二統令二三).....八一五



第十七輯 特許、意匠、實用新案、商標、商號、商號、著作權

第一章 特許

- 韓國特許令(四二勅令三〇四) ..... 八一七
- (參照)特許法(四二法律二二) ..... 八一七
- (參照)特許權ノ存續期間延長ニ關スル制(四二勅令二九八) ..... 八三〇
- 韓國特許令施行規則(四二統令五六) ..... 八三一
- (參照)特許法施行細則(四二農令四二) ..... 八三一
- (參照)軍事上秘密ヲ要スル發明ノ特許ニ關スル制(四二勅令二九九) ..... 八四九
- (參照)特許登録令(四二勅令二九四) ..... 八五〇
- (參照)特許登録令施行規則(四二農令四六) ..... 八五八
- (參照)登録税法(二九法律二七) ..... 八六九
- (參照)同上中改正ノ件(四三法律一一) ..... 追録七九
- (參照)特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル手数料(四二勅令三〇三) ..... 八八一
- (參照)特許、意匠、商標又ハ實用新案ニ關スル請求書及届書ノ手数料(四二農令五二) ..... 八八三
- 特許出願ニ關スル明細書及圖面調製標準(四二統令一一四) ..... 八八四
- 韓國ニ於ケル特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル審判、抗告審判及出訴ニ關スル費用(四二勅令三〇九) ..... 八八六
- (參照)特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル審判、抗告審判及出訴ニ關スル費用(四二勅令三〇一) ..... 八八六

○ 關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ於ケル特許權、商標權及著作權ノ保護ニ關スル制(四一勅令二〇一) ..... 八八七

- 韓國特許辯理士令(四二勅令三〇八) ..... 八八八
- (參照)特許辯理士令(四二勅令三〇〇) ..... 八八八
- 韓國特許辯理士試驗規則(四二統令六〇) ..... 八九一
- (參照)特許辯理士試驗規則(四二農令五〇) ..... 八九一
- 統監府特許局圖書閱覽規程(四一統令一四二) ..... 九〇八

第二章 意匠

- 韓國意匠令(四二勅令三〇五) ..... 八九三
- (參照)意匠法(四二法律二四) ..... 八九四
- 韓國意匠令施行規則(四二統令五七) ..... 八九七
- (參照)意匠法施行細則(四二農令四三) ..... 八九八
- (參照)意匠ノ登録ニ關スル制(四二勅令二九五) ..... 九〇六
- (參照)同上勅令施行規則(四二農令四七) ..... 九〇六

第三章 實用新案

- 韓國實用新案令(四二勅令三〇七) ..... 九〇八
- (參照)實用新案法(四二法律二六) ..... 九〇九
- 韓國實用新案令施行規則(四二統令五九) ..... 九二二



- (參照)實用新案法施行規則(四二農令四五)……………九二三
- (參照)實用新案ノ登録ニ關スル制(四二勅令二九七)……………九一九
- (參照)同上勅令施行規則(四二農令四九)……………九一九

第四章 商標

- 韓國商標令(四二勅令三〇六)……………九二〇
- (參照)商標法(四二法律二五)……………九二一
- 韓國商標令施行規則(四二統令五八)……………九二五
- (參照)商標法施行細則(四二農令四四)……………九二五
- (參照)商標ノ登録ニ關スル制(四二勅令二九六)……………九三七
- (參照)同上勅令施行規則(四二農令四八)……………九三七

第五章 商號

- 韓國商號令(四一勅令一九九)……………九三九
- 韓國商號令施行規則(四一統令二九)……………九四〇

第六章 著作權

- 韓國著作權令(四一勅令二〇〇)……………九四〇
- (參照)著作權法(三二法律三九)……………九四一
- 韓國著作權令施行規則(四二統令二八)……………九四六

第十八輯 通信

第一章 郵便

- 郵便法(三三法律五四)……………九五三
- 統監府通信管理局ニ於テ通信事務ニ使用スル日附印ノ形式(四三統告二二)……………九五九
- 鐵道船舶郵便法(三三法律五六)……………九六〇
- 第三種郵便物認可規則(四一統令三五)……………九六三
- 約束郵便取扱規則(四一統令三六)……………九六六
- 郵便私書函使用規則(四一統令三三)……………九六八
- 同上中改正ノ件(四三統令六)……………追録八一
- 年賀特別郵便規則(四二統令六七)……………九七一
- 日清郵便規則(四三統令八)……………追録八一
- 清韓小包郵便物留置期間及關稅納付期間(四〇統令三八)……………九七二
- 勸業債券購買媒介郵便規則ハ韓國ニ準用セス(四〇統令二五)……………九七二
- 郵便局國庫債券償還及引換取扱規則ハ韓國ニ準用セス(四一統令一四)……………九七二
- 郵便ニ關スル滯納料金徴收方(本輯第四章ニ收ム)……………九七二
- 管理事務分掌郵便局並其ノ受持區域(四一統告一四六)……………九七二
- 郵便法、郵便爲替法、郵便貯金法、鐵道船舶郵便法及電信法ノ施行ニ關スル制(三九統令一)……………九七三

第二章 郵便爲替



- 郵便爲替法(三三法律五五).....九七六
- 電信爲替制限額(四一統令三二).....九七八
- 郵便爲替規則第六十條第二項ハ韓國ニ準用セス(四二統令六八).....九七九
- 外國郵便爲替交換局(四一統令一五六).....九七九
- 郵便爲替法ノ施行ニ關スル制(本輯第一章ニ收ム)

第三章 郵便貯金

- 郵便貯金法(三八法律三三).....九八一
- 郵便貯金利子ノ割合(三八勅令一六六).....九八三
- 同上中改正ノ件(四三勅令五).....追録八五
- 韓國人ノ郵便貯金ニ關スル制(四二統令二).....九八四
- 郵便振替貯金規則(四二統令六九).....九八四
- 同上中改正ノ件(四三統令五).....追録八六
- 同上(四三統令七).....追録八六
- 振替貯金事務ニ關スル郵便物宛名記載方(四二統令二二六).....一〇〇一
- 郵便貯金局待拂取扱局(四一統令四八).....一〇〇一
- 郵便貯金法ノ施行ニ關スル制(本章第一章ニ收ム).....一〇〇一

第四章 電信電話

- 電信法(三三法律五九).....一〇〇二
- 電信線電話線建設條例(二三法律五八).....一〇〇九
- 軍用電信法(二七法律五).....一〇一〇
- 固定軍用電信ヲ公衆通信ニ供用方(三三勅令一八七).....一〇一一
- 電信取扱所電報取扱時間(四二統令一四五).....一〇一一
- 釜山絶影島間外一箇所布設水底電線區域(四二統令三二).....一〇一一
- 清川江外二箇所布設水底電線區域(四〇統令四三).....一〇一三
- 新義州安東縣間布設水底電線區域(四〇統令六一).....一〇一七
- 韓國内新聞電報料金(四〇統令六).....一〇一七
- 新聞電報規則ヲ韓滿間發著電報ニ準用ス(四〇統令一〇).....一〇一七
- 料金受信人拂外國新聞電報取扱局所(四二統令七三).....一〇一七
- 電報料金後納規則(三九統令四〇).....一〇一八
- 新聞電報料金預納及後納規則ハ韓國ニ準用セス(四〇統令二二).....一〇一九
- 解船配達料過剩額還付方(四一統令三二).....一〇一九
- 電信法施行ニ關スル制(本輯第一章ニ收ム)
- 電話規則(四一統令三七).....一〇二二
- 電話交換加入區域(四一統令一五八).....一〇四五
- 電話呼出地域(四一統令一五九).....一〇四七
- 電話料金(四一統令一五二).....一〇五二
- 特設電話規則(四一統令三九).....一〇五七
- 別便及解船配達料(四一統令四一).....一〇六三



- 郵便電信電話ニ關スル滯納料金徵收規則(四二統令五).....一〇六四
- 電信電話線建築官吏及料金滯納者財産差押官吏證票(三九統令六五).....一〇六六
- 預約新聞電話規則ハ韓國ニ準用セス(四〇統令三六).....一〇六七
- 電話加入者電話機修理請求方(三九統令二七).....一〇六七
- 官應用、軍用及私設電信電話並特設電話維持規程(四一統令四〇).....一〇六七
- 官應用電信電話ニ關スル制(三三勅令三五六).....一〇七〇
- 電信電話施設ニ關シ寄附ヲ受クルノ制(四二勅令二三).....一〇七〇

第十九輯 土地、建物

- 土地建物證明規則(三九統令四二).....一〇七一
- 證明又ハ查證ヲ受ケタル典當執行ニ關スル制(四〇統令三).....一〇七一
- 土地建物所有權證明規則(四一統令二四).....一〇七二
- 韓國國有未墾地利用法施行細則ニ依リ願書提出方(四〇統令一〇七).....一〇七二

第二十輯 軍事

- 韓國ニ在ル者ノ徵兵身體検査ニ關スル制(三九勅令三一八).....一〇七三
- 韓國ニ在ル者ノ徵兵身體検査ニ關スル規程(三九陸令一六).....一〇七三

第二十一輯 褒賞

- 勳章、勳記、功記等ヲ沒收シタルトキ戶籍吏ニ通知ノ件(四三統令一).....追録八九

- 褒章條例取扱手續及金銀木杯金圓賜與手續ニ關スル制(三九閣令五).....一〇七七

- (參照)褒章條例(一四布告六三).....一〇七七
- (參照)褒章條例取扱手續(二七閣令一).....一〇七八
- (參照)金銀木杯金圓賜與及褒賞併賜方(一六布告一).....一〇七九
- (參照)金銀木杯金圓賜與手續(一六太達一七).....一〇七九
- (參照)黃綬褒章(二〇勅令一六).....一〇八一
- (參照)圖書諸器物寄附ニ係ル取扱方(二二內訓一八).....一〇八一

第二十二輯 船舶

- 船舶規則(四三統令三).....追録九一
- 船舶検査規則(四三統令四).....追録九五

附 錄

韓國政府ノ法令ニシテ統監府ニ於テ其ノ譯文ヲ告示シタルモノ

第一章 内部主管事項

- 土地建物證明規則及土地建物證明規則施行細則(三九統令二六).....一
- 土地家屋證明規則ノ施行ニ關スル訓令(三九統令二九).....一五



- 土地建物所有權證明規則並土地建物所有權證明規則施行細則(四二統告一一三).....一七
- 土地建物典當執行規則並土地建物典當執行規則施行細則(四〇統告一八).....二一
- 清津土地規則(四一統告五二).....二二
- 清津官有地賣下規則(四一統告五三).....二七
- 地方費法(四二統告六一).....二八
- 官營水道給水料金徵收ニ關スル件(四三統告二〇).....三〇
- 屠獸規則(四二統告八三).....附錄一
- 巡查配置請願規則並同費用ノ件(四一統告二〇四).....三一
- 浮流水雷拾得者ニ對シ行賞ノ件(四〇統告九六).....三四

### 第二章 度支部主管事項

- 國稅徵收法(四二統告一七).....三四
- 國稅徵收法施行細則(四二統告一八).....四〇
- 紅蔘專賣法、人蔘稅法、紅蔘專賣法施行規則、人蔘稅法施行細則並人蔘ノ特別耕作區域(四一統告二一〇).....五八
- 地稅ニ關スル件(四一統告二二二).....六九
- 地稅及戶稅ノ納期ニ關スル件(四二統告一六).....七〇
- 漁業稅法(四二統告二五).....七一
- 漁業稅法施行細則(四二統告二六).....七四
- 家屋稅法、酒稅法、煙草稅法(四二統告一一).....七七

- 家屋稅法施行細則、酒稅法施行細則、煙草稅法施行細則(四二統告一一).....八三
- 家屋稅法ニ依ル市街地指定(四二統告三一).....八六
- 鑛業法器具機械ノ輸入稅並銅及金銀銅鑛石ノ輸出稅免除ニ關スル件(四二統告二二七).....九四
- 清津港ヲ經テ間島及琿春地方ニ輸出入スル貨物ノ關稅免除ニ關スル件(四二統告四八).....九五
- 間島及琿春地方免除貨物取扱規程(四二統告二二八).....九六
- 舊白銅貨幣公納使用ニ關スル件(四二統告四六).....附錄二
- 國稅未勘金整理ニ關スル件(四三統告二六).....附錄二
- 帝室債務ニ關スル件及宮内府所屬及慶善宮所屬財產ノ移屬及帝室債務ノ整理ニ關スル件(四一統告二二一).....九六
- 韓國銀行條例(四二統告七〇).....九七
- 船舶法、船舶檢査法及船舶積量測定法(四三統告二九).....附錄三

### 第三章 農商工部主管事項

- 鑛業法(三九統告六七).....一〇二
- 鑛業法施行細則(三九統告七三).....一〇六
- 鑛業法施行細則樣式(三九統告八一).....一一二
- 農商工部所屬鑛區(四二統告五九).....一三五
- 砂鑛採取法(三九統告七二).....一三五
- 砂鑛採取法施行細則(三九統告八三).....一三七
- 砂鑛採取法施行細則樣式(三九統告八四).....一四〇



- 國有土石採取規則(四一統告二二四) ..... 一五五
- 國有未墾地利用法(四〇統告九七) ..... 一五八
- 國有未墾地利用法施行細則(四〇統告九八) ..... 一六〇
- 森林法及國有森林山野部分林規則(四一統告四七) ..... 一六四
- 森林法施行細則(四一統告七一) ..... 一七九
- 保安林編入(四一統告一一二、四二統告一一〇) ..... 二〇四
- 漁業法(四一統告一八七) ..... 二〇四
- 漁業法施行細則(四一統告一九三) ..... 二〇七
- 漁業免許狀、許可狀、鑑札其ノ他願書、届書等ノ書式(四二統告二〇) ..... 二一一
- 漁業ニ關スル手数料ノ件(四二統告二三) ..... 二三一
- 輸出牛檢疫法(四二統告六四) ..... 二三三
- 韓國政府ニ於テ行ヒタル檢疫證明書ヲ有スル輸入生牛ノ繋留期間ニ關スル制(四二農訓三二) ..... 二三四
- 度量衡法(四二統告九八) ..... 二三五
- 度量衡法施行規則(四二統告九九) ..... 二三八
- 度量衡法施行ノ時期及地域(四二統告一〇四) ..... 二四三

第四章 學部主管事項

● 私立學校令、學會令、公立私立學校認定ニ關スル規程並教科用圖書檢定ニ關スル規程(四一統告一三九) ..... 二四四

第五章 民事刑事及商事ニ關スル事項

- 民刑訴訟規則並民事訴訟期限規則(四一統告一一六) ..... 二五二
- 刑事裁判費用規則、民事訴訟手数料規則、民事訴訟費用規則(四一統告一八二) ..... 二七三
- 民事證據調查費用ニ關スル件(四二統告三六) ..... 二七七
- 非訟事件手續規則(四一統告一七五) ..... 二七八
- 東洋拓殖株式會社法(四一統告一三七) ..... 二八一



# 統監府及其ノ所管官制沿革略記

目次

四〇

## ●統監府及理事廳

●明治三十八年十一月勅令第二百四十號ヲ以テ韓國ニ統監府及理事廳ヲ置クノ件ヲ定ム  
 ●同三十八年十二月勅令第二百六十七號ヲ以テ統監府及理事廳官制ヲ定メ三十九年二月一日ヨリ其ノ事務ヲ開始ス○同四十年三月勅令第十五號ヲ以テ「外務總長一人勅任又ハ委任」ヲ加ヘ書記官「七人」ヲ「六人」ニ改メ理事廳ノ警察官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ監獄事務ヲ掌ルコトトシ統監ニ於テ必要ト認ムル理事廳ニ看守ヲ置クノ條項ヲ加フ○同年同月勅令第六十五號ヲ以テ技師「五人」ヲ「十人」内一人ヲ勅任ト爲スコトヲ得「ニ列任」四十五人」ヲ「五十九人」ニ改ム○同年九月勅令第二〇九十五號ヲ以テ第五條及第六條ヲ削除シ第十條ノ二ヲ設ケテ副統監ヲ置キ第十一條ヲ改メテ外務總長、農商工務總長、警務總長ヲ廢シ參事官ヲ置キ警視警部ヲ廢シ理事廳警部ヲ廢シ看守長ヲ置キ各理事廳ニ看守ヲ置ク○同四十二年十月勅令第二百四十一號ヲ以テ罰則ノ條項ヲ改メ看守長ヲ廢シ第二十三條第二項ヲ削ル是現行ノ制ナリ

●明治三十八年十二月勅令第二百六十九號ヲ以テ理事廳職員定員令ヲ定ム○同四十年二月勅令第九號ヲ以テ各定員ヲ專任ニ改ム○同年三月勅令第六十六號ヲ以テ列任官「九十人」ヲ「百人」ニ改ム○同年九月勅令第二百九十六號ヲ以テ警視ヲ削リ警部ヲ看守長ニ改メ列任官「百人」ヲ「七十六人」ニ改ム○同四十二年十月勅令第二百四十五號ヲ以テ理事官副理事官「三十人」ヲ「二十八人」ニ列任官「七十人」ヲ「五十八人」ニ改メ看守長ヲ削ル是現行定員ナリ

## ●統監府司法廳

●明治四十二年十月勅令第二百四十二號ヲ以テ統監府司法廳官制ヲ定ム

## ●統監府裁判所

●明治四十二年十月勅令第二百三十六號ヲ以テ統監府裁判所令ヲ定ム

## ●統監府司法警察官

●明治四十二年十月勅令第二百四十四號ヲ以テ統監府司法警察官制ヲ定ム

## ●統監府監獄

●明治四十二年十月勅令第二百四十三號ヲ以テ統監府監獄官制ヲ定ム

## ●統監府營林廠

●明治四十年三月勅令第七十二號ヲ以テ統監府營林廠官制ヲ定ム○同四十三年三月勅令第九十七號ヲ以テ事務官「五人」ヲ「四人」ニ列任官「二十五人」ヲ「二十人」ニ改ム是現行ノ制ナリ

## ●統監府特許局

●明治四十一年八月勅令第二百二號ヲ以テ統監府特許局官制ヲ定ム○同四十二年十月勅令第三百十號ヲ以テ實用新案ヲ加フ○同四十三年三月勅令第九十八號ヲ以テ屬「五人」ヲ「四人」ニ改メ通譯ヲ廢ス是現行ノ制ナリ

## ●統監府中學校

●明治四十三年三月勅令第九十九號ヲ以テ統監府中學校官制ヲ定ム

## ●統監府通信管理局

●明治三十八年十二月勅令第二百六十八號ヲ以テ統監府通信官署官制ヲ定ム○同三十九年二月勅令第二十二號ヲ以テ通信事務官「五人」ヲ「六人」ニ通信事務官補「十八」ヲ「十三人」ニ通信技師「四人」ヲ「六人」ニ通信屬「百八十人」ヲ「二百十人」ニ通信技手「二十人」ヲ「三十人」ニ通信手「二百十人」ヲ「二百六十二人」ニ改ム○同年五月勅令第五百五號ヲ以テ統監府通信官署ハ統監ノ指定ニ依リ韓國國庫

目次

四一



金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ掌ルノ條項ヲ設ケ通信事務官「六人」ヲ「七人」ニ通信屬「二百十人」ヲ「二百七十三人」ニ通信手「二百六十二人」ヲ「三百二十六人」ニ改ム○同四十年勅令第三百二十號ヲ以テ通信屬「二百七十三人」ヲ「二百八十人」ニ通信技手「三十人」ヲ「三十二人」ニ通信手「三百二十六人」ヲ「三百三十二人」ニ改ム○同四十一年四月勅令第七十八號ヲ以テ通信屬「二百八十人」ヲ「二百九十四人」ニ通信技手「三十二人」ヲ「三十七人」ニ通信手「三百三十二人」ヲ「三百五十二人」ニ改ム○同四十二年三月勅令第三百五十二人」ヲ「三百七十九人」ニ改ム○同四十三年三月勅令第九十六號ヲ以テ通信管理局事務官「三人」ヲ「二人」ニ通信事務官「七人」ヲ「八人」ニ通信事務官補「十三人」ヲ「十一人」ニ通信屬「三百九人」ヲ「二百六十七人」ニ通信技手「四十六人」ヲ「四十五人」ニ通信手「三百七十九人」ヲ「三百八人」ニ改ム是現行ノ制ナリ

●統監附陸海軍武官

●明治三十九年二月勅令第十五號ヲ以テ統監附陸海軍武官官制ヲ定ム

●統監府勸業模範場 (廢止)

●明治三十九年四月勅令第九十一號ヲ以テ統監府勸業模範場官制ヲ定ム同年六月之ヲ水原ニ置ク○同四十年三月勅令第六十九號ヲ以テ三月末日限之ヲ廢止ス

●統監府財政監查廳 (廢止)

●明治四十年三月勅令第十九號ヲ以テ統監府財政監查廳官制ヲ定ム○同年九月勅令第二百九十九號ヲ以テ之ヲ廢止ス

●統監府觀測所 (廢止)

●明治四十年三月勅令第七十號ヲ以テ統監府觀測所官制ヲ定ム之ヲ仁川ニ置キ釜山、木浦、龍岩浦、元山、城津ニ支所ヲ置ク○同四十一年三月勅令第五十六號ヲ以テ三月末日限之ヲ廢止ス

●統監府法務院 (廢止)

●明治三十九年六月勅令第六十四號ヲ以テ統監府法務院官制ヲ定ム○同四十二年十月勅令第二百三十六號ヲ以テ十月末日限之ヲ廢止ス

●統監府臨時時間島派出所 (廢止)

●明治四十一年四月勅令第八十六號ヲ以テ統監府臨時時間島派出所官制ヲ定ム○同四十二年四月勅令第七十九號ヲ以テ事務官「二人」ヲ「三人」ニ技師「一人」ヲ「二人」ニ判任「五人」ヲ「十人」ニ改メ「通譯官二人委任」ヲ置ク○同四十二年十月勅令第三百十五號ヲ以テ十一月一日限之ヲ廢止ス

●統監府鐵道管理局 (廢止)

●明治三十九年六月勅令第七十六號ヲ以テ統監府鐵道管理局官制ヲ定ム○同年七月勅令第九十二號ヲ以テ統監府鐵道管理局ニ臨時鐵道建設部ヲ置クノ件ヲ定ム○同四十年三月勅令第五十五號ヲ以テ事務官「八人」ヲ「十人」ニ事務官補「五人」ヲ「八人」ニ技師「十四人」ヲ「二十五人」ニ書記「百四十五人」ヲ「二百二十二」ニ技師「六十五人」ヲ「八十二人」ニ改メ臨時建設部ヲ置クノ條項ヲ加ヘテ前記勅令第九十二號ヲ廢止ス○同四十一年三月勅令第五十七號ヲ以テ事務官「十人」ヲ「十一人」ニ事務官補「八人」ヲ「九人」ニ技師「二十五人」ヲ「二十九人」ニ通譯官「一人」ヲ「二人」ニ書記「二百二十二」ヲ「二百五十三人」ニ技師「八十二人」ヲ「百七十三人」ニ通譯生「二人」ヲ「三人」ニ臨時建設部定員中事務官「四人」ヲ「三人」ニ事務官補「四人」ヲ「五人」ニ技師「十九人」ヲ「十七人」ニ書記「七十四人」ヲ「五十一人」ニ技師「九十人」ヲ「七十三人」ニ改メ通譯官通譯生ヲ廢止○同四十二年六月勅令第六十號ヲ以テ統監府鐵道廳官制ヲ定ム統監府鐵道管理局官制ヲ廢止ス○同年十二月勅令第三百三十六號ヲ以テ統監府鐵道廳官制ヲ廢止シ鐵道院ノ所管ト爲ス



第一輯 官制



# 第一輯 官制

## ● 統監府及理事廳設置

三十八年十一月  
勅令第二百四十號

朕韓國統監府及理事廳ヲ置クノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治三十八年十一月十七日帝國政府ト韓國政府トノ間ニ締結シタル協約第三條ニ基キ統監府ヲ京城ニ、理事廳ヲ京城、仁川、釜山、元山、鎮南浦、木浦、馬山其ノ他須要ノ地ニ置キ該協約ニ依ル諸般ノ事務ヲ掌ラシ

### 附則

〔本令ニ依ル統監府ノ職務ハ從來ノ帝國公使館、理事廳ノ職務ハ從來ノ帝國領事館ヲシテ當分ノ内之ヲ執行セシム〕

## ● 統監府及理事廳官制

三十八年十二月  
勅令第二百六十七號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府及理事廳官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

### 統監府及理事廳官制

第一條 韓國京城ニ統監府ヲ置ク

第二條 統監府ニ統監ヲ置ク

統監ハ親任トス

統監ハ天皇ニ直隸シ外交ニ關シテハ外務大臣ニ由リ内閣總理大臣ヲ經其ノ他ノ事務ニ關シテハ内閣總理大臣ヲ經テ上奏ヲ爲シ及制可ヲ受ク

第三條 統監ハ韓國ニ於テ帝國政府ヲ代表シ條約及法令ニ基キ諸般ノ政務ヲ統轄ス



第四條 統監ハ韓國ノ安寧秩序ヲ保持スル爲必要ト認ムルトキハ韓國守備軍ノ司令官ニ對シ兵力ノ使用ヲ命  
スルコトヲ得

第五條 削除

第六條 削除

第七條 統監ハ統監府令ヲ發シ之ニ一年以下ノ懲役、禁錮若ハ拘留又ハ二百圓以下ノ罰金若ハ科料ノ罰則ヲ  
附スルコトヲ得

第八條 統監ハ所轄官廳ノ命令又ハ處分ニシテ條約若ハ法令ニ違ヒ、公益ヲ害シ又ハ權限ヲ犯スモノアリト  
認ムルトキハ其ノ命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第九條 統監ハ所部ノ官吏ヲ統督シ奏任官ノ進退ハ內閣總理大臣ヲ經テ之ヲ上奏シ判任官以下ノ進退ハ之ヲ  
專行ス

第十條 統監ハ內閣總理大臣ヲ經テ所部官吏ノ敘位敘勳ヲ上奏ス

第十條ノ二 統監府ニ副統監ヲ置ク

副統監ハ親任トス

副統監ハ統監ヲ補佐シ統監事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

第十一條 統監府ニ左ノ職員ヲ置ク

總務長官	勅任
參與官	專任二人 勅任
秘書官	專任二人 奏任
書記官	專任六人 奏任
技師	專任四人 奏任
通譯官	專任九人 奏任

屬	專任四十三人	判任
技手		
通譯生		

前項ノ外韓國宮內府及各部ノ次官タル者ハ之ヲ參與官トス

統監府又ハ其ノ所轄官廳ノ事務ヲ囑託セラレタル韓國人ハ高等官又ハ判任官ノ待遇ト爲スコトヲ得

第十二條 總務長官ハ上官ノ命ヲ承ケ府務ヲ總理ス

第十三條 參與官ハ上官ノ命ヲ承ケ府務ヲ掌理ス

第十三條ノ二 削除

第十四條 削除

第十五條 削除

第十六條 秘書官ハ上官ノ命ヲ承ケ機密ニ關スル事務ヲ掌ル

第十七條 書記官ハ上官ノ命ヲ承ケ府務ヲ掌ル

第十八條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十九條 通譯官ハ上官ノ命ヲ承ケ文書繙譯及通譯ヲ掌ル

第二十條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第二十一條 統監ハ統監府技師、通譯官及技手ヲシテ理事廳ニ在勤セシムルコトヲ得

前項ノ職員ハ其ノ職務ノ執行ニ付當該理事官ノ指揮監督ヲ承クルモノトス

第二十二條 韓國內須要ノ地ニ理事廳ヲ置ク

理事廳ノ位置及管轄區域ハ統監之ヲ定ム

第二十三條 各理事廳ニ左ノ職員ヲ置ク

理事官 奏任



副理事官 奏任  
屬 判任  
通譯 生 判任

理事應職員ノ定員ハ別ニ之ヲ定ム

第二十四條 理事官ハ統監ノ指揮監督ヲ承ケ從來韓國在勤領事ニ屬シタル事務並條約及法令ニ基キ理事官ノ執行スヘキ事務ヲ管掌ス

第二十五條 理事官ハ安寧秩序ヲ保持スル爲緊急ノ必要アリト認ムル場合ニ於テ統監ノ命ヲ請フノ違ナキトキハ當該地方駐在帝國軍隊ノ司令官ニ移牒シテ出兵ヲ請フコトヲ得

第二十六條 理事官ハ韓國ノ施政事務ニシテ條約ニ基ク義務ノ履行ノ爲必要アルモノニ付事緊急ヲ要シ統監ノ命ヲ請フノ違ナシト認ムルトキハ直ニ韓國當該地方官憲ニ移牒シ之ヲ執行セシメ後之ヲ統監ニ報告スヘシ

第二十七條 理事官ハ理事應令ヲ發シ之ニ拘留又ハ科料ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

第二十八條 副理事官ハ理事官ノ命ヲ承ケ職務ヲ掌リ理事官事故アルトキハ臨時其ノ職務ヲ代理ス

第二十九條 削除

第三十條 統監府及理事應屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第三十一條 削除

第三十二條 統監府及理事應通譯生ハ上官ノ指揮ヲ承ケ文書繕譯及通譯ニ従事ス

第三十三條 削除

第三十四條 削除

第三十五條 削除

(參照)

●領事官職務規則

三十三年四月 改正 勅令二百五十三號 勅令二九三號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ領事官職務規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

領事官職務規則

第一條 領事官ハ外務大臣ノ指揮監督及其ノ駐在國ニ在ル帝國公使ノ監督ヲ受クヘシ  
外務大臣カ特定ノ事項ニ關シテ領事官ヲ指揮スルコトナキハ駐在國ニ在ル帝國公使ニ命シタルトキハ領事官ハ該事項ニ關シテ帝國公使ノ指揮ヲ受クヘシ

第二條 領事官ハ駐在國ニ於テ日本臣民ヲ保護シ帝國ノ通商航海ニ關スル利益ヲ維持増進スヘシ

第三條 領事官ハ駐在國カ條約又ハ國際法ニ依リ帝國ニ對シテ負フ所ノ義務ノ遵守ヲ觀察シ日本臣民ノ利益又ハ帝國ノ通商航海ニ關スル利益ヲ害セラレタル場合ニ於テハ駐在國ノ官廳ニ對シテ必要ナル措置ヲ爲スヘシ

第四條 領事官ハ其ノ駐在國ニ在ル帝國軍艦ニ對シテ必要ナル幫助ヲ爲スヘシ

第五條 領事官ハ其ノ管轄區域内ニ在ル日本臣民ノ救助又ハ取締ノ爲必要ナル措置ヲ爲スヘシ

第六條 領事官ハ救助又ハ取締ノ爲必要ナルトキハ日本臣民ノ送還ヲ日本船船長ニ命スルコトヲ得

第七條 領事官ハ其ノ管轄區域内ニ於テ日本臣民ノ財産又ハ遺産ノ保護管理ニ必要ナル措置ヲ爲スヘシ

第八條 領事官ハ其ノ管轄區域内ニ在ル日本臣民ノ名簿ヲ備ヘ居住及身分ニ關スル届出ヲ受理シ届出又ハ其ノ他ノ事實ニ依リテ確知シタル日本臣民ノ居住及身分ニ關スル事項ヲ該名簿ニ登錄スヘシ

第九條 領事官ハ其ノ駐在國ニ在ル日本船船長及其ノ船員ニ對シテ必要ナル保護及取締ヲ爲スヘシ

第十條 領事官ハ其ノ駐在國ノ官廳又ハ公署ノ發シタル文書ノ真正ヲ證明スルコトヲ得

第十一條 領事官ハ日本臣民又ハ外國人ノ申請ニ因リ其ノ職務上取扱フヘキ事項及職務ヲ行フ際知り得タル事實ノ認證ヲ爲スコトヲ得

第十二條 領事官ハ日本臣民ニ旅券ヲ付與シ又ハ其ノ旅券ヲ查證スルコトヲ得

第十三條 領事官ハ日本ニ旅行セムトスル外國人ノ申請ニ因リ其ノ旅券ヲ查證スルコトヲ得

第一輯 官制



コトヲ得

- 第十四條 領事官ハ日本臣民相互ノ間又ハ日本臣民及外國人ノ間ニ生シタル民事上ノ爭論ニ關シ和解ヲ爲サシメ又ハ仲裁ヲ爲スコトヲ得
- 第十五條 條約又ハ慣例ニ依リ領事裁判權ヲ行フコトヲ得ル領事官ハ其ノ所管事務ニ付命令ヲ發スルコトヲ得
- 領事官ノ發スル命令ニハ五十圓以内ノ罰金若ハ科料又ハ拘留ノ罰則ヲ附スルコトヲ得
- 領事官ノ發スル命令ノ公布ニ關スル規程ハ領事官之ヲ定ム
- 第十六條 外務大臣ハ領事官ノ發シタル命令ニシテ條約若ハ法令ニ違反シ又ハ公益ニ害アリト認ムルトキハ其ノ取消ヲ命スルコトヲ得
- 領事官ノ駐在國ニ在ル帝國公使ハ領事官ノ發シタル命令ニシテ條約若ハ法令ニ違反シ又ハ公益ニ害アリト認ムルトキハ其ノ施行停止ヲ命スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ直ニ其ノ旨ヲ外務大臣ニ報告スルコトヲ要ス
- 前項ノ施行停止ハ三箇月ヲ經過スルトキハ其ノ效ヲ失フ
- 第十七條 領事官ハ其ノ職務上必要アルトキハ帝國軍艦ニ幫助ヲ求ムルコトヲ得
- 第十八條 領事官ハ其ノ職務上ノ事項ニ付外務大臣ニ報告スヘシ
- 第十九條 領事官ハ豫メ外務大臣ノ認可ヲ得タル場合ノ外帝國ノ他ノ官廳又ハ公署ト直接通信ヲ爲スコトヲ得ス
- 第二十條 領事官ノ徵收スル手數料及出張費用ニ關スル規程ハ外務大臣之ヲ定ム
- 第二十一條 名譽領事及貿易事務官ハ外務大臣ノ訓令ニ基キ本令其ノ他領事官ノ職務ニ關スル法令及條約ノ規定ニ準依シテ其ノ職務ヲ行フ
- 第二十二條 本令ノ施行期日ハ外務大臣之ヲ定ム(三十三年九月外務省令第四號ヲ以テ本令施行期日ヲ三十四年一月一日ト定ム)
- 第二十三條 日本帝國領事規則及明治二十三年勅令第二百五十八號ハ之ヲ廢止ス

● 內國官憲管掌事項ニ付統監ノ職權ニ關スル制 三十九年六月 法律第五十七號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル內國官憲ノ管掌ニ屬スル事項ニ付統監ノ職權ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

韓國ニ關スル事項ニシテ法律ノ規定ニ依リ內國官憲ノ管掌ニ屬スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ統監ノ職權ニ屬セシムルコトヲ得

● 同上法律ニ依リ統監管掌事項 三十九年六月 勅令第六十七號 改正 四十二年 勅令第二四二號 三四一號

朕韓國ニ於ケル內國官憲ノ管掌事項ヲ統監ノ職權ニ屬セシムル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

居留民團法、清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法、戶籍法、在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法、外國領海水產組合法、郵便法、電信法及電信線電話線建設條例中各省大臣ノ管掌ニ屬スル事項ニシテ韓國ニ關スルモノハ統監之ヲ行フ

附則

本令ハ明治三十九年法律第五十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ニ對スル統監及

韓國駐劄軍司令官ノ權限 四十二年十二月 勅令第三百四十號

朕韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ニ對スル統監及韓國駐劄軍司令官ノ權限ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監ハ韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ニ關シ臨機必要ノ處置ヲ命スルコトヲ得

韓國駐劄軍司令官ハ前項ノ鐵道ニ關シ軍事輸送其ノ他軍事上所要ノ設備ヲ要求スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 統監府事務分掌規程 四十年十月 改正 四十二年 統訓第二二號

明治四十年統監府訓令第十號統監府事務分掌規程左ノ通改正ス

統監府事務分掌規程

第一條 統監府ニ統監官房、外務部、監査部及地方部ヲ置ク

統監官房及部ニ長ヲ置キ各其ノ事務ヲ掌理セシム

第一輯 官制



統監官房長ハ總務長官、部長ハ總務長官又ハ參與官ヲ以テ之ニ充ツ

第二條 統監官房ニ文書課、人事課及會計課ヲ置ク

各課ニ課長ヲ置キ其ノ事務ヲ分掌セシム

課長ハ高等官ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 文書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 文書圖書ニ關スル事項

二 統計及報告ニ關スル事項

三 統監、副統監、總務長官ノ官印及府印ノ管守ニ關スル事項

四 參與官會議ニ關スル事項

五 他部課ノ主管ニ屬セサル事項

第四條 人事課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 官吏囑託員及雇員ノ進退身分ニ關スル事項

二 韓國高等官吏ノ任免ニ關スル事項

三 褒賞ニ關スル事項

第五條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 經費及收入豫算決算並會計ニ關スル事項

二 官有財産及物品ニ關スル事項

三 營繕ニ關スル事項

四 會計ノ監査ニ關スル事項

第六條 外務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 領事館及外國人ニ關スル事項

二 韓國移民ニ關スル事項

三 條約及取極書ニ關スル事項

四 儀式及敍勳ニ關スル事項

第七條 監査部ニ於テハ法令及處分ノ審査ニ關スル事項ヲ掌ル

第八條 地方部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 地方行政ニ關スル事項

二 殖産及金融ニ關スル事項

三 宗教及教育ニ關スル事項

四 行政警察ニ關スル事項

●理事廳職員定員令 三十八年十二月 勅令第二百六十九號

朕理事廳職員定員令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

理事廳職員定員令

理事廳職員ノ定員ハ左ノ如シ

理事官及副理事官ハ通シテ專任二十八人

屬及通譯生ハ通シテ專任五十八人

●理事廳位置及管轄區域 三十九年二月 改正 三九年統令二八號、四四號、四〇年四三號 統令第六號

統監府及理事廳官制第二十二條ニ依リ理事廳ノ位置及管轄區域左ノ通相定メ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

名	稱	位	置	管	轄	區	域
				慶尚道南部一帶ノ地域			



釜山理事廳	釜山	<p>北部ハ大邱理事廳管區ニ接ス西南部ハ金海、密陽、靈山、昌寧ノ各郡ヲ以テ馬山理事廳管區ニ接ス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス</p> <p>慶尙道東部沿岸一帯ノ地域</p> <p>西部ハ巨濟、迎日、興海、清河、盈徳、寧海ノ各郡ヲ以テ大邱理事廳管區ニ接ス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス</p> <p>江原道東部沿岸一帯ノ地域</p> <p>北部ハ元山理事廳管區ニ接ス西部ハ平海、蔚珍、三陟ノ各郡ヲ以テ大邱理事廳管區ニ接ス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス</p>
馬山理事廳	馬山	<p>慶尙道西南部一帯ノ地域ニシテ釜山理事廳管區及大邱理事廳管區以外ノ部</p> <p>全羅道北部一帯ノ地域</p> <p>萬頃、扶安、古阜、非色、淳昌、求禮、南原ノ各郡ヲ以テ南部トノ境界線トス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス</p> <p>忠清道南部一帯ノ地域</p> <p>保寧、藍浦、鴻山、定山、公州ノ各府郡ヲ以テ北部トノ境界線トス但シ其ノ各府郡ハ本管區ニ屬ス</p>
群山理事廳	群山	<p>全羅道南部一帯ノ地域ニシテ北境ハ群山理事廳ノ管區ニ接ス</p> <p>京畿道東部一帯ノ地域</p> <p>豐徳、開城、長湍、坡州、高陽、陽川、始興、水原ノ各府郡ヲ以テ西部トノ境界線トス但シ其ノ各府郡ハ本管區ニ屬ス</p> <p>江原道西部一帯ノ地域</p> <p>鐵原、金化、狼川、春川、洪川、原州ノ各府郡ヲ以テ東部ノ境界線トス但シ其ノ各府郡ハ本管區ニ屬ス</p> <p>忠清道東部一帯ノ地域</p>
木浦理事廳	木浦	<p>全羅道南部一帯ノ地域ニシテ北境ハ群山理事廳ノ管區ニ接ス</p>
京城理事廳	京城	<p>其ノ西南部及南部ハ群山理事廳、大邱理事廳ノ管區ニ接ス而シテ其ノ西部ハ平澤、稷山、天安、全義、燕岐ノ各郡ヲ以テ境界線トス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス</p> <p>黃海道東部一帯ノ地域</p> <p>金川、瓦山ノ各郡ヲ以テ西北部ノ境界線トス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス</p> <p>京畿道西部一帯ノ地域ニシテ東境ハ京城理事廳ノ管區ニ接ス</p> <p>忠清道西北部一帯ノ地域ニシテ南境ハ京城理事廳及群山理事廳ノ管區ニ接ス</p> <p>黃海道南部一帯ノ地域</p> <p>瓮津、海州、白川ノ各郡ヲ以テ北部トノ境界線トス但シ其ノ各府郡ハ本管區ニ屬ス</p>

仁川理事廳	仁川	<p>平安南道東北部一帯ノ地域</p> <p>中和、江西ノ各郡ヲ以テ西南部トノ境界線トス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス</p> <p>黃海道東部一帯ノ地域</p> <p>黃州、鳳山、平山ノ各郡ヲ以テ西部ノ境界線トス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス而シテ其ノ南部ノ境界ハ京城理事廳管區ニ接ス</p>
平壤理事廳	平壤	<p>黃海道東部一帯ノ地域</p> <p>黃海道西部一帯ノ地域ニシテ東及南ノ境界線ハ仁川、京城及平壤ノ各理事廳ノ管區ニ接ス</p>
鎮南浦理事廳	鎮南浦	<p>咸鏡道南部一帯ノ地域</p> <p>咸鏡道東部一帯ノ地域ニシテ西及南ノ境界線ハ京城、大邱及釜山ノ各理事廳ノ管區ニ接ス</p> <p>咸鏡道西部一帯ノ地域ニシテ北部ハ清津理事廳管區ニ接ス</p>
元山理事廳	元山	<p>咸鏡道南部一帯ノ地域</p> <p>咸鏡道東部一帯ノ地域ニシテ西及南ノ境界線ハ京城、大邱及釜山ノ各理事廳ノ管區ニ接ス</p> <p>咸鏡道西部一帯ノ地域ニシテ北部ハ清津理事廳管區ニ接ス</p>
城津理事廳	城津	<p>慶尙道北部一帯ノ地域</p> <p>南部ハ支風、清道、慈仁、慶州ノ各郡ヲ以テ釜山理事廳管區ニ接ス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス</p> <p>東部ハ釜山理事廳管區ニ接ス西南部ハ高靈、星州、知禮ノ各郡ヲ以テ馬山理事廳管區ニ接ス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス</p>

第一輯 官制



大邱理事廳	大邱	シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス 忠清道東南部一帯ノ地域 永同、青山ノ各郡ヲ以テ西部トノ境界線トス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス 江原道南部一帯ノ地域 平昌、旌善ノ各郡ヲ以テ北部トノ境界線トス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス 東部ハ釜山理事廳管區ニ接ス
新義州理事廳	新義州	平安北道一圓
清津理事廳	清津	咸鏡北道北部一帯ノ地域 西南部ハ茂山、鏡城ノ各郡ヲ以テ城津理事廳管轄區ニ接ス但シ其ノ各郡ハ本管區ニ屬ス

●統監府司法廳官制 四十二年十月 勅令第二百四十二號

朕統監府司法廳官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府司法廳官制

第一條 統監府司法廳ハ統監ノ管理ニ屬シ韓國ニ於ケル司法及監獄ニ關スル行政事務ヲ掌ル

第二條 統監府司法廳ニ左ノ職員ヲ置ク

長 官 勅任

參事官 專任三人 奏任 內一人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

書記官 專任二人 奏任

監獄事務官 專任一人 奏任

通譯生 專任三十八人 判任

第三條 長官ハ統監ノ指揮監督ヲ承ケ廳務ヲ掌理ス

長官事故アルトキハ上席ノ參事官其ノ職務ヲ代理ス

第四條 參事官ハ長官ノ命ヲ承ケ審議立案ヲ掌ル

參事官ハ臨時命ヲ承ケ廳務ヲ助ク

第五條 書記官ハ長官ノ命ヲ承ケ廳務ヲ掌ル

第六條 監獄事務官ハ長官ノ命ヲ承ケ監獄ニ關スル事務ヲ掌ル

第七條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第八條 通譯生ハ上官ノ指揮ヲ承ケ翻譯及通譯ニ従事ス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府司法廳分課規程 四十二年十月 統訓第二十四號

統監府司法廳

統監府司法廳分課規程左ノ通定ム

統監府司法廳分課規程

第一條 統監府司法廳ニ職員課、庶務課、民事課及刑事課ヲ置ク

各課ニ長ヲ置ク

第二條 職員課ニ於テハ左ノ事務ヲ管掌ス

- 一 機密ニ關スル事項
- 一 裁判所、監獄ノ設置、廢止及管轄區域ニ關スル事項
- 一 職員ノ進退、身分並出張ニ關スル事項

第一輯官制



- 一 裁判所及監獄職員ノ試験ニ關スル事項
- 一 辯護士ノ職務ニ從事スル者ノ身分及監督ニ關スル事項
- 第三條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ管掌ス
  - 一 文書ノ接受、發送及淨寫ニ關スル事項
  - 一 文書ノ翻譯、編纂及保存ニ關スル事項
  - 一 長官ノ官印及應印ノ管守ニ關スル事項
  - 一 統計ニ關スル事項
  - 一 官報及公報ニ掲載スヘキモノニ關スル事項
  - 一 經費及諸收入ノ豫算並會計ニ關スル事項
  - 一 官有財産ニ關スル事項
  - 一 保管金ノ收支及物品ノ出納ニ關スル事項
  - 一 廳舎ノ建築及修繕ニ關スル事項
  - 一 會計ノ監督ニ關スル事項
  - 一 廳内ノ取締ニ關スル事項
  - 一 備人ノ使役ニ關スル事項
  - 一 他課ノ主宰ニ屬セサル事項
- 第四條 民事課ニ於テハ民事及非訟事件ニ關スル事務ヲ管掌ス
- 第五條 刑事課ニ於テハ刑事、檢察、監獄、恩赦及出獄人保護ニ關スル事務ヲ管掌ス

● 統監府裁判所令

四十二年十月 勅令第二百三十六號

朕統監府裁判所令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府裁判所令

- 第一條 統監府裁判所ハ統監ニ直屬シ韓國ニ於ケル民事刑事ノ裁判及非訟事件ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第二條 統監府裁判所ヲ分チテ區裁判所、地方裁判所、控訴院及高等法院トス
- 統監府裁判所ノ設置、廢止及管轄區域ハ統監之ヲ定ム
- 統監府裁判所ニ統監府判事ヲ置ク判事ハ勅任又ハ奏任トス
- 第三條 區裁判所ハ裁判所構成法ニ定メタル區裁判所、地方裁判所ハ同法ニ定メタル地方裁判所ノ職務ヲ行フ
- 控訴院ハ地方裁判所ノ裁判ニ對スル控訴及抗告、高等法院ハ地方裁判所又ハ控訴院ノ第二審ノ判決ニ對スル上告及控訴院ノ裁判ニ對スル抗告ニ付裁判ヲ行フ
- 高等法院ハ前項ノ外裁判所構成法ニ定メタル大審院ノ特別權限ニ屬スル職務及第一審且終審トシテ韓國皇族ノ犯シタル罪ニシテ禁錮以上又ハ韓國法規ニ依リ禁錮以上ノ刑ニ處スヘキモノノ裁判ヲ行フ
- 第四條 區裁判所ハ前條第一項ノ外韓國人ノ犯シタル罪ニシテ左ノ各號ノ一ニ該ルモノノ裁判ヲ行フ
  - 一 韓國法規ニ依リ一年以下ノ懲役、禁錮、罰金、答刑又ハ拘留ノ刑ニ該ル罪
  - 二 韓國刑法大全第五百九十二條、第五百九十五條、第五百九十六條、第六百一條乃至第六百三條、第六百十六條及第六百十七條ノ罪
  - 三 前號ノ罪ノ賊ヲ分チ又ハ買得、受寄シタル罪
  - 四 韓國刑法大全第六百四十四條ノ罪
- 前項第一號ノ罪ニ付テハ再犯以上トシテ處分スヘキ場合ト雖區裁判所其ノ裁判ヲ行フ
- 第五條 統監ハ地方裁判所ノ事務ノ一部ヲ取扱ハシムル爲管轄區域内ノ區裁判所ニ地方裁判所ノ支部ヲ設置スルコトヲ得
- 支部ノ職員ハ支部ヲ設置シタル區裁判所ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ



第六條 統監ハ地方裁判所ノ管轄區域内ノ一ノ區裁判所ニ屬スル裁判事務ノ全部又ハ一部ヲ其ノ地方裁判所ノ管轄區域内ノ他ノ區裁判所ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

第七條 區裁判所ハ判事單獨ニテ裁判ヲ爲シ地方裁判所及控訴院ハ三人ノ判事、高等法院ハ五人ノ判事ヲ以テ組織シタル部ニ於テ合議シテ裁判ヲ爲ス

高等法院ノ或部ニ於テ上告ヲ審問シタル後從來ノ判決例ニ異リタル意見ヲ有スルトキハ其ノ部ハ之ヲ高等法院長ニ報告シ高等法院長ハ各部ヲ聯合シテ更ニ之ヲ審問シ且其ノ裁判ヲ爲サシム

前項ノ場合ニ於テハ判事ノ三分ノ二以上列席スルコトヲ要ス

第八條 統監ハ地方裁判所又ハ其ノ支部ノ判事ノ一人又ハ數人ニ其ノ裁判所又ハ支部ノ裁判權ニ屬スル刑事ノ豫審ヲ爲スコトヲ命ス

高等法院長ハ第三條第三項ノ豫審ヲ爲スヘキ各別ノ場合ニ付其ノ院ノ判事又ハ下級裁判所ノ判事ニ之ヲ爲スコトヲ命ス

第九條 統監府裁判所ニ檢事局ヲ並置ス  
檢事局ハ統監ノ管理ニ屬シ韓國ニ於ケル檢察事務ヲ掌ル

檢事局ノ管轄區域ハ之ヲ並置シタル裁判所ノ管轄區域ニ同シ  
檢事局ニ統監府檢事ヲ置ク檢事ハ勅任又ハ奏任トス

第十條 統監府裁判所ニ書記ヲ置ク書記ハ判任トス  
書記ハ裁判所及檢事局ニ附屬ス

第十一條 統監府裁判所ニ通譯官又ハ通譯生ヲ置ク通譯官ハ奏任、通譯生ハ判任トス  
通譯官及通譯生ハ裁判所及檢事局ニ附屬ス

第十二條 高等法院ニ高等法院長ヲ置ク

高等法院長ハ統監ノ指揮監督ヲ承ケ其ノ院ノ行政事務ヲ掌理ス  
第十三條 控訴院ニ控訴院長ヲ置ク

控訴院長ハ統監ノ指揮監督ヲ承ケ其ノ院ノ行政事務ヲ掌理シ管轄區域内下級裁判所ノ行政事務ヲ指揮監督ス

第十四條 地方裁判所ニ地方裁判所長ヲ置ク  
地方裁判所長ハ其ノ裁判所ノ行政事務ヲ掌理シ管轄區域内區裁判所ノ行政事務ヲ指揮監督ス

第十五條 區裁判所ノ判事ハ其ノ裁判所ノ行政事務ヲ掌理ス  
判事二人以上アルトキハ上席ノ判事前項ノ職務ヲ行フ

第十六條 高等法院、控訴院及地方裁判所ノ各部ニ部長ヲ置ク  
部長ハ各其ノ長官ノ命ヲ承ケ部ノ事務ヲ掌ル

第十七條 高等法院檢事局ニ高等法院檢事長ヲ置ク  
高等法院檢事長ハ統監ノ指揮監督ヲ承ケ其ノ局ノ事務ヲ掌理シ下級檢事局ヲ指揮監督ス

第十八條 控訴院檢事局ニ控訴院檢事長ヲ置ク  
控訴院檢事長ハ其ノ局ノ事務ヲ掌理シ管轄區域内下級檢事局ヲ指揮監督ス

第十九條 地方裁判所檢事局ニ地方裁判所檢事正ヲ置ク  
地方裁判所檢事正ハ其ノ局ノ事務ヲ掌理シ管轄區域内區裁判所檢事局ヲ指揮監督ス

第二十條 區裁判所ノ檢事ハ其ノ裁判所檢事局ノ事務ヲ掌理ス  
檢事二人以上アルトキハ上席ノ檢事前項ノ職務ヲ行フ

第二十一條 高等法院及控訴院ニ書記長ヲ置ク書記長ハ奏任トス  
書記長ハ院長及檢事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第二十二條 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス



第二十三條 通譯官及通譯生ハ上官ノ指揮ヲ承ケ翻譯及通譯ニ從事ス

第二十四條 統監府裁判所及檢事局職員ノ定員ハ各裁判所及檢事局ヲ通シテ左ノ如シ

判事 三百二十九人

檢事 八十五人

書記長 四人

通譯官 四人

書記 三百六十八人

通譯生 百八十七人

第二十五條 韓國人ニシテ判事又ハ檢事タル者ハ民事ニ在リテハ原告被告トモ韓國人タル場合、刑事ニ在リテハ被告人韓國人タル場合ニ限リ其ノ職務ヲ行フ

第二十六條 區裁判所檢事ノ職務ハ統監府警視、統監府警部又ハ統監府裁判所書記ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

附則

第二十七條 統監府裁判所及檢事局ノ事務處理ニ關スル規程ハ統監之ヲ定ム

附則

第二十八條 本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

統監府法務院官制ハ之ヲ廢止ス

第二十九條 本令施行前理事廳又ハ韓國ノ區裁判所、郡衙若ハ地方裁判所ニ於テ受理シタル訴訟事件及非訟事件ハ現在ノ儘理事廳ニ係ルモノニ在リテハ管轄ニ關スル規定ニ從ヒ相當ノ區裁判所又ハ地方裁判所ニ、韓國ノ區裁判所又ハ郡衙ニ係ルモノニ在リテハ其ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ、韓國地方裁判所ニ係ルモノニ在リテハ其ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ニ移ルモノトシ既ニ爲シタル裁判ハ第一審及第二審ノ區別ニ從ヒ各其ノ區裁判所又ハ地方裁判所之ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十條 本令施行前統監府法務院又ハ韓國ノ控訴院ニ於テ受理シタル訴訟事件及非訟事件ハ現在ノ儘其ノ所在地ヲ管轄スル控訴院ニ移ルモノトス

統監府法務院ノ既ニ爲シタル裁判ハ高等法院、韓國ノ控訴院ノ既ニ爲シタル裁判ハ前項ノ控訴院之ヲ爲シタルモノト看做ス

本令施行前韓國ノ大審院ニ於テ受理シタル訴訟事件及非訟事件ハ現在ノ儘高等法院ニ移ルモノトシ既ニ爲シタル裁判ハ高等法院之ヲ爲シタルモノト看做ス

●統監府警視警部檢事ノ職務取扱ニ關スル制

四十二年十月 統訓第二十八號

統監府警視、統監府警部

區裁判所所在地ニ在勤スル統監府警視、警部ハ所轄地方裁判所檢事正ノ要求アルトキハ其ノ區裁判所檢事ノ職務ヲ取扱フヘシ  
前項ノ職務ハ成ルヘク上席ノ者ニ於テ之ヲ取扱フヘシ

●統監府裁判所ノ名稱、位置及管轄區域

四十二年十月 統令第二十八號

統監府裁判所設置ノ件左ノ通定ム

統監府裁判所設置ノ件

統監府裁判所ヲ設置シ其ノ名稱、位置及管轄區域ヲ別表ノ通定ム  
各裁判所開廳ノ期日ハ更ニ之ヲ告示ス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス







義州	龍川	宣川	定州	寧邊	江界	楚山	海州	延安	平山	瑞興	新溪	黃州	戴寧	松禾	大邱	金星	金山			
(義州府)							黃海道								慶尙北道					
面、津留面、威化面、咸遠面、月化面	鐵山ノ内西林面、站面	義州府(内新義州區裁判所所轄地域ヲ除ク)	朔州、昌城	龍川府、鐵山(内西林面、站面ヲ除ク)	宣川、龜城	定州、郭山、嘉山、博川	寧邊、泰川、雲山、熙川	江界、慈城、厚昌	楚山、碧潼、渭原	海州、瓮津	延安、白川	平山、金川、兎山	瑞興、遂安	新溪、谷山	黃州、鳳山	戴寧、安岳、信川	松禾、長淵、殷栗	大邱、漆谷、慶山、慈仁、清道	星州、高靈、玄風	金山、知禮、開寧、善山、仁同

咸興	咸興	北青	甲山	元山	(德源府)	永興	清津	(富寧郡)	鏡城	會津	慶興	平壤	鎮南浦	(三和府)	安州	順川	德川	成川	新義州	
咸鏡南道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道	咸鏡北道
堤川、永春、丹陽	咸興、定平、長津、洪原	北青、利原、端川	甲山、三水	德源府、安邊、文川	永興、高原	富寧、茂山	鏡城、明川	會津、鍾城、穩城	慶興、慶源	平壤、中和、順安、祥原	三和府、龍岡、江西、甌山	安州、肅川、永柔、价川	順川	德川、寧遠、孟山	成川、江東、陽德	義州府ノ内古城面、光城面、古邑面、枇峴				







●統監府地方裁判所支部ノ名稱位置及管轄區域

四十二年十月  
統令第二十九號

統監府地方裁判所支部設置ノ件左ノ通定ム  
地方裁判所設置ノ件

仁川、春川、清州、元山、清津、新義州、晉州、木浦及全州ノ區裁判所ニ所屬地方裁判所ノ支部ヲ設置ス  
支部ハ別表ニ定メタル所管區域内ノ事件ニ付地方裁判所ノ職務ヲ行フ  
支部開廳ノ期日ハ更ニ之ヲ告示ス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

別表

地方裁判所支部管轄表

支・部ノ名稱	所管區域裁判所	所管區域裁判所
京城地方裁判所仁川支部	仁川區裁判所	金浦區裁判所
京城地方裁判所春川支部	江華區裁判所	金城區裁判所
京城地方裁判所新義州支部	春川區裁判所	通川區裁判所
京城地方裁判所清州支部	鐵原區裁判所	蔚珍區裁判所
京城地方裁判所元山支部	江陵區裁判所	原州區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	平昌區裁判所	報恩區裁判所
咸興地方裁判所元山支部	清州區裁判所	忠州區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	永同區裁判所	堤川區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	陰城區裁判所	
咸興地方裁判所清津支部		

咸興地方裁判所元山支部	元山區裁判所	永興區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	清津區裁判所	鏡城區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	咸興區裁判所	會寧區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	新義州區裁判所	義州區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	龍川區裁判所	宣川區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	定州區裁判所	寧邊區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	江界區裁判所	楚山區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	晉州區裁判所	陝川區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	居昌區裁判所	河東區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	龍南區裁判所	海南區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	木浦區裁判所	順天區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	長興區裁判所	鎮安區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	濟州區裁判所	群山區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	全州區裁判所	興德區裁判所
咸興地方裁判所清津支部	錦山區裁判所	
咸興地方裁判所清津支部	古阜區裁判所	
咸興地方裁判所清津支部	南原區裁判所	

●統監府裁判所開廳期日

四十二年十月  
統告第百六號

統監府裁判所ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ開廳ス但シ當分ノ内左ノ區裁判所ハ之ヲ開廳セス

第一輯 官制



- 遼川區裁判所
- 保寧區裁判所
- 報恩區裁判所
- 延安區裁判所
- 青松區裁判所
- 海南區裁判所
- 金浦區裁判所
- 瑞山區裁判所
- 陰城區裁判所
- 平山區裁判所
- 陝川區裁判所
- 鎮安區裁判所
- 鐵原區裁判所
- 沔川區裁判所
- 甲山區裁判所
- 新溪區裁判所
- 谷城區裁判所
- 興德區裁判所
- 平昌區裁判所
- 牙山區裁判所
- 順川區裁判所
- 星州區裁判所
- 靈光區裁判所

●未開廳區裁判所事務取扱ニ關スル制 四十二年十月 統令第三十號

統監府未開廳區裁判所事務取扱ニ關スル件左ノ通定ム  
 未開廳區裁判所事務取扱ニ關スル件  
 別表上欄ニ記載シタル區裁判所ニ屬スル裁判事務ハ其ノ裁判所ノ開廳ニ至ル迄下欄ニ記載シタル區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

- |         |          |         |          |
|---------|----------|---------|----------|
| 未開廳區裁判所 | 事務取扱區裁判所 | 未開廳區裁判所 | 事務取扱區裁判所 |
| 遼川區裁判所  | 開城區裁判所   | 金浦區裁判所  | 仁川區裁判所   |
| 鐵原區裁判所  | 金城區裁判所   | 平昌區裁判所  | 原州區裁判所   |
| 保寧區裁判所  | 鴻山區裁判所   | 瑞山區裁判所  | 洪州區裁判所   |
| 沔川區裁判所  | 洪州區裁判所   | 牙山區裁判所  | 天安區裁判所   |
| 報恩區裁判所  | 清州區裁判所   | 陰城區裁判所  | 忠州區裁判所   |

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 甲山區裁判所 | 北青區裁判所 | 順川區裁判所 | 安州區裁判所 |
| 延安區裁判所 | 海州區裁判所 | 平山區裁判所 | 瑞興區裁判所 |
| 新溪區裁判所 | 瑞興區裁判所 | 星州區裁判所 | 大邱區裁判所 |
| 青松區裁判所 | 安東區裁判所 | 陝川區裁判所 | 晉州區裁判所 |
| 谷城區裁判所 | 光州區裁判所 | 靈光區裁判所 | 木浦區裁判所 |
| 海南區裁判所 | 長興區裁判所 | 鎮安區裁判所 | 全州區裁判所 |
| 興德區裁判所 | 古阜區裁判所 |        |        |

●統監府裁判所及檢事局事務章程 四十二年十月 統令第三十三號

統監府裁判所及檢事局事務章程左ノ通定ム

第一條 裁判所ノ長及檢事局ノ長事故アル場合ニ於ケル行政事務ノ代理ハ其ノ廳ノ判事及檢事中其ノ長ノ指定シタル者之ヲ爲ス

前項ノ規定ハ區裁判所上席ノ判事又ハ檢事事故アル場合ニ之ヲ準用ス

第二條 高等法院長ハ京城控訴院判事ヲシテ高等法院判事ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條 控訴院長ハ其ノ院ノ判事及其ノ院所在地ノ地方裁判所判事ヲシテ相互ニ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第四條 地方裁判所長ハ其ノ裁判所判事及其ノ管内ノ區裁判所判事ヲシテ相互ニ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第五條 地方裁判所長ハ豫審判事事故アル場合ニ於テ其ノ裁判所又ハ所轄區裁判所ノ判事ニ豫審判事ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得



第六條 裁判ノ合議ハ裁判長之ヲ開キ且之ヲ整理ス

合議ハ之ヲ公行セス其ノ顛未並各判事ノ意見ニ付テハ嚴ニ秘密ヲ守ルコトヲ要ス

第七條 合議ハ過半数ノ意見ニ依リ之ヲ決ス  
判事ノ意見三説以上ニ分レ各過半数ニ至ラサルトキハ過半数ニ至ルマテ被告ニ不利益ナル意見ヨリ順次利益ナル意見ニ合算ス

第八條 検事局ノ長ハ其ノ局ノ検事及其ノ管内ノ下級検事局ノ検事ヲシテ相互ニ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第九條 各裁判所ニ書記課ヲ置キ其ノ裁判所及検事局ニ附屬セシム

第十條 高等法院及控訴院ノ書記長ハ各其ノ所屬ノ院長及検事長ノ命ヲ承ケ書記課ノ事務ヲ指揮監督ス

第十一條 地方裁判所書記課ニ監督書記ヲ置ク

區裁判所書記課ニ二八以上ノ書記ヲ置キタルトキハ其ノ一人ヲ監督書記トス

監督書記ハ其ノ所屬地方裁判所長及検事正之ヲ命ス

監督書記ヲ命シタルトキハ速ニ之ヲ統監ニ報告スヘシ

第十二條 地方裁判所監督書記ハ地方裁判所長及検事正ノ命ヲ承ケ書記課ノ事務ヲ指揮監督ス

區裁判所監督書記ハ一人ノ判事検事又ハ上席ノ判事検事ノ命ヲ承ケ書記課ノ事務ヲ指揮監督ス

第十三條 裁判所及検事局ノ長ハ其ノ裁判所及其ノ管内ノ下級裁判所ノ書記ヲシテ相互ニ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ通譯官及通譯生ニ之ヲ準用ス

第十四條 裁判所及検事局ノ長ハ其ノ願ノ豫算定額内ニ於テ雇員ヲ使用スルコトヲ得  
雇員ハ書記ノ命ヲ承ケ寫字簿冊ノ整頓其ノ他ノ事務ニ從フ

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府裁判所及検事局處務規程

四十二年十月  
統監第二十六號

統監府司法廳、統監府裁判所及検事局

統監府裁判所及検事局處務規程左ノ通定ム

統監府裁判所及検事局處務規程

第一條 裁判所又ハ検事局ノ長ヨリ統監ニ請訓、具申又ハ報告ヲ爲スニハ別段ノ例規アルモノヲ除ク外其ノ監督上官ヲ經由スヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テハ直ニ統監ニ請訓、具申又ハ報告ヲ爲シ同時ニ其ノ監督上官ニ報告スヘシ

第二條 裁判所及検事局ノ長ト中央官廳、在外國日本官廳及韓國中央官廳トノ間ニ往復スル文書ハ別段ノ例規アルモノヲ除ク外統監ヲ經由スヘシ

第三條 統監ニ差出シ又ハ統監ヲ經由スヘキ文書ハ總テ司法廳長官ヲ經由スヘシ

第四條 高等法院長ハ統監ノ名ヲ以テ其ノ院ノ判事ニ對シ例規ノ賜暇ヲ許否シ並除服出仕ヲ命スルコトヲ得

高等法院検事長ノ其ノ院ノ検事ニ對スル亦同シ

第五條 控訴院長ハ統監ノ名ヲ以テ其ノ院ノ判事及其ノ管内ノ下級裁判所ノ判事ニ對シ例規ノ賜暇ヲ許否シ並除服出仕ヲ命スルコトヲ得

控訴院検事長ノ其ノ局及其ノ管内ノ下級検事局ノ判事ニ對スル亦同シ

第六條 高等法院長及高等法院検事長、控訴院長及控訴院検事長ハ統監ノ名ヲ以テ各其ノ院ノ書記長、通譯官、書記及通譯生ニ對シ例規ノ賜暇ヲ許否シ並除服出仕ヲ命スルコトヲ得

第七條 前三條ニ依リ攝行ヲ爲シタル場合ハ其ノ長ヨリ速ニ之ヲ統監ニ報告スヘシ但シ書記及通譯生ニ對スル攝行ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八條 地方裁判所長及検事正ハ統監ノ名ヲ以テ其ノ廳及其ノ管内ノ區裁判所ノ書記及通譯生ニ例規ノ賜暇ヲ許否シ並除服出仕ヲ命スルコトヲ得

第一輯 官制



第九條 裁判所及検事局ニ出勤簿ヲ備置クヘシ

裁判所及検事局ノ長ハ毎年一月及七月ノ兩度ニ之ヲ調査シ其ノ抄録ヲ統監ニ進達スヘシ

第十條 裁判所検事局ノ職員疾病、忌服其ノ他ノ事故ニ因リ缺勤スルトキハ各其ノ所屬廳ノ長官ニ届書ヲ差出スヘシ

疾病七日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診断書ヲ添付シ更ニ届出ツヘシ

第十一條 裁判所及検事局ノ職員訴訟事件又ハ非訟事件ニ付其ノ廳所在地外ニ出張セムトスルトキハ直近監督上官ノ承認ヲ受クヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テハ出張ノ後其ノ旨ヲ報告スヘシ

前項ニ記載シタル以外ノ事由ニ因リ其ノ廳所在地外ニ出張セシムルトキハ統監ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條 裁判所及検事局ノ長ハ其ノ廳ノ書記ニ宿直ノ勤務ヲ命スヘシ

第十三條 裁判所及検事局ノ長其ノ廳又ハ書記課ノ職務細則ヲ設クルトキハ統監ノ認可ヲ受クヘシ但シ書記課ノ職務細則ハ裁判所及検事局ノ長協議シテ之ヲ定ムヘシ

第十四條 地方裁判所検事局又ハ其ノ管内ノ區裁判所検事局ニ於テ左ノ事件ヲ受理シタルトキハ検事正ハ速ニ之ヲ統監ニ報告スヘシ但シ支部ヲ設置シタル區裁判所検事局ニ於テ受理シタル場合ハ其ノ検事局ノ長ヨリ報告スルコトヲ得

- 一 刑法第二編第一章乃至第四章ノ犯罪
- 二 韓國刑法大全第四編第一章ノ犯罪
- 三 外國人ト共ニ犯シタル犯罪
- 四 一般又ハ地方ノ公安ニ重大ナル關係アル犯罪
- 五 前掲ノ外報告ヲ必要ト認ムル犯罪

第十五條 裁判所及検事局ノ長ハ左ノ文書ニ署名捺印スヘシ  
一 監督上官ニ差出スヘキ文書

二 中央官廳及地方廳、在外國日本官廳、韓國中央官廳及地方廳トノ往復文書

三 前掲ノ外重要ナル往復文書

検事局ノ長ハ上訴、再審申立書ニ亦署名捺印スヘシ

第十六條 第一條、第二條、第九條、第十二條及第十五條ノ規定ハ區裁判所ノ一人ノ判事、検事又ハ上席ノ判事、検事ニ之ヲ準用ス

●統監府司法警察官官制

四十二年十月 勅令第二百四十四號

朕統監府司法警察官官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府司法警察官官制

第一條 統監府ニ警視及警部ヲ置キ司法警察官トス

前項ノ警視及警部ハ韓國ノ警視又ハ警部タル日本人ノ中ヨリ之ヲ任命ス

第二條 統監府ニ巡查ヲ置ク

前項ノ巡查ハ韓國ノ巡查タル日本人ノ中ヨリ之ヲ命ス

第三條 司法警察官ハ検事ノ職務上發シタル命令ニ従フヘシ

巡查ハ司法警察官ノ指揮ヲ承ケ其ノ職務ヲ補助スルモノトス但シ必要アル場合ニハ司法警察官ノ代理ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條 司法警察官ハ其ノ所屬韓國官署ノ管轄區域内ニ於テ其ノ職務ヲ行フモノトス

第五條 警視ハ奏任トシ警部ハ判任トス

巡查ハ判任官ノ待遇トス

巡查ニ關スル規程ハ統監之ヲ定ム

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス



●統監府監獄官制

四十二年十月  
勅令第二百四十三號

朕統監府監獄官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府監獄官制

第一條 統監府監獄ハ統監ノ管理ニ屬ス

監獄ノ設置及廢止ハ統監之ヲ定ム

第二條 控訴院檢察事長ハ統監ノ命ヲ承ケ其ノ管轄區域内ニ在ル監獄ヲ監督ス

第三條 各監獄ヲ通シ左ノ職員ヲ置ク

典獄	九人	奏任
看守長	七十五人	判任
通譯生	九人	判任

第四條 典獄ハ統監及控訴院檢察事長ノ指揮監督ヲ承ケ監獄ノ事務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

典獄ハ判任官待遇職員ノ進退ヲ專行ス

第五條 看守長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ監獄ノ事務ニ從事シ看守及女監取締ヲ指揮監督ス

第六條 通譯生ハ上官ノ指揮ヲ承ケ翻譯及通譯ニ從事ス

第七條 監獄ニハ第三條ニ掲ケタル職員ノ外監獄醫、教誨師、教師、藥劑師、看守及女監取締ヲ置ク其ノ定員、職務及懲戒ニ關スル規程ハ統監之ヲ定ム

第八條 統監ハ必要ニ應ジ分監ヲ置クコトヲ得

分監長ハ看守長ヲ以テ之ニ充ツ

分監長ハ典獄ノ指揮監督ヲ承ケ分監ノ事務ヲ掌リ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第九條 典獄事故アルトキハ上席ノ看守長其ノ職務ヲ代理シ分監長事故アルトキハ上席ノ看守長又ハ看守其ノ職務ヲ代理ス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●官吏待遇監獄職員定員

四十二年十月  
統令第四十五號

奏任及判任待遇統監府監獄職員ノ定員ニ關スル件左ノ通定ム

奏任及判任待遇統監府監獄職員ノ定員ハ各監獄ヲ通シテ左ノ如シ

監獄醫	十三人
教誨師	四人
教師	四人
藥劑師	四人
看守	七百人
女監取締	四人

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●看守部長設置

四十二年十月  
統令第四十六號

統監府監獄ニ看守部長ノ職ヲ置クノ件左ノ通定ム

統監府監獄ニ看守部長ノ職ヲ置キ月俸十五圓以上ノ看守ノ中ヨリ之ヲ命ス但シ韓國人タル看守部長ハ月俸十二圓以上ノ看守ノ中ヨリ之ヲ命スルコトヲ得

看守部長ハ看守ノ上班トシ看守長ノ職務ヲ補助ス



附則  
本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●監獄及分監ノ名稱位置四十二年十月  
統令第三十一號

統監府監獄設置ノ件左ノ通定ム

統監府監獄設置ノ件

統監府監獄及統監府監獄分監ヲ設置シ其ノ名稱、位置ヲ別表ノ通定ム

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

別表

名稱	位置	名稱	位置
京城監獄	韓國京城	公州監獄清州分監	同 忠清北道清州
京城監獄仁川分監	同 京畿道仁川	咸興監獄	同 咸鏡南道咸興
京城監獄春川分監	同 江原道春川	咸興監獄元山分監	同 咸鏡南道元山
永登浦監獄	同 京畿道永登浦	咸興監獄清津分監	同 咸鏡北道清津
公州監獄	同 忠清南道公州	平壤監獄	同 平安南道平壤
平壤監獄新義州分監	同 平安北道新義州	釜山監獄晉州分監	同 慶尙南道晉州
海州監獄	同 黃海道海州	光州監獄	同 全羅南道光州
大邱監獄	同 慶尙北道大邱	光州監獄全州分監	同 全羅北道全州
釜山監獄	同 慶尙南道釜山	光州監獄木浦分監	同 全羅南道木浦

●統監府營林廠官制四十年三月  
統令第七十二號

朕統監府營林廠官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府營林廠官制

第一條 統監府營林廠ハ統監ノ管理ニ屬シ協約ニ基キ鴨綠江及豆滿江沿岸ニ於ケル森林經營ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 統監府營林廠ニ左ノ職員ヲ置ク

廠長 勅任又ハ奏任

事務官 專任 五人 奏任

技師 專任 二人

屬手 專任 二十五人 判任

通譯 專任 一人

第三條 廠長ハ統監ノ命ヲ承ケ廠中一切ノ事務ヲ掌理ス

第四條 事務官ハ廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第五條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第六條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第七條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第八條 通譯生ハ上官ノ指揮ヲ承ケ翻譯及通辯ニ従事ス

第九條 統監ハ必要ト認ムル地ニ營林支廠ヲ設クルコトヲ得

支廠長ハ事務官ヲ以テ之ニ充ツ

第一輯官制



附則

本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府營林廠ノ位置

四十二年十月  
統告第百九號

明治四十二年十月三十一日ヨリ統監府營林廠應舎ヲ新義州雲井町ニ移轉ス

●統監府特許局官制

四十一年八月  
勅令第百二號

朕統監府特許局官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府特許局官制

第一條 統監府特許局ハ統監ノ管理ニ屬シ韓國ニ於ケル發明、實用新案、意匠、商標及著作権ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 統監府特許局ニ左ノ職員ヲ置ク

局長	專任	二人	奏任
事務官	專任	五人	奏任
技師	專任	五人	奏任
審査官	專任	五人	奏任
審査官補	專任	五人	奏任
屬	專任	五人	奏任
技手	專任	一人	奏任
通譯	專任	一人	奏任
局長ハ參與官ヲ以テ之ニ充ツ			

- 第三條 局長ハ統監ノ指揮監督ヲ承ケ局務ヲ掌理ス
- 第四條 局長、事務官及技師ヲ以テ審判官トス
- 第五條 審判官ハ特許、實用新案、意匠及商標ニ關スル審判ヲ掌ル
- 第六條 審査官ハ局長ノ指揮ヲ承ケ特許、實用新案、意匠及商標ニ關スル審査ヲ掌ル
- 第七條 審査官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ審査官ヲ助ケテ審査ニ從事ス
- 第八條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス
- 第九條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス
- 第十條 通譯ハ上官ノ指揮ヲ承ケ通譯ニ從事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府特許局ノ位置

四十二年二月  
統告第百十號

統監府特許局ハ明治四十二年二月十日之ヲ京城永樂町一丁目(元衛戍病院跡)ニ移轉ス

●統監府特許局出張所設置

四十二年八月  
統告第百二十六號

統監府特許局出張所ヲ東京市麹町區道三町特許局内ニ置キ特許、實用新案、意匠、商標及著作権ニ付統監府特許局ニ爲スヘキ出願、請求ニ關スル書類、雛形、見本ノ授受其ノ他届出ニ關スル事務ヲ取扱ハシム

●統監府特許局事務取扱所設置

四十二年五月  
統告第百四十三號

統監府特許局事務取扱所ヲ大阪府廳内ニ置キ特許、實用新案、意匠、商標及著作権ニ付統監府特許局ニ爲スヘキ出願請求ニ關スル書類、雛形、見本ノ授受其ノ他届出ニ關スル事務ヲ取扱ハシム



●統監府特許局分課規程

四十二年十月  
統訓第十九號

改正

四十二年  
統訓四二號

統監府特許局

四〇

明治四十一年八月統監府訓令第十七號統監府特許局分課規程左ノ通改正ス

統監府特許局分課規程

- 第一條 統監府特許局ニ第一審査課、第二審査課、庶務課及特許品陳列所ヲ置キ其ノ事務ヲ分掌セシム
- 第二條 第一審査課ニ於テハ發明、實用新案及意匠ノ審査並分類ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第三條 第二審査課ニ於テハ商標ノ審査並分類ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第四條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 書類、雛形又ハ見本ノ接受、發送、保管ニ關スル事項
  - 二 圖面ノ調製、書類ノ謄本及證明ニ關スル事項
  - 三 原簿登錄ニ關スル事項
  - 四 各官廳其ノ他トノ通信、報告ニ關スル事項
  - 五 内外國ノ文書翻譯ニ關スル事項
  - 六 報酬額決定ニ關スル事項
  - 七 公報其ノ他印刷物ノ編纂、發行ニ關スル事項
  - 八 圖書閱覽ニ關スル事項
  - 九 著作權ニ關スル事項
  - 十 特許代理業者ニ關スル事項
  - 十一 他課ノ主掌ニ屬セサル事項
- 第五條 特許品陳列所ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 内外國ノ特許發明、登錄實用新案、登錄意匠ノ見本雛形及登錄商標其ノ他參考品ノ陳列ニ關スル事項
- 二 陳列品ノ觀覽ニ關スル事項
- 三 陳列品ニ關スル照會應答其ノ他必要ナル事項
- 四 陳列品ノ貸付又ハ讓渡ニ關スル事項

●統監府特許局特許品陳列所規則

四十二年七月  
統令第二十號

統監府特許局特許品陳列所規則

- 第一條 本所ハ韓國及日本國ニ於ケル特許發明、登錄實用新案、登錄意匠ノ見本、雛形及登錄商標ノ見本其ノ他參考品ヲ陳列ス
- 第二條 第一條ニ該當スル物品ノ出品若ハ寄贈ヲ爲サムトスル者ハ其ノ旨統監府特許局ニ願出ツヘシ  
出品ニ關スル規則ハ統監府特許局長之ヲ定ム
- 第三條 陳列品ニハ其ノ效果作用ノ概要ヲ摘記シタル解説書ヲ附シ尙機械類ハ運轉シテ其ノ實用ヲ一般ニ觀覽セシムルコトアルヘシ
- 第四條 觀覽人陳列品ノ説明ヲ望ムトキハ其ノ旨掛員ニ申出ツヘシ
- 第五條 陳列品ニ關シ問合ヲ爲サムト欲スル者アルトキハ本所ハ其ノ依頼ニ應シ紹介其ノ他相當ノ便宜ヲ與フルコトアルヘシ
- 第六條 本所ハ出品人ノ依頼ニ依リ陳列品ノ即賣ヲ爲スコトアルヘシ
- 第七條 本所ハ共進會、品評會、商工業學校又ハ物産陳列所等ニ陳列品ノ貸付又ハ讓渡ヲ爲スコトアルヘシ
- 第八條 陳列品ニ關スル照會應答其ノ他ノ事項ニシテ重要ナルモノハ時時特許公報、實用新案公報又ハ商標公報ニ掲載ス
- 第九條 本所ハ商工業ニ關スル報告、統計、參考書類、特許公報、實用新案公報及商標公報等ヲ備付ケ一般

第一輯 官制

四一



ノ縦覽ヲ許ス

第十條 本所ハ京城永樂町一丁目統監府特許局構内ニ置ク

第十一條 本所陳列品ノ觀覽ハ無料トス

第十二條 本所ハ日曜日、大祭祝日ノ翌日及十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテヲ除キ毎日左ノ時間ニ於テ觀覽ヲ許ス但シ時宜ニ依リ之ヲ伸縮シ又ハ觀覽ヲ停止スルコトアルヘシ

三月一日ヨリ六月三十日マテ

午前九時ヨリ午後五時ニ至ル

七月一日ヨリ九月二十日マテ

午前八時ヨリ正午ニ至ル

九月二十一日ヨリ十月三十一日マテ

午前九時ヨリ午後五時ニ至ル

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ

午前十時ヨリ午後四時ニ至ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ陳列所開所ノ日ハ別ニ之ヲ告示ス(四十二年統監府告示第百十八號ヲ以テ四十二年十一月十八日ヨリ開所ス)

### 統監府通信官署官制

三十八年十二月  
勅令第百六十八號

朕統監府通信官署官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

#### 統監府通信官署官制

第一條 統監府通信官署ハ統監ノ管理ニ屬シ韓國ニ於ケル郵便、郵便爲替、郵便貯金、電信及電話ニ關スル事務ヲ掌ル

統監府通信官署ハ統監ノ指定ニ依リ韓國國庫金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 統監府通信官署ハ通信管理局、郵便局及郵便所トス

通信管理局ハ之ヲ京城ニ置キ韓國ニ於ケル郵便、郵便爲替、郵便貯金、電信及電話ノ事務ヲ管理ス

郵便局及郵便所ハ郵便、郵便爲替、郵便貯金事務ヲ掌ル

電信又ハ電話事務ハ郵便局又ハ郵便所ヲシテ之ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第三條 統監ハ郵便局ヲ指定シ區域ヲ定メテ管理事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四條 郵便局及郵便所ノ名稱及位置ハ統監之ヲ定ム

第五條 統監ハ必要ナル地ニ郵便、郵便爲替、郵便貯金、電信又ハ電話ノ取扱所ヲ設クルコトヲ得

第六條 統監府通信官署ニ左ノ職員ヲ置ク

通信管理局長 一人

通信管理局事務官 專任三人

通信事務官 專任七人

通信事務官補 專任十三人

通信技師 專任七人

郵便局長 專任三百九人

通信技師 專任四百六十六人

通信技師 專任三百七十九人

通信技師 專任三百七十九人

郵便所長

第七條 通信管理局長ハ勅任又ハ奏任トス統監ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第八條 通信管理局事務官、通信事務官及通信事務官補ハ奏任トス上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第九條 通信技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十條 郵便局長ハ通信事務官、通信事務官補又ハ通信局ヲ以テ之ニ充ツ上官ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第十一條 通信局及通信手ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス



第十二條 通信技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス  
第十三條 郵便所長ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌理ス

附則

本令ハ明治三十九年一月十日ヨリ之ヲ施行ス

● 統監府通信管理局分課規程

三十九年十月  
統訓第二十八號

改正

四二年  
統訓五號

統監府通信管理局

統監府通信管理局分課規程左ノ通改正ス

統監府通信管理局分課規程

第一條 統監府通信管理局ニ左ノ五課ヲ置ク

一 總務課

一 業務課

一 計理課

一 出納課

一 工務課

第二條 課ニ課長ヲ置キ統監之ヲ命免ス

第三條 各課ニ左ノ掛ヲ置ク

一 總務課

一 業務課

一 計理課

一 出納課

庶務掛  
局所掛  
主計掛  
精算掛

監查掛  
線路掛  
調度掛  
爲替貯金掛

應舍掛

一 工務課 工事掛

試驗掛

第四條 各課掛ノ分掌事項左ノ如シ

總務課

庶務掛

一 人事ニ關スル事項

二 賞罰ニ關スル事項

三 職員ノ定員定率ニ關スル事項

四 通信手及雇員試驗ニ關スル事項

五 機密文書ニ關スル事項

六 統計報告ニ關スル事項

七 記録編纂ニ關スル事項

八 證票ニ關スル事項

九 文書ノ授受、發送及淨書ニ關スル事項

十 各種ノ官印及印鑑ニ關スル事項

十一 圖書ノ保管及版權ニ關スル事項

十二 通信公報ノ發行ニ關スル事項

十三 石版ノ印刷及其ノ職工備役ノ監督ニ關スル事項

十四 翻譯ニ關スル事項

十五 囑託幣ニ關スル事項

十六 局中他ノ各課及課中他ノ掛ニ屬セサル事項

監查掛

第一輯官制



- 一 事業ノ監督ニ關スル事項
- 二 事業ノ監察ニ關スル事項
- 三 郵便所長以下並各局所諸備入ノ身分進退功過ニ關スル事項
- 四 損害賠償官損處分報酬訴訟及訴訟ニ關スル事項
- 五 犯罪申告其ノ他事故處分ニ關スル事項
- 六 第三種郵便物ノ認可、私書函ノ貸與及約束郵便ニ關スル事項
- 七 料金還付ニ關スル事項
- 八 電報ノ調査ニ關スル事項
- 九 官吏養成ニ關スル事項
- 十 不能還付郵便物處理ニ關スル事項
- 十一 郵便物ノ差押及電報ノ停止ニ關スル事項
- 十二 郵便爲替貯金又ハ取立金過拂徴收金及賠償徴收金ノ延納分納ノ許否ニ關スル事項

業務課

局所掛

- 一 業務取扱上ニ屬スル法令ニ關スル事項
- 二 通信事業ニ屬スル各般業務ノ施設改良及取扱方法ニ關スル事項
- 三 各種料金ノ規定並變更ニ關スル事項
- 四 通信事業用品(電信電話ニ關スル分ヲ除ク)ノ規定ニ關スル事項
- 五 郵便局所及取扱事務ノ開廢變更ニ關スル事項
- 六 郵便切手賣捌所、郵便函、私書函及自働電話機ノ配置ニ關スル事項
- 七 局舎ノ位置及構造ニ關スル事項

- 八 業務取扱時間ニ關スル事項
- 九 郵便貯金特別取扱ノ開廢ニ關スル事項
- 十 各局所備入ノ定員定率及手當ニ關スル事項
- 十一 郵便所以下經費支給規程並分配ニ關スル事項
- 十二 物價勞銀調査ニ關スル事項
- 十三 過人馬ノ使役ニ關スル事項
- 十四 諸備入ノ服務規程ニ關スル事項
- 十五 電話加入ニ關スル事項
- 十六 課中他ノ掛ニ屬セサル事項

線路掛

- 一 郵便線路ノ改廢變更ニ關スル事項
- 二 郵便區、集配區、電報直配達區域及電話加入區域ノ畫定變更ニ關スル事項
- 三 集配度數及集配等級ニ關スル事項
- 四 郵便物遞送命令及契約ニ關スル事項
- 五 遞送集配受負料及航送料ニ關スル事項
- 六 郵便遞送記ノ調査並過人馬受負遞送料ノ調査ニ關スル事項
- 七 郵便事業用船車馬ニ關スル事項
- 八 鐵道郵便室及鐵道係員詰所、休憩所、湯供給所並郵便物保管所ニ關スル事項
- 九 郵便行囊ニ關スル事項
- 十 電信電話回線ノ増設新設及變更ニ關スル事項
- 十一 電報ノ中繼線路ニ關スル事項



計理課  
十二 電信電話線ノ不通全通ニ關スル事項

主計掛

- 一 歳入歳出ノ豫算決算及現計ニ關スル事項
- 二 歳出豫算ノ増減流用及繰越ニ關スル事項
- 三 任拂豫算及任拂命令ニ關スル事項
- 四 歳入調定額及確定額ノ繰越並不納缺損處分ニ關スル事項
- 五 歳入調定徴收收納及下戻ニ關スル事項
- 六 歳入ノ過誤納下戻及缺損補填ニ關スル事項
- 七 經費ノ支出、定額繰越戻入及過年度支出ニ關スル事項
- 八 保管證書ニ關スル事項
- 九 郵便所以下經費支給ニ關スル事項
- 十 歳入歳出外現金出納ノ検査ニ關スル事項
- 十一 會計ノ検査ニ關スル事項
- 十二 證明書類ノ検査ニ關スル事項
- 十三 工事竣工及其ノ既濟部分ノ検査ニ關スル事項
- 十四 物品及郵便切手類ノ出納検査ニ關スル事項
- 十五 會計検査院ノ質疑ニ關スル事項
- 十六 任拂命令官及歳入徴收官官印ノ保管ニ關スル事項
- 十七 課中他ノ掛ニ屬セサル事項

調度掛

- 一 物品ノ賣買貸借ニ關スル事項
- 二 運送備役等ノ受負契約ニ關スル事項
- 三 物品ノ受拂命令ニ關スル事項
- 四 物品ノ出納及保管ニ關スル事項
- 五 物品ノ亡失毀損及不用物品ニ關スル事項
- 六 物品ノ用量及經理ニ關スル事項
- 七 郵便切手類及收入印紙ノ賣捌買戻出納及保管ニ關スル事項
- 八 物品會計官吏及切手類會計官吏官印ノ保管ニ關スル事項

廳舍掛

- 一 廳舍營繕工事ノ設計及監督ニ關スル事項
- 二 土地及家屋ノ賣買貸借ニ關スル事項
- 三 官有財産ノ管理ニ關スル事項
- 四 官舎貸渡ニ關スル事項
- 五 電燈煖房具ノ設備及其ノ管理ニ關スル事項
- 六 局内外ノ取締ニ關スル事項
- 七 本局所屬巡視給仕小使其ノ他諸備人ニ關スル事項
- 八 非常警備ニ關スル事項

出納課

精算掛

- 一 郵便爲替金、郵便貯金及郵便取立金ノ受拂精算ニ關スル事項
- 二 歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂精算ニ關スル事項



- 三 韓國國庫金ノ受拂精算ニ關スル事項
- 四 郵便爲替金、郵便貯金及郵便取立金其ノ他各種現金ノ受拂證據書類ノ調査及整理ニ關スル事項
- 五 資金及過超金ノ受授ニ關スル事項
- 六 出納官吏及出納員ノ現金出納證明ニ關スル事項
- 七 郵便爲替、郵便貯金、郵便取立金ノ各證書及郵便貯金通帳ノ記號番號並其ノ交付ニ關スル事項
- 八 出納官吏官印ノ保管ニ關スル事項
- 九 課中他ノ掛ニ屬セサル事項

爲替貯金掛

- 一 郵便爲替金及郵便取立金ノ受拂調理ニ關スル事項
- 二 郵便爲替證書ノ發行ニ關スル事項
- 三 郵便爲替金及郵便取立金ノ記帳計算ニ關スル事項
- 四 郵便貯金ノ預拂調理ニ關スル事項
- 五 郵便貯金原簿登記ニ關スル事項
- 六 郵便貯金預入申込書及印鑑ノ整理保管ニ關スル事項
- 七 郵便貯金通帳ノ利子記入及檢閲ニ關スル事項
- 八 郵便貯金拂戻證書及再度郵便貯金通帳ノ發行ニ關スル事項
- 九 郵便爲替及郵便貯金事業用局長印ノ保管ニ關スル事項

工務課

工事掛

- 一 電信電話工事ノ設計及監督ニ關スル事項
- 二 電信電話線及電氣信號線ノ建築保存ノ委託ニ關スル事項

- 三 電信電話工事用經費物品及通信用機械電池類ノ査定並配給調査ニ關スル事項
- 四 水底線陸上室ニ關スル事項
- 五 電信、電話工事竣功明細書ニ關スル事項
- 六 工事、職工、工夫以下ノ身分、進退及功過ニ關スル事項
- 七 職工、工夫ノ定員定率並手當ニ關スル事項
- 八 課中他ノ掛ニ屬セサル事項

試驗掛

- 一 電信電話ノ學術的研究及應用ニ關スル事項
- 二 電信電話機械ノ裝置及維持方法ニ關スル事項
- 三 電信電話用機械器具材料ノ仕様書調製及試驗ニ關スル事項
- 四 電信電話建築法、電信電話裝置法及電信電話線試驗法ニ關スル事項
- 五 電信電話線ノ障害及其ノ報告調査ニ關スル事項
- 六 電信電話線ノ試驗及其ノ報告調査ニ關スル事項
- 七 電信電話試驗區域ノ畫定變更ニ關スル事項
- 八 電信電話機械ノ製作及修繕ニ關スル事項

附則

本令ハ明治三十九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス



● 統監府郵便局分課規程

四十一年八月  
統訓第十五號

改正

四二一年  
統訓六號

統監府郵便局分課規程左ノ通定ム

統監府郵便局分課規程

第一條 左ノ各郵便局ニ郵便掛、電信掛、電話掛、工務掛、會計掛及庶務掛ヲ置キ其ノ他ノ郵便局ニハ掛ヲ置カス

京城郵便局

釜山郵便局

仁川郵便局

元山郵便局

群山郵便局

木浦郵便局

平壤郵便局

新義州郵便局

清津郵便局

第二條 削除

第三條 削除

第四條 各掛ニ掛長ヲ置クコトヲ得

掛長ハ統監府通信管理局長之ヲ命免ス

第五條 各掛事務ノ分掌左ノ如シ

郵便掛

- 一 郵便物ノ集聚、引受、差立、到着及配達ニ關スル事項
- 二 郵便爲替、貯金、歳入金、歳出金及雜部金ノ受拂ニ關スル事項
- 三 資金及過超金ノ受入及拂出ニ關スル事項
- 四 未使用爲替證書及貯金通帳ノ保管ニ關スル事項
- 五 代金引換郵便ノ代金、現金取立郵便ノ現金取立及拂渡ニ關スル事項

六 郵便爲替貯金事務ノ官印及諸印類ノ保管ニ關スル事項

七 郵便物ノ保管及交付ニ關スル事項

八 郵便料ノ徴收ニ關スル事項

九 郵便物ノ事故調理ニ關スル事項

十 試驗通信ニ關スル事項

十一 郵便集配ノ監視ニ關スル事項

十二 約束郵便物ノ數量調査ニ關スル事項

十三 郵便行裝ノ整理ニ關スル事項

十四 郵便ニ屬スル現業備人ノ身分、進退、功過及服務ニ關スル事項

十五 郵便ニ屬スル現業備人ノ組合貯金ニ關スル事項

十六 船舶ノ使用及取締ニ關スル事項

十七 助成航路汽船ノ發着日時證明ニ關スル事項

十八 自局區内ニ屬スル郵便切手賣捌所及郵便函ノ廢置、變更ニ關スル事項

電信掛

- 一 電報ノ受付、送受、配達及電話依託通信ニ關スル事項
- 二 線路障礙報告ニ關スル事項
- 三 電報ノ事故調理ニ關スル事項
- 四 電報ノ閱覽、正寫ニ關スル事項
- 五 電報ノ保管及交付ニ關スル事項
- 六 電報料ノ徴收ニ關スル事項
- 七 電報ノ停止ニ關スル事項



- 八 電報路號及配達先登記並局渡證書ニ關スル事項
  - 九 正午報ニ關スル事項
  - 十 船舶通過報ニ關スル事項
  - 十一 返信料前納證書ニ關スル事項
  - 十二 通信機械ノ調度、保護ニ關スル事項
  - 十三 電報配達ノ監視ニ關スル事項
  - 十四 電報原書及書類ノ検査、整理、保管及差立ニ關スル事項
  - 十五 電信ニ屬スル現業備人ノ身分、進退、功過又服務ニ關スル事項
  - 十六 電信ニ屬スル現業備人ノ組合貯金ニ關スル事項
- 電話掛
- 一 電話通信媒介ノ實務ニ關スル事項
  - 二 市外電話交換證ニ關スル事項
  - 三 電話交換手取締、交換手及交換手見習ノ身分、進退、功過及服務ニ關スル事項
  - 四 電話通話ノ停止、解序、加入者除名ニ關スル事項
  - 五 電話加入ノ申込、電話加入及同申込ノ繼承、名義變更及取消ニ關スル事項
  - 六 電話加入申込及加入者原簿ノ整理ニ關スル事項
  - 七 電話機及附屬品ノ増設、撤去、移轉及變更ニ關スル事項
  - 八 電話番號簿發行及交付ニ關スル事項
- 工務掛
- 一 電信、電話線ノ建設及保守ニ關スル事項
  - 二 電信、電話機械ノ裝置及保守ニ關スル事項

- 三 電線路支障竹木伐除及移植ニ關スル事項
  - 四 電信、電話ノ試験ニ關スル事項
  - 五 電信、電話機械及器具ノ修繕ニ關スル事項
  - 六 委託電線ノ工事ニ關スル事項
  - 七 電線ノ移轉ニ關スル事項
  - 八 電信、電話通信用機械電池類ノ査定並配給調査ニ關スル事項
  - 九 所屬通信工手、同見習及通信工以下ノ身分、進退、功過及服務ニ關スル事項
- 會計掛
- 一 定額豫算ノ經理ニ關スル事項
  - 二 歳入調定徴收及下戻ニ關スル事項
  - 三 經費ノ支出ニ關スル事項
  - 四 各種検査ニ關スル事項
  - 五 郵便切手類收入印紙ノ賣捌、買戻、出納保管ニ關スル事項但意口賣捌事務ヲ除ク
  - 六 工事及物件ノ賣買貸借交換及修繕ニ關スル事項
  - 七 物品ノ運搬及人夫船車馬類ノ供給契約ニ關スル事項
  - 八 物品及材料ノ經理ニ關スル事項
  - 九 官有財産ノ保管及官有物品ノ出納保管ニ關スル事項
  - 十 官舎貸與及其ノ戶籍ニ關スル事項
  - 十一 物品ノ亡失、毀損及不用品ニ關スル事項
  - 十二 局内外取締ニ關スル事項
  - 十三 定備人ノ身分、進退、功過及服務ニ關スル事項



- 十四 非常警備ニ關スル事項
- 庶務掛
  - 一 職員ノ身分、進退、功過及服務ニ關スル事項
  - 二 郵便所長、郵便所所屬雇員及傭人ノ身分、進退及功過ニ關スル事項
  - 三 郵便所ノ監督、監察及郵便所郵便區内監視ニ關スル事項
  - 四 郵便所長身元引受人ノ變更許否ニ關スル事項
  - 五 郵便所長ノ旅行並郵便所長及其ノ家族ノ營業ニ關スル事項
  - 六 郵便所ノ開廢ニ關スル事項
  - 七 郵便所ノ郵便區、集配區、電報直配達區域、電話加入區域及爲替振宛町村ノ畫定並集配度數ノ改定變更ニ關スル事項
  - 八 吏員ノ規約貯金及傭人貯金組合ヲ吏員其ノ他ノ組合ト合併ニ關スル事項
  - 九 現業傭人ニ贈與スル金錢物品等ノ受領申請ニ關スル事項
  - 十 指定區域内ニ於ケル郵便切手賣捌所及郵便函ノ廢置、變更ニ關スル事項
  - 十一 規程及記録ニ關スル事項
  - 十二 文書ノ受授、發送、淨書、編纂及保存ニ關スル事項
  - 十三 統計及報告ニ關スル事項
  - 十四 第三種郵便物ノ認可ニ關スル事項
  - 十五 約束郵便ノ承認ニ關スル事項
  - 十六 郵便私書函ノ貸與ニ關スル事項
  - 十七 郵便、電信、電話料金滯納處分ニ關スル事項
  - 十八 圖書保管ニ關スル事項

- 十九 證票及印鑑等交付及保管ニ關スル事項
- 二十 局印、局長印ノ保管ニ關スル事項
- 二十一 他ノ掛ニ屬セサル事項
- 二十二 官有財産ノ保管及官有物品ノ出納保管ニ關スル事項
- 二十三 官舎ノ取締及其ノ戶籍ニ關スル事項
- 二十四 局内外取締ニ關スル事項
- 二十五 定傭人ノ身分、進退、功過及服務ニ關スル事項
- 二十六 非常警備ニ關スル事項
- 二十七 證票及印鑑等交付及保管ニ關スル事項
- 二十八 局印、局長印ノ管守ニ關スル事項
- 二十九 他ノ掛ニ屬セサル事項

通信掛  
郵便掛、電信掛及電話掛(電話事務ヲ取扱ハサル郵便局ハ之ヲ除ク)ヲ合セタルモノニ同シ

附則  
本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年一達通第七號統監府郵便局分課規程及同第八號統監府郵便局分掌規程ハ之ヲ廢止ス

●統監府郵便局長職務章程

四十一年八月 改正 四十二年  
統訓第十六號 統訓七號

統監府通信官署

明治四十年一統監府訓令第一號統監府郵便局長職務章程左ノ通改正ス

統監府郵便局長職務章程

第一輯官制



第一條 統監府郵便局長ハ主管ノ事務ニ關スル法律、命令ヲ執行シ及部下ノ職員ヲ監督シ其ノ進退、功過ヲ統監府通信管理局長ニ具狀ス

第二條 統監府郵便局長ハ別ニ定ムルモノノ外左ノ事項ヲ專決施行ス

- 一 局員ノ服務ヲ指定スルコト
- 二 月俸金二十四及日給月額金二十四以下ノ雇員ヲ進退スルコト
- 三 局員ニ除服出仕ヲ命スルコト
- 四 韓人吏員ノ歸省、看護、墓參及轉地療養及受驗願ヲ許否スルコト
- 五 郵便切手賣捌所及郵便函ヲ廢置、變更スルコト
- 六 電話通話ノ停止及解停ヲ爲スコト
- 七 前各號ニ比シ輕易ノ事項

第三條 別表ニ指定スル統監府郵便局長ハ其ノ指定區域内ニ屬スル郵便所ノ職員ヲ監督シ其ノ進退、功過ヲ統監府通信管理局長ニ具狀ス

第四條 別表ニ指定スル統監府郵便局長ハ第二條及別ニ定ムルモノノ外自局及其ノ指定區域内ニ屬スル左ノ事項ヲ專決施行ス

- 一 自局雇員ノ歸省、看護、墓參、轉地療養及受驗願ヲ許否スルコト
- 二 郵便及電信取扱所以下郵便區内ニ於ケル郵便切手賣捌所及郵便函ヲ廢置變更スルコト
- 三 自局ニ於ケル電報料金後納取扱ヲ認可スルコト
- 四 郵便所ニ於ケル電話通話ノ停止及解停ヲ爲スコト
- 五 電信、電話線路ノ尋常保守工事ヲ執行シ及電信、電話機械ヲ維持スルコト
- 六 電信、電話線ノ建設又ハ通信ニ障害アル竹木ヲ伐除シ又ハ移植スルコト
- 七 定額豫算内ニテ工事雇員命免スルコト

八 電話加入者電話機附屬物品ノ増設、撤去、移轉及變更並私設電話機ノ接續撤去等ノ工事ヲ執行スルコト

九 通信工以下ヲ指定區域内ニ出張又ハ駐在セシムルコト但シ必要ト認メタルトキハ他ノ區域内ニ出張セシムルコトヲ得

- 十 郵便及電信取扱所以下ニ經費ヲ交付スルコト
- 十一 郵便及電信取扱所以下ニ事業用物品ヲ交附スルコト
- 十二 郵便所長ノ選定並郵便所監督及監察ノ爲定額豫算内ニ於テ自局員ヲ指定區域内ニ出張セシムルコト
- 十三 郵便所長身元引受人ノ變更ヲ許否スルコト
- 十四 郵便所長ノ旅行申請ヲ許否スルコト
- 十五 郵便所長及其ノ家族ノ營業ヲ許否スルコト
- 十六 郵便所所屬雇員及傭人ノ進退ニ關スル申請ヲ認可スルコト但シ經費ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 十七 郵便所所屬雇員及傭人ノ懲戒處分ヲ當該所長ニ指示スルコト
- 十八 自局及郵便所所屬傭人ニ贈與スル金錢物品ノ受領申請ヲ許否スルコト
- 十九 自局及郵便所所屬傭人貯金組合ト吏員其ノ他ノ組合併ヲ認可スルコト
- 二十 成規定例アル事項ニ付事務取扱方ヲ郵便所長ニ指示スルコト
- 二十一 郵便所ニ關スル管理事務ニシテ前各號ニ比シ輕易ノ事項

附則

本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス



(別表)

局名	指定區域
京城郵便局	京畿道(仁川府及富平、江華、喬桐ノ各郡ヲ除ク) 忠清南道ノ内(牙山、溫陽、新昌、禮山、木川、全義、天安、平澤、稷山、愼德、燕岐、公州ノ各郡) 忠清北道
釜山郵便局	江原道(鎭谷、通川、高城、杆城、襄陽、江陵、三陟、蔚珍、平海、淮陽ノ各郡ヲ除ク) 黃海道ノ内(延安、白川、金川、平山、瑞興、黃州、新溪、遂安、兎山、谷山、鳳山ノ各郡)
仁川郵便局	慶尙南道 慶尙北道 全羅南道ノ内 巨文島 京畿道ノ内(仁川府及富平、江華、喬桐ノ各郡) 忠清南道ノ内 於青島
元山郵便局	咸鏡南道 江原道ノ内(欽谷、通川、高城、杆城、襄陽、江陵、三陟、蔚珍、平海、淮陽ノ各郡)
群山郵便局	全羅北道 忠清南道(牙山、溫陽、新昌、禮山、木川、全義、天安、平澤、稷山、愼德、燕岐、公州ノ各郡及於青島ヲ除ク)
木浦郵便局	全羅南道(巨文島ヲ除ク)
平壤郵便局	平安南道

新義州郵便局	平安北道
清津郵便局	咸鏡北道 問島

●電信、電話線等ノ維持上特ニ受持區域ヲ定ムルヲ得ルノ制

四十二年四月 統訓第十號

統監府通信官署

電信、電話線路及機械ニシテ其ノ維持上分掌局指定區域ニ依ルヲ不便トスル場合ニ限リ統監府通信管理局長ハ特ニ其ノ受持ヲ定ムルコトヲ得

●郵便及電信取扱所取扱事務

三十九年九月 統告第百號

郵便及電信取扱所ニ於テ取扱ノ事務左ノ通定ム但シ別ニ告示シタルモノハ此ノ限ニ在ラス  
郵便取扱所

- 一 郵便切手類ノ賣捌
  - 二 郵便物ノ引受及配達
  - 三 郵便爲替、郵便貯金及郵便取立金ノ受拂
  - 四 韓國國庫金ノ出納及保管
- 郵便電信取扱所
- 一 郵便取扱所ニ於テ取扱フ各事務
  - 二 内外和歐文電報ノ受付及配達
- 電信取扱所



一 内外和文電報ノ受付及配達

●郵便所取扱事務

四十年三月  
統告第三十六號

郵便所ニ於テ取扱フ事務左ノ如シ但シ第三號及第四號ノ事務ハ其ノ取扱ヲ指定シタル郵便所ニ限ル

一 郵便切手類ノ賣捌

二 郵便、郵便爲替及郵便貯金事務

三 電信事務

四 電話事務

●統監附陸海軍武官官制

三十九年二月  
勅令第十五號

朕統監附陸海軍武官官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監附陸海軍武官官制

第一條 統監ニ陸海軍武官各一名ヲ附シ陸海軍少將又ハ佐官ヲ以テ之ニ補ス

第二條 統監附陸海軍武官ハ統監ノ命ヲ受ケ事務ニ服ス

第三條 統監附陸海軍武官ノ人事ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管轄ニ屬ス

●韓國駐節軍司令部條例

三十九年七月  
勅令第二百五號

朕韓國駐節軍司令部條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

韓國駐節軍司令部條例

第一條 韓國駐節軍司令官ハ陸軍大將又ハ陸軍中將ヲ以テ之ニ親補シ

天皇ニ直隸シ韓國駐節陸軍諸部隊ヲ統率シ韓國ノ防衛ニ任ス

第二條 軍司令官ハ軍政及人事ニ關シテハ陸軍大臣、作戰及動員計畫ニ關シテハ參謀總長、教育ニ關シテハ

教育總監ノ區處ヲ受ク

第三條 軍司令官ハ韓國ノ安寧秩序ヲ保持スル爲統監ノ命令アルトキハ兵力ヲ使用スルニトテ得但シ事急ナ

ル場合ニ於テハ便宜之ヲ處置シ後統監ニ報告スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ直ニ陸軍大臣及參謀總長ニ報告スヘシ

第四條 軍司令官ハ隨時部下軍隊及官衙ヲ檢閲シ毎年概ネ軍隊教育期ノ終ニ於テ軍事一般ノ景況及意見ヲ奏

上シ且陸軍大臣參謀總長及教育總監ニ報告スヘシ

第五條 韓國駐節軍司令部ハ左ノ各部ヨリ成ル

一 軍參謀部

二 軍副官部

三 軍參謀部及軍副官部ヲ合シテ幕僚トス

四 軍法官部

五 軍經理部

六 軍獸醫部

第六條 軍參謀長ハ軍司令官ヲ補佐シ機務ニ參畫シ命令ノ普及並實施ヲ監督ス

第七條 軍參謀長ハ幕僚ノ事務ヲ監督シ事務整理ノ責ニ任ス

第八條 幕僚ノ各將校及同相當官ハ軍參謀長ノ指揮ヲ受ケ各自分擔ノ事務ヲ掌ル

第九條 軍法官部長ハ軍司令官ニ隸シ軍事司法ニ關スル業務ヲ掌ル

第十條 軍經理部長ハ軍司令官ニ隸シ駐節諸部隊ノ會計經理ヲ監督シ陸軍土地建造物<sup>國防ニ關スルモノヲ除ク</sup>ニ係ル事項

並經理部士官以下ノ人事及教育ヲ統轄シ特ニ兵營其ノ他新設ノ臨時工事ヲ掌ル但シ會計事務ノ監督及土地



建造物ノ經營事務ニ關シテハ陸軍大臣ニ直隸シ經理部士官以下ノ人事及教育ニ關シテハ陸軍省經理局長ノ  
區處ヲ受ク

軍經理部長ハ師團經理部管轄外ノ部隊ニ係ル會計經理ヲ總轄ス但シ駐符部隊ノ位置ニ依リ師團經理部ヲシ  
テ之ヲ管掌セシムルコトヲ得

第十一條 軍軍醫部長ハ軍司令官ニ隸シ駐符諸部隊ノ衛生業務ヲ監督シ衛生部士官以下ノ人事及教育並衛生  
材料ニ係ル事項ヲ統轄ス但シ陸軍省醫務局長ノ區處ヲ受ク

第十二條 軍獸醫部長ハ軍司令官ニ隸シ駐劄諸部隊ノ軍馬衛生業務ヲ監督シ獸醫部士官以下ノ人事及教育並  
獸醫材料踏鐵ニ關スル事項ヲ統轄ス但シ陸軍省軍務局長ノ區處ヲ受ク

第十三條 各部長ヨリ軍司令官ニ具申スヘキ事項ハ豫メ軍參謀長ニ開陳シ其ノ承認ヲ受クヘキモノトス

第十四條 軍法官部、軍經理部、軍醫部及軍獸醫部部長ハ當該部長ノ命ヲ受ケ各自擔任ノ部務ニ服ス

第十五條 下士判任文官ハ上官ノ命ヲ受ケ事務ニ服ス

附則

●韓國駐符軍陸軍軍法會議法

四十年四月  
法律第四十六號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル關東都督府及韓國駐符軍陸軍軍法會議法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

關東都督府及韓國駐符軍陸軍軍法會議法

第一條 關東都督府及韓國駐符軍ニ陸軍軍法會議ヲ設ク

第二條 關東都督府陸軍軍法會議及韓國駐符軍陸軍軍法會議ハ關東都督及韓國駐符軍司令官ノ所管及守備地  
方ヲ以テ管轄トス

二箇以上ノ軍法會議ヲ設クルトキハ各軍法會議ノ管轄ハ關東都督又ハ韓國駐符軍司令官之ヲ定ム

第三條 軍法會議ノ構成、權限及治罪ニ關スル手續ハ陸軍治罪法師管軍法會議ノ例ニ依ル

第四條 關東都督及韓國駐符軍司令官ハ陸軍軍法會議ニ關シ師團長ノ師管軍法會議ニ於ケルト同一ノ職權ヲ  
有ス

第五條 陸軍檢察官ハ陸軍治罪法第三十一條ノ諸官ノ外關東都督府陸軍副官及韓國駐符軍副官ヲ以テ之ニ充  
ツ

●陸軍監獄管理ニ關スル制

四十年三月  
勅令第四十二號

朕關東都督府所在地及韓國駐符軍司令部所在地ニ設置スル陸軍監獄ノ管理ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布  
セシム

關東都督府所在地及韓國駐符軍司令部所在地ニ設置スル陸軍監獄ニ關シテハ陸軍監獄條例ニ依リ師團長ニ屬  
スル職權ハ關東都督又ハ韓國駐符軍司令官之ヲ行ヒ其ノ監獄長ハ關東都督又ハ韓國駐符軍司令官ニ隸ス

附則

本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●韓國軍人軍屬ノ犯罪審判ニ關スル制

四十二年十月  
勅令第二百九十二號

朕韓國軍人軍屬ノ犯罪審判ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 韓國駐符軍ニ特別陸軍軍法會議ヲ置ク

特別陸軍軍法會議ハ韓國軍人軍屬ノ犯罪ヲ審判ス

第二條 韓國駐符軍司令官ハ特別陸軍軍法會議ニ關シ韓國駐符軍軍法會議ニ於ケルト同一ノ職權ヲ有ス

第三條 特別陸軍軍法會議ニ於テハ本令其ノ他ノ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外韓國法規ヲ適用ス

第四條 韓國軍人軍屬ニシテ帝國陸軍ノ指揮ヲ受ケ又ハ之ニ附屬スル者ノ帝國、帝國ノ陸軍又ハ陸軍軍人軍



屬ニ對スル行爲ハ其ノ官等、階級ニ依リ帝國ノ陸軍軍人軍屬ノ行爲ト看做シ陸軍刑法ヲ適用ス

帝國陸軍ノ指揮ヲ受ケ又ハ之ニ附屬スル韓國軍人軍屬ハ帝國ノ陸軍軍人軍屬ト看做シ前項ヲ適用ス

第五條 特別陸軍軍法會議ノ構成、權限及治罪ニ關スル手續ハ左ニ掲クルモノヲ除クノ外韓國駐節軍法會議ノ例ニ依ル

一 將官又ハ其ノ同等官ニ相當スル者ノ犯罪及陸軍治罪法第九十五條、第九十六條ノ再審ト雖韓國駐節軍司令官ノ命令ニ依リ其ノ審判ヲ爲ス

二 被告人ノ官等、階級ニ拘ラス佐官ヲ以テ判士長ニ、尉官ヲ以テ判士ニ充ツ但シ被告人將官又ハ其ノ同等官ニ相當スル者ナルトキハ將官ヲ以テ判士長ニ、將官又ハ佐官ヲ以テ判士ニ充ツ

三 判士長、判士ハ韓國駐節軍司令官部下ノ將校中ヨリ之ヲ命ス

四 判士中一人ハ韓國將校ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

五 陸軍治罪法第八十七條ノ各號ノ一ニ該ル場合ト雖韓國駐節軍司令官直ニ裁判宣告ノ命令ヲ下ス

六 拘留又ハ科料ニ該ル罪ナルトキハ被告人ヲ訊問セス書類ニ依リ審判スルコトヲ得

第六條 假出獄ニ關スル規定ハ韓國法規ニ依リ處斷セラレタル者ニ亦之ヲ適用ス

第七條 前二條ノ適用及刑ノ執行ニ關シテハ左ノ對照ニ依リ韓國法規ノ刑名ヲ刑法ノ刑名ト看做ス

死刑	死刑
流刑	禁錮
役刑	懲役
禁錮	禁錮
罰金	罰金
拘留	拘留

第五條ノ適用ニ關シテハ管刑ハ之ヲ一月ノ禁錮ト看做ス

第八條 拘禁及刑ノ執行ハ帝國陸軍軍人軍屬ノ例ニ依ル但シ管刑ノ執行方法ハ韓國法規ニ依リ之ヲ執行スヘキ場所ハ韓國駐節軍司令官之ヲ定ム

韓國軍人軍屬ノ身分ヲ失ヒタル受刑者ニ付テハ統監府監獄ニ於テ其ノ刑ヲ執行ス

第九條 韓國軍人軍屬ニ對スル死刑ハ韓國ノ國忌慶節日ニハ之ヲ執行セス

第十條 本令ニ於テ韓國軍人ト稱スルハ現役及召集中ノ豫備又ハ後備ノ韓國軍人ヲ謂フ

附則

韓國駐節憲兵ニ關スル制

朕韓國ニ駐節スル憲兵ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 韓國ニ駐節スル憲兵ハ主トシテ治安維持ニ關スル警察ヲ掌リ其ノ職務ノ執行ニ付統監ニ隸シ又韓國駐節軍司令官ノ指揮ヲ承ケ兼テ軍事警察ヲ掌ル

第二條 憲兵隊本部ノ位置並分隊ノ配置及其ノ管區ハ統監之ヲ定ム

第三條 統監ハ必要ニ際シ一時憲兵隊ノ一部ヲ其ノ管區外ニ派遣スルコトヲ得

第四條 憲兵ノ服務ニ關スル規定ハ統監之ヲ定ム但シ其ノ軍事警察ニ係ルモノハ韓國駐節軍司令官之ヲ定ム

第五條 前諸條ノ規定ノ外韓國ニ駐節スル憲兵ニ付テハ憲兵條例ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

憲兵條例 三十一年十一月 改正 三三年勅令二五〇號、三四年二九號、三五年二二三號、三六年五八號

勅令第三百三十七號

三八年二二三號、三九年二七八號、四〇年三三三號

六七



除憲兵條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

憲兵 條例

第一章 總 則

第一條 憲兵ハ陸軍大臣ノ管轄ニ屬シ主トシテ軍事警察ヲ掌リ兼テ行政警察、司法警察ヲ掌ル

第二條 憲兵ハ其ノ職務ノ執行ニ付軍事警察ニ係ルモノハ陸軍大臣及海軍大臣、行政警察ニ係ルモノハ内務大臣、司法警察ニ係ルモノハ司法大臣ノ指揮ヲ承ク臺灣及南滿洲ニ於ケル軍事警察、行政警察、司法警察ニ係ルモノハ臺灣總督又ハ關東都督ノ指揮ヲ承ク

第三條 憲兵ハ行政警察、司法警察ニ係ル事件ニ付テハ警視總監、北海道廳長官、府縣知事、東京府知事、臺灣總督府廳長、同法院檢察官、關東都督府民政課長及同法院檢察官ノ指示ヲ承ク

憲兵ハ要塞地帯ニ關スル法令ノ施行ニ付テハ要塞司令官又ハ其ノ職務ヲ行フ官廳、軍港要港規則及旅順港規則ノ施行ニ付テハ鎮守府司令官若ハ要塞部司令官又ハ鎮守府司令官若ハ要塞部司令官ノ職務ヲ行フ官廳ノ指示ヲ承ク

憲兵ハ地方守備ニ關スル軍事警察ニ付テハ臺灣ニ在テハ臺灣守備隊司令官、司令官アラサル地、南滿洲ニ在テハ師團長、師團長アラサル地ニ在長ノ指示ヲ承ク

第四條 憲兵ハ其ノ職務上ニ關シ正當ノ職權ヲ有スル者ヨリ要求アルトキハ直ニ之ニ應スヘシ

第五條 憲兵ハ左ニ記載スル場合ニアラサルハ兵器ヲ用ウルコトヲ得ス

一 暴行ヲ受ケルトキ

二 其ノ占守スル土地若ハ委託セラレタル場所又ハ人ヲ防衛スルニ兵力ヲ用ウルノ外他ニ手段ナキトキ又ハ兵力ヲ以テセサレハ抗抵ニ勝ツ能ハサルトキ

第二章 配置職員

第六條 東京ニ憲兵司令部ヲ置キ各憲兵隊管區ニ一憲兵隊ヲ配置ス

憲兵隊管區ハ別表ニ依ル

第七條 各憲兵隊本部ハ師團司令部所在地ニ之ヲ置ク

各憲兵隊ハ之ヲ分隊ニ分ツ其ノ配置及管區ハ陸軍大臣之ヲ定ム

臺灣及南滿洲ニ於ケル憲兵隊本部ノ位置並分配及其ノ管區ハ臺灣總督、關東都督之ヲ定ム

第八條 (削除)

第九條 (削除)

第十條 憲兵司令部ニ左ノ職員ヲ置ク

憲兵司令官

憲兵副官

憲兵下士

憲兵隊ニ左ノ職員ヲ置ク

憲兵隊長

憲兵隊副官

憲兵分隊長

憲兵隊附士官

憲兵准下官、下士、上等兵

憲兵司令部及憲兵隊ニハ經理部、衛生部及獸醫部士官、准士官、下士、判任文官並鐵工長ヲ附スルコトヲ得

第十一條 (削除)

第十二條 陸軍大臣、臺灣總督及關東都督ハ必要ニ際シ一時憲兵隊ノ一部ヲ其ノ管區外ニ派遣スルコトヲ得

第十三條 (削除)

第十四條 憲兵司令部ハ各憲兵隊ヲ統轄シ司令部ノ事務ヲ總理ス

第十五條 憲兵司令官ハ憲兵隊ノ軍紀、風紀、訓練、教育及職務履行ノ程度ヲ檢閲スヘシ

第十六條 憲兵隊長ハ各分隊ヲ統轄シ其ノ勤務方法ヲ指定シ隊中ノ事務ヲ總理ス

第十七條 憲兵副官ハ司令官、憲兵隊副官ハ隊長ノ命ヲ承ケ各部内ノ事務ニ服ス

第十八條 憲兵分隊長ハ部下ヲ指揮監督シ其ノ勤務ノ方法ヲ指定シ分隊ノ事務ヲ處理ス

第十九條 憲兵隊附士官ハ隊長ノ命ヲ承ケ勤務ニ服ス

第二十條 憲兵ノ服務ニ係ル規定ハ各主管大臣之ヲ定ム但シ臺灣ニ在テハ臺灣總督、南滿洲ニ在テハ關東都督之ヲ定ム

附 則

第二十一條 當分ノ内憲兵隊長、副官、分隊長、隊附士官、憲兵准士官以下ハ豫備役、後備役ノ者ヲ以テ充ツルコトヲ得其ノ身分取扱ハ召

第一輯 官 制

六九



集中ノ者ニ同シ

第二十二條 (削除)

第二十三條 本令ハ明治三十一年十二月一日ヨリ施行ス

(別表)

管 區 名	憲兵隊管區表
東 京 憲兵隊管區	第一師
仙 臺 憲兵隊管區	第二師
名 古 屋 憲兵隊管區	第三師
大 阪 憲兵隊管區	第四師
廣 島 憲兵隊管區	第五師
熊 本 憲兵隊管區	第六師
旭 川 憲兵隊管區	第七師
弘 前 憲兵隊管區	第八師
金 澤 憲兵隊管區	第九師
姫 路 憲兵隊管區	第十師
善 通 寺 憲兵隊管區	第十一師
小 倉 憲兵隊管區	第十二師
高 田 憲兵隊管區	第十三師
宇 都 宮 憲兵隊管區	第十四師
豐 橋 憲兵隊管區	第十五師
京 都 憲兵隊管區	第十六師
岡 山 憲兵隊管區	第十七師
久 留 米 憲兵隊管區	第十八師
釜 淵 憲兵隊管區	第十九師

韓國駐劄憲兵隊管區  
關 東 憲兵隊管區

南 韓 滿 洲 國

●憲兵隊ノ配置及憲兵分隊管區表

四十二年十月 統令第五十號

韓國駐劄憲兵隊ノ配置及憲兵分隊ノ管區別表ノ通定ム  
憲兵分遣所以下ノ配置及管區ハ憲兵隊長之ヲ定ム

附 則

本令ハ明治四十二年十一月二日ヨリ之ヲ施行ス

別 表

憲兵隊配置及憲兵分隊管區表

憲兵隊	本部位置	憲兵分隊	同 上 位 置	憲 兵 分 隊 管 區
韓 國 駐 劄 憲 兵 隊	京 城	京 城	京 城 大 和 町	京畿道一團、黃海道(平壤分隊管區ニ屬スル區域ヲ除ク)江原道(咸興分隊管區ニ屬スル區域ヲ除ク)
大 和 町	大 和 町	平 壤	平安南道平壤郡隆德面八里	平安南道一團
		天 安	忠清南道天安郡天安邑	黃海道、內谷山郡、新溪郡、遂安郡、瑞興郡、黃州郡、鳳山郡、咸寧郡、安岳郡、長連郡、殷栗郡、豐川郡、松禾郡、長淵郡、信川郡、文化郡
		大 邱	慶尙北道大邱郡大邱府	忠清南、北道、全羅北道一團
		榮 山 浦	全羅南道羅州郡知良面榮山浦	慶尙南、北道一團
		咸 興	咸鏡南道咸興郡咸興州南面新昌里	全羅南道一團
		鏡 城	咸鏡北道鏡城郡香村社羅南	咸鏡南道一團 江原道ノ内欽谷郡、通川郡、高城郡、杆城郡、襄陽郡、麟蹄郡
				咸鏡北道一團



第二輯 官規



## 第二輯 官 規

### 第一章 官等等級及俸給

#### ●統監府及理事廳高等官等令

三十八年十二月  
勅令第二百七十二號

改正

四〇年勅令一六號、二九七號

朕統監府及理事廳高等官等令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
統監府及理事廳高等官等令

#### 第一條 統監府及理事廳高等官ノ官等ハ左表ニ依ル

規 任	高等官一等	同 二 等	同 三 等	同 四 等	同 五 等	同 六 等	同 七 等	同 八 等
統 監	統監府 總務長官	同 上						
副統監	參與官	同 上						
	統監秘書官	同 上						
	統監府書記官	同 上						
	統監府通譯官	同 上						
	理事廳理事官	同 上						
副理事官	同 上							
	同 上							
	同 上							
	同 上							
	同 上							
	同 上							
	同 上							
	同 上							

理事廳理事官ニシテ滿三年以上高等官二等ニ在リ特ニ功績アル者ハ二人ヲ限リ高等官二等ニ陞叙スルコトヲ得  
第二條 本令ニ規定セサルモノハ高等官等俸給令ニ依ル

(參照)

#### ●高等官等俸給令

二十五年十一月  
勅令第九十六號

第二輯 官 規 第一章 官等等級及俸給



改正

二六年初令一六七號、二八年一三三號、三二年三〇九號、三二年二〇七號、一〇七號、一二七號、一三九號、一五二號、一五六號、一六二號、一七一號、二〇九號、二二七號、二五五號、二六七號、二九八號、三三六號、三三九號、三三九號、一八一號、一六五號、一七一號、一八四號、一八六號、一八九號、二四四號、二七二號、三二七號、三八六號、三四年一五八號、三二一號、三三九號、一三三號、二二二號、二四四號、三六四號、一〇一號、一三九號、二五九號、三七年一四四號、一三七號、一五〇號、一五三號、三八年八五號、一〇七號、一〇八號、一四一號、二二二號、二三七號、三九年六三號、八〇號、一一八號、一二三號、一四四號、二九六號、三〇三號、四〇年二七號、一八二號、二〇七號、二七〇號、三〇五號、四一年一〇〇號、一〇八號、二二九號、二九三號、四二年二六號、二〇三號、二六九號、一九三號、一九八號、二〇三號、二六九號

朕茲ニ高等官官等俸給令ヲ裁可ス  
高等官官等俸給令

官等及敘任

- 第一條 親任式ヲ以テ敘任スル官ヲ除ク外高等官ヲ分テ九等トス親任式ヲ以テ敘任スル官及一等官二等官ヲ勅任官トシ三等官乃至九等官ヲ奏任官トス
- 第二條 勅任官申親任式ヲ以テ敘任スル官ノ辭令書ハ親署ノ後御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣又ハ首座ノ大臣之ニ副署ス
- 第三條 親任式ヲ以テ敘任スル官ヲ除キ其他ノ勅任官ノ辭令書ハ御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣之ヲ奏行ス
- 第四條 奏任官ノ任官及敘任ハ内閣總理大臣之ヲ奏薦シ其各省及各省所屬ノ官廳ニ屬スルモノハ内閣總理大臣ヲ經由シテ主任大臣之ヲ奏薦ス
- 第五條 奏任官ノ辭令書ハ内閣ノ印ヲ鈐シ内閣總理大臣之ヲ宣行ス
- 第六條 高等官官等ハ別ニ定ムルモノヲ除ク外本令中ノ文武高等官官等表ニ依ル
- 官制上他ノ官ニ在ル者ヲ以テ兼任セシメ又ハ之ニ充ツルノ官ニシテ別ニ官等ヲ定メサルモノハ本官ノ官等ニ依ル
- 第七條 初メテ高等文官ニ任セララル者ノ官等ハ六等以下トス
- 高等文官ヲ勅任シタル者再ヒ高等官ニ任セララル場合ニ於テハ其官等ハ前官ノ官等以下トス但前官官等在職年數滿二年ヲ踰エタル者ハ前官ノ官等ニ一等級進ムルコトヲ得
- 前官ノ官等七等以下ナルトキハ前項ノ規定ヲ適用セシメテ六等官ニ至ルコトヲ得
- 第八條 高等官ノ官等ハ別ニ進級ノ例ヲ定メタル者及七等以下ノ者ヲ除ク外在職滿二年ヲ踰ユルニ非サレハ附敘スルコトヲ得ス
- 第八條ノ二 親任式ヲ以テ敘任セララル官特命全權公使、内閣書記官長及辦理公使ニ任セララル場合ニ於テハ第七條及第八條ヲ文官任用令第一條第四項ニ依リ勅任文官ニ任用セララル場合ニ於テハ第七條ヲ適用セシ

俸給

- 第九條 高等文官ノ俸給ハ別ニ定ムルモノノ外左ノ如シ  
(左記略ス)
- 第十條 高等文官ノ俸給ニ關シテ別ニ定ムル所ナキモノハ總テ本令ノ規定ニ依ル
- 陸海軍武官ノ俸給ニ關スル規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル
- 第十一條 同一ノ官職ニシテ官等ニ依リ其俸給ヲ異ニスルモノハ本令定ムル所ノ高等文官官等相當俸給表ニ依リ各其官等ニ照シテ之ヲ給ス
- 第十二條 同一官職ノ同一官等内ニ於テ其俸給ニ數級アル場合ニ於テハ其等級ニ依リ事務ノ繁簡ニ從ヒ本局長官便宜之ヲ増減スルヲ得
- 第十三條 高等文官死亡シタルトキハ其在職中ナルトキハ在職最終年俸三分ノ一ヲ其遺族ニ給ス但遺族トハ官東遺族并助法ニ於テ遺族ト稱スル者ヲ謂フ
- 終身官ハ其在職中死亡シタル者ニ限リ前項ノ規定ニ依ル
- 第十四條 年俸ハ十二分シテ毎月之ヲ支給ス
- 第十五條 俸給ハ新任増俸減俸トモ總テ發令ノ翌日ヨリ計算ス
- 第十六條 非職廢官退官退職及死亡ノトキハ年俸ヲ月割計算トシ常月分ノ全額ヲ給ス
- 第十七條 非職廢官退官者事務引繼殘務調理ノ爲特ニ命ヲ承ケ公務ニ從事スルトキハ其間尙從前ノ年俸ヲ給ス
- 第十八條 痼疾ノ爲執務セサルコト九十日ヲ踰ユル者及私事ノ故除ニ由リ執務セサルコト三十日ヲ踰ユル者ハ俸給ノ半額ヲ減ス但公務ノ爲傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ヲ受ケル者及特旨ニ由リ賜暇休養スル者ハ此限ニアラス
- 第十九條 俸給支給ニ關スル細則ハ大藏大臣省令ヲ以テ之ヲ定ム  
(附則略ス)

初級官等ノ制限ヲ受ケサル高等文官他ノ高等文官ト爲ル場合

ノ官等ニ關スル制 三十六年十二月  
勅令第二百八十五號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ初級官等ノ制限ヲ受ケサル高等文官他ノ高等文官ト爲ル場合ノ官等ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム



初級官等ノ制限ヲ受ケサル高等文官他ノ高等文官ト爲ル場合ノ官等ニ關スル件

第一條 本令ニ於テ特別文官ト稱スルハ高等官官等俸給令第七條ニ依ル初級官等ノ制限ヲ受ケサル高等文官ヲ謂フ

第二條 特別文官他ノ高等文官ト爲ル場合ノ官等ハ前ニ他ノ高等文官タラサリシ者ニ付テハ高等官六等以下トシ前ニ他ノ高等文官タリシ者ニ付テハ前官等以下トス但シ前官等七等以下ナルトキハ陸シテ六等ニ至ルコトヲ得

第三條 前條ノ場合ニ於テハ特別文官在職年數滿二年ニ對シテ一等ヲ陸級スルコトヲ得

前ニ他ノ高等文官タリシ者前條ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ前官等七等以下ノ場合ヲ除ク外其ノ官等在職年數ヲ特別文官在職年數ニ通算シテ前項ノ規定ヲ適用ス但シ前ノ他ノ高等文官在職滿二年以上ナルトキハ其ノ在職年數ハ二年トシ特別文官在職年數ニ通算ス

前二項ノ在職年數ニシテ特別文官ヨリ他ノ高等文官ト爲ル際陸級ノ爲算用セラレサルモノハ新ニ彼セラレタル官等ノ陸級年數ニ通算ス但シ前ノ他ノ高等文官ノ官等以上ニ彼セラレサルトキハ此ノ限ニ在ラス

附則

明治三十年勅令第九十七號及之ヲ準用シタル規定ハ之ヲ廢止ス

●統監府及理事廳職員給與令

三十八年十二月 勅令第二百七十三號

改正 三十九年勅令二六二號、四〇年一七號、二九八號

朕統監府及理事廳職員給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府及理事廳職員給與令

第一條 統監府及理事廳職員ニハ本俸及〔在勤俸〕ヲ給ス

第二條 本俸ノ年額ハ統監六千圓、副統監五千圓、總務長官一級四千五百圓、二級四千圓、參與官一級四千

圓、二級三千五百圓、三級三千圓トシ、統監秘書官、統監府書記官及理事廳理事官ハ奏任文官本俸第一號

表、統監府通譯官及理事廳副理事官ハ奏任文官本俸第二號表ニ依ル

理事官ニシテ高等官二等ニ陸級セラレタル者ノ本俸年額ハ三千圓トス

第三條 〔在勤俸〕ノ年額ハ本俸ニ同シ但シ判任官ニ付テハ九百圓以内ニ於テ統監之ヲ定ム

第四條 統監ニハ年額一萬二千圓、副統監ニハ七千圓、總務長官ニハ三千圓、外交事務ヲ掌ル參與官ニハ二

千圓、理事官ニハ千五百圓以内ノ交際手當ヲ給ス

第五條 〔在勤俸〕及交際手當ハ任地ニ到著シタル翌日ヨリ之ヲ給ス

帝國內滞在二箇月ニ及ヒタルトキハ其ノ以後〔在勤俸〕及交際手當ヲ給セス但シ統監ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 副理事官ニシテ統監府及理事廳官制第二十八條ニ依リ理事官ノ職務ヲ代理シタル場合ニ於テハ之ニ交際手當ヲ給ス

前項交際手當ノ額ハ理事官ニ同シ

第七條 外國旅費規則ニ依リ統監府及理事廳職員ニ給スル日當ハ其ノ旅行中ノ日數ニ應シテ之ヲ給シ支度料ハ韓國へ赴任スルトキニ限り之ヲ給ス

支度料ハ前項ニ規定スルモノノ外統監府及理事廳職員韓國内ニ於テ任地ヲ轉スル場合及帝國內へ轉任スル場合ニ於テハ外國旅費規則第一號表ニ準シテ之ヲ給ス

第七條ノ二 統監府及理事廳官制第十一條第二項ノ參與官ノ俸給ハ之ヲ停止シ旅費其ノ他ノ給與ハ之ヲ支給セス

附則

第八條 從來韓國ニ在勤シタル外交官、領事官、通譯官、外務書記生、警部又ハ外務通譯生ニシテ引續キ統監府又ハ理事廳ノ職員ニ任セラレタル者ノ給與ハ其ノ受クヘキ本俸、在勤俸及交際手當ノ總額カ在外公館費用條例ニ依リ現ニ支給セラレタル本俸、在勤俸及同條例第六條ノ増給ノ總額ヨリ少キ場合ニ於テハ之ニ達スル迄仍在外公館費用條例ノ規定ニ依リ本俸及在勤俸ノ從前ノ額並同條例第六條ノ事由ノ存スル間其ノ



増給額ヲ給ス

第九條 (削除)

第十條 統監府又ハ理事廳職員ニシテ主トシテ韓國ノ土木、産業、衛生其ノ他韓國ノ利益ト爲ルヘキ事務ニ従事スル者ニハ韓國政府ヨリ俸給其ノ他ノ給與ヲ受ケシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ本令ニ依ル給與ヲ給セズ

(別表)

奏任文官本俸第一號表

俸給	官	
	等三	等四
一級	二千八百圓	二千四百圓
二級	二千六百圓	二千二百圓
俸給	官	
	等五	等六
一級	二千四百圓	二千圓
二級	二千二百圓	一千八百圓
俸給	官	
	等七	等八
一級	一千四百圓	一千二百圓
二級	一千二百圓	一千圓

奏任文官本俸第二號表

俸給	官	
	等四	等五
一級	二千二百圓	千八百圓
二級	二千圓	千六百圓
俸給	官	
	等六	等七
一級	千八百圓	千四百圓
二級	千六百圓	千二百圓
俸給	官	
	等八	等九
一級	千四百圓	千二百圓
二級	千二百圓	千圓

奏任文官本俸第三號表

俸給	官	
	等五	等六
一級	千六百圓	千二百圓
二級	千四百圓	千圓
俸給	官	
	等七	等八
一級	千二百圓	千圓
二級	千圓	八百圓
俸給	官	
	等九	等十
一級	八百圓	七百圓
二級	七百圓	六百圓

附則

本令施行ノ際奏任文官本俸表ニ依リ現ニ受クル本俸額本令ニ依リ受クヘキ本俸額ヨリ多額ナルトキハ同一額ニ達スル迄其ノ額ヲ給ス

統監府及所屬官署技師官等給與令

四十年三月 勅令第六十八號

統監府及所屬官署技師官等給與令

第一條 統監府及所屬官署技師ノ官等ハ二等乃至八等トシ本俸ノ年額ハ別表ニ依ル但シ勅任鐵道技師ニ限リ年功ニ依リ四千圓ヲ給スルコトヲ得

第二條 本令ニ規定セサルモノハ統監府及理事廳職員給與令ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

統監府及所屬官署技師本俸表

俸給	勅任	
	一級	二級
一級	二千八百圓	二千六百圓
二級	二千六百圓	二千四百圓
三級	二千四百圓	二千二百圓
四級	二千二百圓	二千圓
五級	二千圓	一千八百圓
六級	一千八百圓	一千六百圓
七級	一千六百圓	一千四百圓
八級	一千四百圓	一千二百圓
九級	一千二百圓	一千圓
十級	一千圓	八百圓
十一級	八百圓	七百圓
十二級	七百圓	六百圓

文武判任官等級表抄

二十七年四月 勅令第四十三號

改正 三八年勅令二七二號

文武判任官等級表

官	等	
	一	二
一	二千八百圓	二千六百圓
二	二千六百圓	二千四百圓
三	二千四百圓	二千二百圓
四	二千二百圓	二千圓
五	二千圓	一千八百圓
六	一千八百圓	一千六百圓
七	一千六百圓	一千四百圓
八	一千四百圓	一千二百圓
九	一千二百圓	一千圓
十	一千圓	八百圓
十一	八百圓	七百圓
十二	七百圓	六百圓



各廳屬	特別二級俸	各廳屬	三級俸	各廳屬	五級俸	各廳屬	三十四以下	各廳屬	二十四以下
統監府通譯生	同	統監府通譯生	同	統監府通譯生	同	統監府通譯生	同	統監府通譯生	同
統監府通信員	同	統監府通信員	同	統監府通信員	同	統監府通信員	同	統監府通信員	同
統監府通信技手	同	統監府通信技手	同	統監府通信技手	同	統監府通信技手	同	統監府通信技手	同
統監府通信手	同	統監府通信手	同	統監府通信手	同	統監府通信手	同	統監府通信手	同
長郵監府	年手當六百以上	長郵監府	年手當五百以上	長郵監府	年手當四百以上	長郵監府	年手當四十以上	長郵監府	年手當四十以下

八〇

●判任官俸給令

二十四年七月 改正 二十五年勅令九七號、三〇年二三號  
勅令第八十三號 三一年三一〇號

朕茲ニ判任官俸給令ヲ裁可ス

判任官俸給令

- 第一條 判任文官ノ月俸ヲ別テ十級トシ別表ニ依リ每月下旬ニ於テ之ヲ支給ス
- 第二條 陸海軍准士官下士ノ月俸ハ別ニ定ムル所ニ依ル其他特ニ定ムルモノハ前條ノ限ニアラス
- 第三條 判任官ハ毎級在職一年以上ニ至ラサレハ増給スルコトヲ得ス但シ六級俸以下ノ者ハ此ノ限ニアラス
- 第四條 判任官最上級俸ヲ受ケ五年ヲ踰ヘ事務練熟優等ナル者ハ特別ヲ以テ別表ノ範圍ニ拘ラス百圓マテ増俸スルコトアルヘシ
- 第五條 官ニ在リテ死亡シタル者ハ月俸三箇月分ヲ其遺族ニ給ス非職者ニ於テモ亦同シ但遺族ハ官吏遺族扶助法ニ於テ遺族ト稱スル者ヲ謂フ

第六條 前條ノ外俸給支給ニ關シテハ高等官官等俸給令第十五條第十六條第十七條第十八條ノ例ニ依ル  
第七條 俸給支給ニ關スル細則ハ大藏大臣省令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第八條 本令ハ明治二十四年八月十六日ヨリ施行ス  
明治十九年勅令第三十六號判任官官等俸給令ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス  
(別表)

一級	七十五圓	二級	六十四圓	三級	五十四圓	四級	四十五圓	五級	四十四圓
六級	三十五圓	七級	三十四圓	八級	二十五圓	九級	二十圓	十級	十五圓

●月俸三十圓未滿ノ判任官俸給ニ關スル制

三十九年八月 勅令第二百十六號

朕月俸三十圓未滿ノ判任官ノ俸給ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
判任官ノ俸給ハ月俸三十圓未滿ノ者ニ限リ級俸ニ拘ラス適宜ノ金額ヲ定メ之ヲ支給スルコトヲ得但シ各所定ノ最低俸給額ヲ下ルコトヲ得ス

●月俸三十圓未滿ノ判任官待遇者俸給ニ關スル制

四十年六月 勅令第二百四十四號

朕月俸三十圓未滿ノ判任官待遇者ノ俸給ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
明治三十九年勅令第二百十六號ハ判任官ノ待遇ヲ受クル者ノ俸給ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



●統監府司法廳職員官等給與令 四十二年十月 勅令第二百四十六號

朕統監府司法廳職員官等給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府司法廳職員官等給與令

- 第一條 統監府司法廳長官ノ官等ハ高等官一等又ハ二等トシ其ノ本俸ハ年額四千圓トス但シ特ニ年額四千五百圓ヲ給スルコトヲ得
- 第二條 統監府司法廳參事官及書記官ノ官等ハ高等官三等乃至七等トシ其ノ本俸ハ統監府及理事廳職員給與令中奏任文官本俸第一號表ニ依ル但シ勅任參事官ノ官等ハ高等官二等トシ其ノ本俸ハ三千圓トス
- 第三條 統監府司法廳監獄事務官ノ官等ハ高等官四等乃至八等トシ其ノ本俸ハ統監府及理事廳職員給與令中奏任文官本俸第二號表ニ依ル
- 第四條 長官ニハ年額三千圓以内ノ交際手當ヲ給ス
- 第五條 統監府及理事廳職員給與令第五條及第七條ノ規定ハ統監府司法廳職員ニ之ヲ準用ス
- 附則
- 本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府判事及檢事官等給與令 四十二年十月 勅令第二百四十七號

朕統監府判事及統監府檢事官等給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府判事及統監府檢事官等給與令

- 第一條 統監府判事及統監府檢事ノ官等ハ高等官一等乃至八等トス其ノ本俸ハ別表ニ依ル
- 第二條 判事及檢事ノ官等及本俸ハ左ノ區分ニ依ル
- 高等法院

長	勅任	一級俸
部長	勅任	二級俸又ハ三級俸
判事	奏任	一級俸乃至五級俸
高等法院檢事局長	勅任	一級俸
檢事	奏任	一級俸乃至五級俸
控訴院	勅任	二級俸又ハ三級俸
部長	奏任	一級俸乃至六級俸
判事	奏任	四級俸乃至九級俸
控訴院檢事局長	勅任	二級俸又ハ三級俸
檢事	奏任	一級俸乃至九級俸
地方裁判所	奏任	一級俸乃至五級俸
部長	奏任	四級俸乃至九級俸
判事	奏任	四級俸乃至十二級俸
地方裁判所檢事局長	奏任	一級俸乃至五級俸
檢事	奏任	四級俸乃至九級俸
地方裁判所	奏任	一級俸乃至五級俸
區裁判所	奏任	四級俸乃至十二級俸



判事 奏任 四級俸乃至十二級俸  
檢事 奏任 四級俸乃至十二級俸

高等法院判事ノ内二人ハ勅任ト爲スコトヲ得其ノ本俸ハ三級俸トス  
高等法院檢事ノ内一人ハ勅任ト爲スコトヲ得其ノ本俸又ハ三級俸トス  
京城控訴院ノ部長及檢事ハ各一人ヲ限リ勅任ト爲スコトヲ得其ノ本俸ハ三級俸トス  
地方裁判所ノ内三所ヲ限リ其ノ所長及檢事正ハ勅任ト爲スコトヲ得其ノ本俸ハ三級俸トス  
第三條 高等法院長、高等法院檢事長、控訴院長及控訴院檢事長ハ統監上奏シテ之ヲ補シ其ノ他ノ各職ハ統監之ヲ補ス

第四條 統監府及理事應職員給與令第七條ノ規定ハ統監府判事及統監府檢事ニ之ヲ準用ス  
附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
(別表)

統監府判事及統監府檢事年俸表

勅任		奏任	
一級	三千五百圓	一級	二千六百圓
二級	三千圓	二級	二千四百圓
三級	二千八百圓	三級	二千二百圓
四級	二千六百圓	四級	二千圓
五級	二千四百圓	五級	一千八百圓
六級	二千二百圓	六級	一千六百圓
七級	二千圓	七級	一千四百圓
八級	一千八百圓	八級	一千二百圓
九級	一千六百圓	九級	一千圓
十級	一千四百圓	十級	九百圓
十一級	一千二百圓	十一級	八百圓
十二級	一千圓	十二級	七百圓

●統監府判事、檢事ニ初叙ノ制限ヲ適用セサルノ制 四十二年十月 勅令第二百五十二號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府裁判所判事檢事ニ高等官官等俸給令第七條ノ規定ヲ適用セサルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府裁判所令施行ノ際韓國ノ裁判所判事檢事又ハ法部ノ勅任官若ハ奏任官ノ職ニ在ル者ヨリ統監府判事又ハ統監府檢事ニ任セラルル者ニ付テハ高等官官等俸給令第七條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府裁判所書記長、通譯官、書記、通譯生及統監府監獄職員

官等給與令 四十二年十月 勅令第二百四十八號

朕統監府裁判所書記長、統監府裁判所通譯官、統監府裁判所書記、統監府裁判所通譯生及統監府監獄職員官等給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府裁判所書記長、統監府裁判所通譯官、統監府裁判所書記、統監府裁判所通譯生及統監府監獄職員官等給與令

第一條 統監府典獄、統監府裁判所書記長及統監府裁判所通譯官ノ官等ハ高等官五等乃至八等トシ其ノ本俸ハ統監府及理事應職員給與令中奏任文官本俸第三號表ニ依ル但シ控訴院書記長ノ官等ハ高等官六等乃至八等トス

第二條 統監府及理事應職員給與令第七條ノ規定ハ統監府裁判所書記長、統監府裁判所通譯官、統監府裁判所書記、統監府裁判所通譯生及統監府監獄職員ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府警視、警部官等給與令 四十二年十月 勅令第二百四十九號

朕統監府警視警部官等給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第二輯 官規 第一章 官等及俸給



統監府警視部官等給與令

第一條 統監府警視ノ官等ハ高等官五等乃至八等トシ其ノ本俸ハ統監府及理事廳職員給與令中奏任文官本俸第三號表ニ依ル

第二條 統監府警視及統監府警部ノ俸給ハ其ノ支給ヲ停止シ其ノ他ノ給與ハ之ヲ支給セス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

官吏待遇統監府監獄職員給與令

四十二年十月 勅令第二百五十二號

朕奏任及判任待遇統監府監獄職員給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

奏任及判任待遇統監府監獄職員給與令

第一條 奏任及判任待遇統監府監獄職員ノ給與ニ付テハ奏任及判任待遇監獄職員給與令ヲ準用ス

第二條 奏任及判任待遇統監府監獄職員ニハ滿韓在勤文官加俸令ヲ準用ス

第三條 統監府看守及統監府女監取締ニハ一月十圓以内ノ宿料ヲ給スルコトヲ得

第四條 韓國人タル官吏待遇統監府監獄職員ノ給與ニ關スル規程ハ統監之ヲ定ム

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際韓國ノ監獄職員タル者ニ統監府監獄職員ヲ命スル場合ニ於テハ本令施行ノ際ニ限り奏任及判任待遇監獄職員給與令第三條第一項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

(參照)

奏任及判任待遇監獄職員給與令

三十九年十月 勅令第二百七十六號

朕奏任及判任待遇監獄職員給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

奏任及判任待遇監獄職員給與令

第一條 監獄醫、教誨師、教師及樂舞師ノ俸給ハ別表ニ依ル但シ月俸三十圓未満ノ者ニ限り各所定ノ最低俸給額ヲ下ラサル範圍内ニ於テ適宜ノ金額ヲ定メ之ヲ給スルコトヲ得

看守ノ月俸ハ十二圓乃至二十圓トス但シ看守部長タル看守ニハ二十五圓迄ヲ給スルコトヲ得

教習中ノ看守ノ月俸ハ九圓乃至十一圓トス

女監取締ノ月俸ハ八圓乃至十五圓トス但シ女監取締部長タル女監取締ニハ二十圓迄ヲ給スルコトヲ得

第二條 奏任待遇ヲ受クル監獄醫又ハ教誨師ニシテ一級俸ヲ受ケ特ニ功勞アル者ハ監獄醫ニ在リテハ千八百圓、教誨師ニ在リテハ千二百圓迄増給スルコトヲ得

判任待遇ヲ受クル監獄醫、教誨師、教師又ハ樂舞師ニシテ一級俸ヲ受ケ五年ヲ踰エ事務熟練等ナル者ハ監獄醫ニ在リテハ百圓、教誨師、教師ニ在リテハ七十五圓、樂舞師ニ在リテハ五十圓迄増給スルコトヲ得

第三條 初メテ監獄醫、教誨師、教師又ハ樂舞師ヲ命セラレル者ノ俸給ハ各其ノ五級俸以下、看守又ハ女監取締ヲ命セラレル者ノ月俸ハ各十五圓又ハ十一圓以下トス但シ醫務所長又ハ教務所長ヲ命セラレル者ニ在リテハ四級俸迄ヲ給スルコトヲ得

監獄醫、教誨師、教師又ハ樂舞師ノ職ニ在リタル者カ監獄醫、教誨師、教師又ハ樂舞師ヲ命セラレル場合ニハ第一條及 二條ニ定メタル範圍内ニ於テ前俸給額以内ノ俸給ヲ給スルコトヲ得

判任官以上ノ官職ニ在リタル者、看守又ハ女監取締ノ職ニ在リタル者カ看守又ハ女監取締ヲ命セラレル場合ニハ第一條ニ定メタル範圍内ニ於テ前俸給額以内ノ月俸ヲ給スルコトヲ得

第四條 監獄醫、教誨師、教師又ハ樂舞師ニシテ別表四級俸以上ノ俸給ヲ受ケル者ハ一箇年ヲ經過スルニ非サレハ昇級スルコトヲ得ス

看守及女監取締ノ月俸ノ増給ハ三四ヲ起セルコトヲ得ス

十五圓以上ノ月俸ヲ受ケル看守及十一圓以上ノ月俸ヲ受ケル女監取締ニハ六箇月ヲ經過スルニ非サレハ増給スルコトヲ得ス十五圓又ハ十

一圓未満ノ月俸ヲ受ケル看守又ハ女監取締ニシテ十五圓又ハ十一圓以上ニ増給スル場合亦同シ

第五條 看守部長タル看守、女監取締部長タル女監取締及通譯其ノ他特別ノ技能ヲ有スル看守及女監取締ニハ第三條及第四條ヲ適用セス

第六條 休職看守ニシテ陸軍又ハ海軍ニ於テ受ケル俸給又ハ給料ノ月額休職ヲ命セラレタル當時ノ月俸額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ニ相當スル金額以内ノ休職給ヲ給スルコトヲ得

第七條 通譯其ノ他特別ノ技能ヲ有スル看守又ハ女監取締ニハ一箇月二十圓以内ノ特別手當ヲ給スルコトヲ得

第八條 非番ノ日ニ於テ臨時勤務ニ服シタル看守及女監取締ニハ一日五十錢以内ノ勤務手當ヲ給スルコトヲ得

第二輯 官規 第一章 官等等級及俸給

八七



第九條 看守及女監取締ニハ一箇月五圓以内ノ宿料ヲ給スルコトヲ得  
 第十條 年俸ハ十二分シテ毎月之ヲ給ス  
 第十一條 月俸ハ新任、増俸、減俸及復職ノ場合ニ於テハ其ノ翌日より、退職ノ場合ニ於テハ其ノ當日ヲ以テ給ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ其ノ月俸額ノ全額ヲ給ス  
 一 職務上ノ傷疾又ハ疾病ニ因リ其ノ職ニ堪ヘズ退職シタル者  
 二 廢絶ノ爲退職シタル者  
 三 身體若ハ精神ノ衰弱又ハ事務ノ都合ニ依リ退職ヲ命セラレタル者  
 四 休職ヲ命セラレタル者  
 五 在職中死亡シタル者  
 休職當月復職シタル者ニハ其ノ月ノ月俸ハ更ニ之ヲ給セス  
 第十二條 休職給ハ休職ノ翌月ヨリ之ヲ給ス  
 第十三條 病氣ノ爲職務セサルコト六十日ヲ踰ユル者又ハ私事ノ故障ニ依リ職務セサルコト二十日ヲ踰ユル者ハ日割ヲ以テ俸給ノ半額ヲ減ス但シ公務ノ爲傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ヲ受ケル者ハ此ノ限ニ在ラス  
 附 則  
 第十四條 地方ノ狀況ニ依リ當分ノ内看守ニ最下俸以下九圓迄女監取締ニ最下俸以下六圓迄ノ月俸ヲ給スルコトヲ得  
 第十五條 本令施行ノ際別ニ辭令ヲ受ケサル者ハ現ニ受ケル俸給及特別手當ヲ給セラレモトス  
 第十六條 巡查看守俸給令及明治二十八年勅令第五百九十九號ハ之ヲ廢止ス  
 (別表)

責任待遇年俸	
一級	千二百圓
二級	千圓
三級	九百圓
四級	八百圓
五級	七百圓
六級	六百圓
七級	五百五十圓
八級	五百圓
九級	四百五十圓
十級	四百圓

職名	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級
監獄醫	七十五圓	六十圓	五十五圓	四十五圓	四十四圓	三十五圓	三十四圓	二十五圓	二十二圓	二十四圓
教誨師	五十四圓	四十四圓	三十五圓	三十四圓	二十五圓	二十二圓	二十圓	十八圓	十六圓	十四圓
藥劑師	四十四圓	三十五圓	三十四圓	二十五圓	二十二圓	二十圓	十八圓	十六圓	十四圓	十二圓

● 韓國人タル統監府看守ノ給與ニ關スル制 四十二年十月 統令第四百四十四號

韓國人タル統監府看守ノ給與ニ關スル件左ノ通定ム  
 韓國人タル統監府看守ノ給與ニ付テハ左ノ變更ヲ以テ奏任及判任待遇監獄職員給與令中看守ニ關スル規定ヲ準用ス但シ宿料ハ之ヲ給セス  
 一 月俸ハ七圓乃至十五圓トス但シ教習中ハ五圓トス  
 二 初任者ノ月俸ハ九圓以下トス  
 三 月俸ノ増給ハ二圓以下トス  
 四 増俸期間ノ制限ヲ受クル月俸ハ十圓以上トス  
 五 特別手當ハ一箇月七圓以下トス  
 六 勤務手當ハ一日三十錢以下トス  
 附 則  
 本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 現ニ韓國ノ監獄看守タル韓國人ヲ統監府看守ニ採用スル場合ニ於テハ本令施行ノ際ニ限リ第二號ノ制限ニ依ラサルコトヲ得



●統監府營林廠職員官等給與令 四十年三月 勅令第七十三號

朕統監府營林廠職員官等給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
統監府營林廠職員官等給與令

- 第一條 統監府營林廠長ノ官等ハ二等又ハ三等トシ統監府營林廠事務官ノ官等ハ四等乃至七等トス
- 第二條 統監府營林廠長ノ本俸ハ年額一級三千圓、二級二千五百圓トシ統監府營林廠事務官ノ本俸ニ付テハ統監府及理事應職員給與令中奏任文官本俸第二號表ヲ準用ス
- 第三條 統監府及理事應職員給與令第七條ノ規定ハ統監府營林廠職員ニ之ヲ準用ス
- 第四條 本令ニ規定セサルモノハ高等官官等俸給令ニ依ル

附則

本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●營林廠高等官ノ官等ニ關スル制 四十年三月 勅令第七十五號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府營林廠高等官ノ官等ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
統監府營林廠職員特別任用令ニ依リ陸軍將校同相當官ヨリ統監府營林廠職員ニ任用セララル者又ハ任用セラレタル者ノ官等ニ付テハ高等文官轉任ノ例ヲ準用ス  
前項ノ官吏ハ明治三十六年勅令第二百八十五號ニ依ル特別文官トス

●統監府特許局職員官等俸給令 四十一年八月 勅令第二百三號

朕統監府特許局職員官等俸給令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
統監府特許局職員官等俸給令

- 第一條 統監府特許局高等官ノ官等ハ事務官ハ三等乃至七等、審査官ハ四等乃至七等トス
- 第二條 統監府特許局職員ノ本俸ノ年額ハ事務官ニ付テハ統監府及理事應職員給與令中奏任文官本俸第一號表審査官ニ付テハ同第二號表ヲ準用ス
- 第三條 統監府及理事應職員給與令第七條ノ規定ハ統監府特許局職員ニ之ヲ準用ス
- 第四條 本令ニ規定セサルモノハ高等官官等俸給令ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府通信官署職員官等給與令 三十八年十二月 勅令第二百七十四號 改正 三十九年勅令一六三號 四〇年一四八號

朕統監府通信官署職員官等給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
統監府通信官署職員官等給與令

- 第一條 統監府通信官署高等官ノ官等ハ統監府通信管理局長ハ二等又ハ三等、統監府通信管理局事務官ハ三等乃至七等、統監府通信事務官ハ四等乃至七等、統監府通信事務官補ハ六等乃至八等トス
- 第二條 統監府通信官署職員ニハ郵便所長ヲ除クノ外本俸及〔在勤俸〕ヲ給ス  
本俸ノ年額ハ統監府通信管理局長ハ一級三千五百圓、二級三千圓トシ統監府通信管理局事務官ニ付テハ統監府及理事應職員給與令中奏任文官本俸第一號表、通信事務官ニ付テハ同第二號表ヲ準用ス但シ高等官六等ニ彼セラレタル事務官補ニハ千五百圓迄ヲ給スルコトヲ得  
統監府通信手ノ本俸ニ付テハ通信手ノ俸給ニ關スル規定ヲ準用ス

〔在勤俸ニ關シテハ統監府及理事應職員給與令ノ規定ヲ準用ス〕

- 第三條 統監府郵便所長ノ給與ニ付テハ三等郵便局長ノ給與ニ關スル規定ヲ準用ス但シ其ノ手當金額ハ六百圓以内トス



第四條 統監府及理事廳職員給與令第七條ノ規定ハ統監府通信官署職員ニ之ヲ準用ス  
第五條 本令ニ規定セサルモノハ高等官官等俸給令ニ依ル

附則

本令ハ明治三十九年一月十日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本令施行ノ際現ニ受クル本俸額本令ニ依リ受クヘキ本俸額ヨリ多額ナルトキハ同一額ニ達スル迄其ノ額ヲ給ス

●滿韓在勤文官加俸令

三十九年十一月 勅令第三百六號

改正

四二年 勅令五二號

朕滿韓在勤文官加俸令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

滿韓在勤文官加俸令

第一條 滿韓在勤文官ニハ本令ニ依リ加俸ヲ給ス

第二條 統監及關東都督ノ加俸ハ本俸ノ十分ノ五トシ其ノ他ノ高等官ノ加俸ハ本俸ノ十分ノ五以内、判任官ノ加俸ハ十分ノ八以内トシ其ノ額ハ本屬長官之ヲ定ム但シ六級俸以下ノ判任官ノ加俸ハ三十四迄ヲ支給スルコトヲ得

第三條 加俸ノ支給ニ付テハ本俸ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條 本令ハ在外公館職員及陸海軍軍屬ニハ之ヲ適用セス

附則

本令ハ滿洲在勤文官ニ付テハ發布ノ日ヨリ、韓國在勤文官ニ付テハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
滿韓在勤文官ノ加俸、在勤俸及交際手當以外ノ手當ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

●統監府及所屬官署職員ノ加俸額ニ關スル制

四十年三月 勅令第十三號

統監府及所屬官署職員ノ加俸額ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 統監府及所屬官署職員ノ加俸額ハ高等官ニ在リテハ本俸ノ十分ノ五、判任官ニ在リテハ五級俸以上ハ其ノ十分ノ八、六級俸以下ハ三十四トス

第二條 統監府通信手ノ加俸額ハ統監府通信管理局長之ヲ定ム

附則

本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●官吏待遇監獄職員及巡查ノ加俸額ニ關スル制

四十二年十月 勅令第四十七號

奏任及判任待遇統監府監獄職員及統監府巡查ノ加俸額ニ關スル件左ノ通定ム

奏任及判任待遇統監府監獄職員ノ加俸額ニ付テハ明治四十年統監府令第十三號第一條ノ規定ヲ準用ス但シ六級俸以下ノ判任待遇統監府教師、統監府教師及統監府藥劑師ハ十八圓トス

統監府看守及統監府女監取締ノ加俸額ハ月俸十五圓以上ハ月俸ト同額トシ月俸十四圓以下ハ十五圓トス

統監府巡查ノ加俸ハ其ノ額前項ニ同シ

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●文官俸給支給細則

二十五年十二月 勅令第十一號

改正

三八年大令三〇號

文官俸給支給細則左ノ通り相定メ明治二十六年一月一日ヨリ施行ス

但明治二十三年當省令第十號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第二輯 官規 第一章 官等等級及俸給



文官俸給支給細則

第一條 高等文官及判任文官ノ俸給ハ各廳左ノ日割定日ニ於テ支給スルモノトス但休日ニ當ルトキハ順延トス

每月二十一日 外務省及其所管經費ニ屬スル官廳

内務省及其所管經費ニ屬スル官廳

大藏省及其所管經費ニ屬スル官廳

陸軍省及其所管經費ニ屬スル官廳

海軍省及其所管經費ニ屬スル官廳

司法省及其所管經費ニ屬スル官廳

文部省及其所管經費ニ屬スル官廳

農商務省及其所管經費ニ屬スル官廳

每月二十三日 遞信省及其所管經費ニ屬スル官廳

〔拓殖務省及其所管經費ニ屬スル官廳〕

第二條 非職廢官退官退職及死亡ノ時ハ當月分ノ俸給全額ヲ其際支給スルモノトス

高等官官等俸給令第十七條ニ依リ殘務調理ヲ命セラレタル者其調理翌月以降ニ涉リ至月分ヲ支給スルモノ

ハ第一條ノ支給定日ニ依ル但最後ノ月ハ日割ヲ以テ調理終了ノ日迄ヲ其際支給ス

第三條 轉任者ノ俸給ハ其發令ノ當日迄ヲ甲廳ノ負擔トシ翌日以降ノ分ハ乙廳ニ於テ之ヲ支給スルモノトス

第四條 他廳へ轉任シタルモノハ第一條ノ支給日ニ拘ラス日割計算ヲ以テ發令ノ當日迄ニ係ル俸給ヲ其際支給ス

第五條 他廳へ轉任ノ際俸給過渡アルトキハ前任廳ニ於テ其際之ヲ追徴スヘシ

第六條 俸給支給定日後他廳ヨリ轉任シ來リタルトキハ後任廳ニ於テ其月ノ殘日數ニ對スル俸給ヲ其際支給スルモノトス

第七條 高等官官等俸給令第十八條ニ依リ減給ノ者非職廢官退官退職及死亡ノ時ハ其減給ニ係ル當月分ノ全額ヲ支給スルモノトス

第八條 傷疾忌引若クハ特旨賜暇ノ場合ハ病氣若クハ私事故障ト連續スルモ減俸トナルヘキ闕勤日數中ニ算入セス又病氣ト私事故障ト連續スル場合ニ於テハ之ヲ通算セス

第九條 俸給ヲ支給スルニ當リ計算上錢位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨ルモノトス

日割計算ノ法ハ其月ノ現日數ニ依ルヘシ

●官制及俸給令改正ノ際俸給支給方 二十四年八月 勅令第六十五號

朕茲ニ官制及俸給令改正ノ際俸給支給方ノ件ヲ裁可ス

官制又ハ俸給令ノ改正ニ依リ新ニ給スヘキ俸給ハ新令施行ノ當日ヨリ計算ス

●陸海軍ニ召集セラレタル文官俸給ニ關スル制 三十七年九月 勅令第二百六號

朕文官ニシテ陸海軍ニ召集セラレタル者ノ俸給支給ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

文官ニシテ陸海軍ニ召集セラレ陸海軍ニ於テ俸給ヲ受クル者ハ其ノ間文官俸給ノ支給ヲ停止ス但シ陸海軍ニ於テ受クル俸給ノ額文官俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ハ奉職官廳ニ於テ文官俸給ヨリ之ヲ補給ス

附則

明治二十四年勅令第六十二號及明治二十七年勅令第二百二十九號ハ之ヲ廢止ス

●准士官以下ノ受恩給者文官ニ任用ノ場合俸給支給方 三十三年三月 勅令第三百三十二號

朕陸海軍准士官以下ニシテ恩給ヲ受クル者文官判任以上ニ任セラレタル場合ニ於ケル俸給ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸海軍准士官以下ニシテ恩給ヲ受クル者文官判任以上ニ任セラレタル場合ニ於テハ其ノ受クヘキ俸給額ヨリ恩給額ヲ控除シタル額ヲ支給スルモノトス



准士官以下ノ受恩給者文官ニ任用ノ場合俸給計算方

三十三年四月  
大令第十九號

本年勅令第三百二十二號ニ依ル俸給支給方ハ高等官ニ在テハ年俸月割額判任官ニ在テハ月俸額ヨリ恩給年額十二分ノ一ニ相當スル額ヲ毎月控除支給スルモノトス但日割計算ヲ以テ恩給ヲ支給スルトキハ其日割支給額ニ相當スル額ヲ控除支給スルモノトス  
俸給ノ日割支給ヲ要スルトキハ恩給モ亦當月分ノ現日數ヲ以テ計算控除スルモノトス

准士官以下ノ受恩給者文官ニ任用ノ場合諸給與及納金計算方

三十三年六月  
勅令第二百七十三號

朕准士官以下ニシテ恩給ヲ受クル者文官判任以上ニ任セラレタル場合ニ於ケル諸給與及納金計算方ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

准士官以下ニシテ恩給ヲ受クル者文官判任以上ニ任セラレタル場合ニ於テ俸給ヲ基礎トシテ計算スルモノノ中恩給及死亡賜金ハ其ノ受クヘキ俸給額ヲ基準トシテ之ヲ計算シ休職俸給及減俸ハ其ノ受クヘキ俸給額中ヨリ恩給額ヲ控除シタル額ヲ基準トシテ之ヲ計算ス  
官吏遺族扶助法第二條ノ納金ハ恩給額ヲ控除シタル額、休職給額又ハ減俸殘額ヲ基準トシテ之ヲ計算ス

雇員俸給支給例

二十四年三月  
達第八百五十八號

大藏省雇員俸給支給例

第一條 雇員ノ月俸ハ毎月二十一日(休日ニ當ルトキハ順延トス)日給ハ前月二十六日ヨリ其ノ月二十五日マテ分ヲ其ノ月二十六日ヨリ末日マテニ於テ之ヲ支給スルモノトス  
本廳外在勤者ノ日給ハ地方ノ狀況ニ依リ適宜區分支給スルコトヲ得  
第二條 月俸者ノ俸給ハ判任官ノ支給方法ニ準據シテ支給ス但シ解雇ノ月ハ日割ヲ以テ計算ス

第三條 日給者ノ俸給ハ上廳ノ日數ニ應ジ之支給ヲス

第四條 軍籍ニアルモノ戰時其他ノ場合ニ於テ召集セラレタルトキハ召集ニ應シタル翌日ヨリ解隊上廳ノ前日迄俸給ヲ停止ス

第五條 日給者上廳セサルモ左ノ場合ニ於テハ俸給ヲ支給ス

- 一 一般又ハ特ニ大臣ノ達ニ係ル休日(休日前後上廳セサルモノハ之ヲ除ク)及暑中休暇七日以内
- 二 公務ノ爲メ傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルトキ
- 三 父母ノ祭日
- 四 忌服又ハ檢疫事項ニ依リ上廳スル能ハサルトキ

第六條 備外國人ノ俸給ハ其ノ備入契約書ニ據リ支給スルモノトス

第七條 雜給ニ屬スル備巡視取者寫字生及給仕小使馬丁及小者ノ類ハ總テ前各條ノ支給方ニ據ルモノトス但給仕以下ハ月給者ト雖モ支給方ハ日給者ノ例ニ據ル

第八條 作業場雇員以下ノ俸給支給方法ハ別ニ定ムル所ニ據ル

(参照)

明治三十九年一月大藏大臣通牒ニ基キ雇員俸給支給方ニ關シ本例ニ依ル

備員俸給及備員其ノ他ニ給スル諸手當支給方

二十六年二月  
勅令第七號

朕備員俸給及備員其他ニ給スル諸手當支給方ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
備員俸給及備員其他ニ給スル諸手當ニシテ月額ヲ以テ支給スルモノハ毎月下旬ニ之ヲ支給スルコトヲ得

各廳雇等日給ノ者休暇日ニモ給額支給

八年六月  
太政官達第四百十四號

院省(使)廳府縣



各應雇出仕等日給ノ者は迄(一六)并祝日祭日其他一般休暇日ニ其給額ヲ與へ或ハ不與等一定無之候處本年七月一日ヨリ以後ハ日數ヲ限リ雇入ノ者又ハ諸職人等ヲ除クノ外ハ却テ右休暇日ト雖モ給額可相渡此旨相達候事

在外指定學校職員俸給規則 四十二年十一月 統令第四十八號

在外指定學校職員俸給規則左ノ通定ム

在外指定學校職員俸給規則

第一條 奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル中學校、高等女學校及實業學校ノ職員ノ年俸ハ第一號表ニ依ル  
第二條 判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル中學校、高等女學校及實業學校ノ職員ノ月俸ハ第二號表ニ依ル  
第三條 小學校若ハ實業補習學校ノ學科ヲ授クル學校ノ職員ノ月俸ハ第三號表ニ依ル  
第四條 月俸三十圓未満ノ職員ニハ級俸ニ拘ラス適宜ノ金額ヲ定メ之ヲ支給スルコトヲ得但シ各所定ノ最低俸給額ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 一級俸ヲ受ケ在職三箇年以上ニ至リ特ニ功勞アル職員ニハ本俸三分ノ一以下ノ加俸ヲ給スルコトヲ得

第六條 教員ニシテ舍監ヲ兼スル者ニハ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

第七條 二校以上ノ職員ヲ兼スル者ニハ其ノ俸給ヲ分割シテ關係學校ノ經費中ヨリ之ヲ支給スルコトヲ得

第八條 陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受クル職員ニハ其ノ間俸給ヲ支給セス但シ其ノ俸給額職員ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給スルコトヲ得

第九條 俸給ハ每級在職一年以上ニ至ラサレハ増給スルコトヲ得但シ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル職員ニシテ年俸六百圓以下ノ者及判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル職員ニシテ月俸三十五圓以下ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第十條 退職後一年以内ニ再任セラルル場合又ハ轉任ノ場合ニ於テ支給スル俸給ハ前職ノ俸給額ニ相當スル俸給以下トス若相當額ナキトキハ其ノ最近キ上級ノ俸給以下トス但シ前職等級在職一年ヲ踰ヘタル者ニ在リテハ一級ヲ進ムルコトヲ得

前項ノ規定ハ年俸七百圓以下又ハ月俸四十圓以下ノ俸給ヲ支給スル場合ニハ之ヲ適用セス

第十一條 休職者ニハ俸給ヲ支給セス但シ戰時又ハ事變ニ際シ召集セラレタルカ爲休職ト爲リタル場合ニハ俸給ノ一部、其ノ他特別ノ事情アル場合ニハ其ノ三分ノ一以下ヲ給スルコトヲ得

第十二條 特別ノ事情ニ因リ第九條及第十條ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ理事官ハ統監ノ指揮ヲ受ケ特別ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 在職中死亡シタルトキハ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ年俸三分ノ一、判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ月俸三箇月分ヲ其ノ遺族ニ給ス休職者亦同シ但シ遺族トハ官吏遺族扶助法ニ於テ遺族ト稱スル者ヲ謂フ

附則

本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十九年統監府令第五十三號在外指定學校職員俸給規則ハ之ヲ廢止ス

第一號表

職名	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級	十四級
學校長	三千三百圓	二千四百圓	二千四百圓	二千四百圓	二千四百圓	二千四百圓	二千四百圓	二千四百圓	二千四百圓	二千四百圓	二千四百圓	二千四百圓	二千四百圓	二千四百圓
教諭	二千四百圓	一千八百圓	一千六百圓	一千五百圓	一千四百圓	一千三百圓	一千二百圓	一千二百圓	一千二百圓	一千二百圓	一千二百圓	一千二百圓	一千二百圓	一千二百圓

教諭十四級俸ハ女子ニシテ教諭タル者ニ限ル

第二號表

第二輯 官規 第一章 官等等級及俸給



學校長、教諭	百圓	八十圓	七十圓	六十圓	五十圓	四十五圓	四十圓	三十五圓	三十圓	二十五圓	二十圓	十五圓
助教諭、書記	七十五圓	六十圓	五十圓	四十五圓	四十圓	三十五圓	三十圓	二十五圓	二十圓	十五圓		

第三號表

學校長、訓導	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級
准 訓 導	三十四圓	二十五圓	二十四圓	十五圓	十二圓					

統監附陸海軍武官給與制 三十九年二月 勅令第十六號

朕統監附陸海軍武官ノ給與ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
統監附陸海軍武官ニハ在勤俸ヲ給ス其ノ年額ハ將官三千五百圓以内、佐官二千圓以内トス  
統監府及理事廳職員給與令第五條及第七條ノ規定ハ統監附陸海軍武官ニ關シ之ヲ準用ス  
本令其ノ他陸海軍ノ規定ニ依ル諸給與ハ統監府ニ於テ之ヲ支給ス

韓國駐劄陸軍部隊給與令 三十九年十月 勅令第二百七十九號 改正 四〇年勅令三號、一三號、二五三號、三二七號、四二年、六八號、三四八號

朕滿洲韓國樞太駐劄陸軍部隊給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
第一條 滿洲韓國樞太ニ駐劄スル陸軍部隊及之ニ屬スル軍人軍屬ノ給與ハ本令ニ依ル軍人軍屬以外ノ者ニシテ本令中特ニ定メタル者ノ給與亦同シ  
本令ニ明文ナキモノハ陸軍給與令ノ規定ヲ適用ス  
第二條 軍隊(獨立守備大隊ヲ含ム以下同シ)外ノ委任經理ニ係ル給與ニ關シテハ陸軍給與令ノ規定ニ拘ラス陸軍大臣ノヲ定ム

第二條ノ二 下士以下ニシテ獨立守備大隊ニ屬スル者ノ給料ハ別表ニ依ル但シ志願ニ依ラサル配屬者ニシテ配屬當時別表ノ給料ヨリ多額ノ給料ヲ受クル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス  
別表ノ給料ヲ受クル者ニハ陸軍給與令ニ依ル給料、加俸及本令ニ依ル増給ハ之ヲ給セズ  
獨立守備大隊ニ屬スル營内居住下士以下ノ給料ハ每月下旬ニ之ヲ給スルコトヲ得  
第三條 傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ノ俸給又ハ給料ハ之ヲ減給セサルヲ例トス  
第四條 准士官以上營外居住下士以下及軍屬ニハ俸給又ハ給料ノ十分ノ三營内居住下士以下ニハ給料ノ十分ノ五ヲ増給ス但シ傭人ニ在リテハ陸軍大臣ノ定メタル者ニ限ル  
豫備役、後備役又ハ補充兵役ニ在リテ勤務演習ノ爲召集中ノ者ニハ増給ヲ給セズ  
滿洲韓國ニ駐劄スル軍隊附營内居住各兵科下士兵卒ニシテ通譯ヲ命セラレタル者ニハ月額一圓二十錢以内ノ通譯加俸ヲ給ス其ノ支給區分ハ陸軍大臣ノヲ定ム  
第四條ノ二 陸軍給與令第十八條第三項ノ宅料ハ獨立守備大隊ニ屬スル者ニハ之ヲ給セズ  
第四條ノ三 下士退營賜金ノ定額ハ陸軍給與令第七表ノ二中内地ノ額ニ依ル  
第五條 軍人軍屬ニハ糧食ヲ給ス其ノ區分ハ左ノ各號ニ依ル但シ雇員傭人ニ在リテハ陸軍大臣ノ定メタル者ニ限ル  
一 匪徒鎮壓等ノ爲行動ヲ爲ス場合ニハ現品ヲ所屬部隊ニ交付ス但シ憲兵集團ヲ爲サスシテ行動ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス  
二 軍隊下士以下ニ在リテハ現人員ニ應シ定額ヲ該隊ニ交付ス  
三 病院附營内居住下士以下及入院患者ニ在リテハ現人員ニ應シ定額ヲ病院ニ交付ス  
四 未決監既決監ニ入監中ノ者ニ在リテハ現人員ニ應シ定額ヲ監獄ニ交付ス監獄ニ於テ營倉處分執行中ノ者亦同シ  
五 第一號乃至第四號ニ屬セサル者ニハ食料ヲ給ス但シ時宜ニ依リ現品ヲ給スルコトヲ得



軍人軍屬以外ノ者ニシテ糧食ヲ給與スルノ必要アルトキハ前項ニ準シ之ヲ給スルコトヲ得  
 第六條 馬糧ハ現品ヲ給ス但シ乘馬本分者ノ馬匹ニ係ル馬糧ハ代金ヲ以テ給スルコトヲ得  
 第七條 乘馬本分者ノ馬匹ニ係ル繋畜料ハ之ヲ停止シ該馬匹ノ繋畜ニ要スル諸費ハ官費トス  
 馬匹手當ハ内地ニ歸還シタル上之ヲ給ス

第八條 馬匹ニ係ル裝蹄別毛其ノ他器具ノ保績等ハ總テ實費トス

第九條 下士以下所要ノ被服及駐箭部隊備附ノ被服ハ現品ヲ以テ交付シ其ノ保績ニ係ル諸費ハ實費トス但シ駐箭師團及樺太步兵隊下士以下所要ノ被服ニ付テハ駐箭ノ爲要スルモノニ限ル

第十條 軍屬ニハ陸軍大臣ノ定メタル者ニ限リ所要ノ被服ヲ支給又ハ貸與ス但シ現品ニ代ヘ被服料ヲ給スルコトヲ得

第十一條 軍人軍屬ニハ必要ニ應シ宿舍及家具ヲ貸與シ防寒用薪炭ヲ支給スルコトヲ得但シ薪炭ハ代金ヲ以テ給スルコトヲ得

第十二條 軍隊ノ消耗品ハ總テ現品ヲ給ス

第十三條 軍隊ノ陣營具ハ初度現品ヲ備付ケ其ノ保績ニ要スル費用ハ實費トス

第十四條 傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル軍人軍屬ノ樂餌ハ總テ官給ス軍人軍屬以外ノ者ト雖時宜ニ依リ官給スルコトヲ得

第十五條 軍人軍屬死亡シ官ニ於テ埋葬スルトキハ其ノ埋葬又ハ遺骨遺物等輸送ニ係ル諸費ハ官費トス  
 軍人軍屬以外ニシテ前項ノ必要アルトキ亦同シ

第十六條 駐箭部隊ニ屬スル者ニ非サルモ公務ヲ以テ駐箭地ニ往復スル軍人軍屬ノ給與ハ本令ヲ適用ス但シ

第四條ハ此ノ限ニ在ラス  
 第十七條 糧食及馬糧ノ定額、本令ニ依リ給與スル物件ノ種類、員數、保存期限並給與ノ支給區分、停止及減額ハ陸軍大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ明治三十九年十一月十六日ヨリ之ヲ施行ス  
 明治三十二年勅令第二百二十五號ハ之ヲ廢止ス

(別表)

名	稱	等	級	月	額
曹長	並相	一	等	二十	三十四錢
軍曹	並相	二	等	十七	四十四錢
二等兵	並相	三	等	十五	四十七錢
一等兵	並相	四	等	十二	四十九錢
上等兵	並相	五	等	十	四十二錢
卒	並相	六	等	九	四十六錢



第二章 手當 諸給 旅費

●傳染病豫防救治ニ従事スル官吏准官吏及備員月手當

支給制 二十八年六月 勅令第七十一號

朕傳染病豫防救治ニ従事スル官吏准官吏及備員ニ手當支給ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
 傳染病豫防救治ニ従事スル官吏准官吏及備員ニシテ專ラ該病者又ハ病汚染ノ虞アル物品ニ接近スル者ニハ  
 各其ノ俸給又ハ給料月額三分一以内ノ月手當ヲ給スルコトヲ得  
 但府縣ノ收入ヨリ俸給又ハ給料ヲ受クル官吏准官吏及備員ニシテ本官職ノ資格ヲ以テ従事スル者ニ給スル  
 手當並ニ明治十三年第三十四號布告傳染病豫防規則第十四條ニ依リ檢疫委員ト爲ル者ニ給スル手當ハ府縣  
 ノ負擔トス

●受恩給者召集中手當支給制 三十八年六月 勅令第七十九號

朕政府ヨリ恩給ヲ受クル者ニ召集中手當ヲ支給スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
 政府ヨリ恩給ヲ受クル者戰時又ハ事變ニ際シ陸海軍ニ召集セラレ恩給ヲ停止セラレタル場合ニ於テ其ノ俸給  
 ノ額恩給ノ額ヨリ寡少ナルトキハ手當トシテ其ノ不足額ヲ支給ス

附則 本令ハ開戦ノ始ニ遡リテ之ヲ適用ス

●司法廳、裁判所及監獄職員ノ差額手當ニ關スル制 四十二年十月 勅令第二百五十號

朕統監府司法廳、統監府裁判所及統監府監獄ノ職員手當ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府裁判所令施行ノ際韓國ノ法部、裁判所又ハ監獄ノ職員タル者ヲ統監府司法廳、統監府裁判所又ハ統監  
 府監獄ノ職員ニ任用シタル場合ニ於テ其ノ受クヘキ本俸及加俸ノ總額カ任用ノ際韓國政府ヨリ受ケタル本俸  
 及手當ノ總額ヨリ少キモノニ付テハ明治四十五年三月限リ手當トシテ其ノ差額ヲ支給スルコトヲ得

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府郵便所長手當額 四十年二月 勅令第二號

統監府郵便所長手當金年額左之通定ム

手當金年額

等	級一	級二	級三	級四	級五	級六	級七	級八	級九	級十
年	額 六百四	四百五十	三百四	百五十	百二十四	九十六	七十二	六十	四十五	三十四

●年額又ハ月額ノ手當金支給方 二十二年一月 大藏省令第一號

年額又ハ月額ノ手當金ハ毎月ノ年額ノモノハ末日休日ニ當ル之ヲ支給シ任轉免等ノ場合ハ其月ノ現日數ニ由リ日割  
 ヲ以テ計算ス  
 但明治十六年當省達第五十七號ハ廢止ス

●宿直又ハ徹夜勤務者食料及特別文具ニ關スル制 二十四年三月 勅令第二十七號

朕明治六年大藏省達第六十一號及明治二十二年閣令第四號廢止ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
 明治六年大藏省達第六十一號及明治二十二年閣令第四號ハ本年三月三十一日限リ廢止ス但宿直又ハ徹夜勤  
 務使役ノ者ニハ適宜食料<sup>現品又ハ代料</sup>ヲ給與シ又特別用ノ文具ハ官廳ニ備ヘテ使用セシムルコトヲ得

第二輯 官規 第二章 手當 諸給 旅費



●在外指定學校職員手當及舍宅給與方

三十九年十二月  
統令第五十四號

在外指定學校職員手當及舍宅ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 在外指定學校職員ニハ俸給ノ外手當及舍宅ヲ給ス但シ舍宅ハ當分ノ内舍宅料ヲ給シテ之ニ代フルコトヲ得

第二條 手當ノ額ハ俸給ノ十分三以上舍宅料ノ額ハ五圓以上ニ於テ居留民團又ハ學校設立者若ハ其ノ代表者ニ於テ之ヲ定メ理事官ノ認可ヲ受クヘシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ明治四十年三月三十一日ヲ限り明治三十九年ハ統監府令第三十號ノ規定ニ依ルコトヲ得

●統監府及所屬官署職員宿舍料支給方

四十年四月  
勅令第四百十九號

朕統監府及所屬官署職員宿舍料ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府及所屬官署職員ニハ宿舍料ヲ給ス但シ官舎ニ居住セシムルモノハ此ノ限ニ在ラス前項宿舍料ノ額ハ統監之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●看守、女監取締非番勤務手當、宿料及特別手當支給規則

四十二年十月  
統訓第三十二號

統監府看守及統監府女監取締非番勤務手當、宿料及特別手當支給規則左ノ通定ム

統監府看守及統監府女監取締非番勤務手當、宿料及特別手當支給規則

第一條 統監府看守及統監府女監取締ニシテ非番ノ日ニ於テ勤務ヲ爲シタル者ニハ左ノ區別ニ依リ非番勤務手當ヲ支給ス

一日十二時間以上勤務ノ者	一日三時間以上十二時間未満勤務ノ者
日本人	日本人
韓國人	韓國人
五十錢	三十錢

三時間未満勤務ノ者ニハ非番勤務手當ヲ支給セズ

第二條 統監府看守及統監府女監取締ニハ左ノ區別ニ依リ宿料ヲ支給ス

- 一 京城監獄在勤者 一箇月 金 十圓
- 一 永登浦監獄在勤者 一箇月 金 七圓
- 一 平壤監獄在勤者 一箇月 金 七圓
- 一 京城監獄仁川分監在勤者 一箇月 金 七圓
- 一 咸興監獄清津分監在勤者 一箇月 金 六圓
- 一 平壤監獄新義州分監在勤者 一箇月 金 六圓
- 一 大邱監獄在勤者 一箇月 金 六圓
- 一 釜山監獄在勤者 一箇月 金 六圓
- 一 光州監獄木浦分監在勤者 一箇月 金 六圓
- 一 咸興監獄元山分監在勤者 一箇月 金 五圓
- 一 其ノ他ノ監獄及分監在勤者 一箇月 金 五圓

宿料支給ノ方法ニ關シテハ統監府裁判所及統監府監獄職員ノ例ニ依ル



第三條 統監府看守及統監府女監取締ニシテ通譯其ノ他特別ノ技能ヲ有スル者ニハ左ノ區別ニ依リ特別手當ヲ支給ス

一〇八

日	木	人	二十	四	十	五	四	十	四	七	四	五	四	三	四
韓	國	人	七	四	六	四	五	四	四	四	三	四	三	四	四

特別手當支給ノ方法ニ關シテハ俸給支給ノ例ニ依ル  
附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●看守、女監取締給與品及貸與品規則

四十二年十月  
統令第五十三號

統監府看守、統監府女監取締給與品及貸與品規則左ノ通定ム

統監府看守、統監府女監取締給與品及貸與品規則

第一條 統監府看守、統監府女監取締ニ給與スル品目、數量及供用期限ハ左ノ如シ

品目	統監府看守		統監府女監取締		事由
	數量	供用期限	數量	供用期限	
冬服	二組	三年	二組	三年	初年ニ一組ヲ次年ニ尙一組ヲ給ス
夏服	二組	四年	二組	四年	
甲種外	二組	二年	二組	二年	雨覆付
乙種外	二組	二年	二組	二年	
雨種外	二組	二年	二組	二年	雨覆付

第二條 統監府看守、統監府女監取締ニ貸與スル品目及數量左ノ如シ

品目	數量	供用期限	事由
帽	一箇	一年	徽章付
日覆	一箇	一年	
短靴	一組	一年	徽章付
グトル	一組	一年	
下襟	二組	二年	徽章付
手套	二組	二年	
靴	二組	二年	徽章付
冬襪	二組	二年	
冬襪	二組	二年	徽章付
夏襪	二組	二年	

名稱	數量	供用期限	事由
統監府看守	一箇	一年	徽章付
統監府女監取締	一箇	一年	
刀	一箇	一年	徽章付
刀	一箇	一年	
刀	一箇	一年	徽章付
帶	一箇	一年	
肩章	一組	一年	徽章付
外套	一箇	一年	
縮革	一箇	一年	徽章付
手帳	一箇	一年	
捕繩	一箇	一年	徽章付
呼子笛	一箇	一年	

前項ノ外必要アル場合ニハ拍車又ハ短袴ヲ貸與スルコトヲ得

第三條 給與品ハ現品ヲ以テ給ス但シ左記ノ給與品ニ限リ各相當ノ代料ヲ以テ給與スルコトヲ得

短靴	一組
グトル	一組
下襟	一組
手套	一組

第二輯 官規 第二章 手當 諸給 旅費



靴 下 一組  
 冬襦衣袴下 一組  
 夏襦衣袴下 一組  
 前項ニ依リ支給スヘキ金額ハ各品ヲ通シタル年額ヲ十二分シテ毎月五日之ヲ給ス但シ休應日ニ當ルトキハ順次之ヲ繰下クルモノトス

第四條 給與品ノ支給期ハ左ノ如シ

- 一 夏服、帽、日覆、短靴、グートル、夏襦衣、袴下ハ五月
- 一 冬服、外套、雨衣、冬襦衣、袴下ハ九月
- 一 下襟ハ一月、三月、五月、七月、九月、十一月
- 一 手套ハ五月、十一月
- 一 靴下ハ毎月

第五條 給與品ノ供用期限ハ支給シタル翌月ヨリ起算ス

第六條 支給期日以後ニ於テ給與スヘキ場合ニハ還納品ヲ以テ相當期限ヲ定メ之ヲ給與スルコトヲ得

第七條 免職、轉職、退職又ハ死亡ノ際ハ其ノ貸與品及供用期限内ニ在ル給與品ヲ還納セシム

第八條 貸與品又ハ供用期限内ニ在ル給與品ヲ毀損又ハ紛失シタルモノアルトキハ代品ヲ貸與又ハ給與ス其ノ過失怠慢ニ出テタルモノナルトキハ代料辨償ノ責ニ任セシム

前項ニ依リ辨償セシムヘキ金額ハ典獄之ヲ定ム

第九條 給與品ノ修補ハ自辨トス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●監獄備人給與品及貸與品規程

四十二年十月  
 統令第五十四號

統監府監獄備人給與品及貸與品規程左ノ通定ム

統監府監獄備人給與品及貸與品規程

第一條 監丁、取者及馬丁ニ給與スル品目、數量及供用期限ハ左ノ如シ

品目	監丁		取者		馬丁		事由
	數量	供用期限	數量	供用期限	數量	供用期限	
冬服	一組	八箇月	一組	八箇月	一組	八箇月	
夏服	二組	四箇月	二組	四箇月	二組	四箇月	
外套	一箇	二年	一箇	二年	一箇	二年	雨覆付
帽	一箇	一年	一箇	一年	一箇	一年	
日覆	一箇	四箇月	一箇	一箇	一箇	一箇	
短靴	二組	一年	二組	一年	一組	一年	
底革足袋	一	一	一	一	二組	六箇月	
グートル	一組	一年	一組	一年	一組	一年	
靴下	二組	一箇月	二組	一箇月	二組	一箇月	



冬襦衣袴下	二組	八箇月	二組	八箇月	二組	八箇月
夏襦衣袴下	二組	四箇月	二組	四箇月	二組	四箇月

第二條 監丁、馭者及馬丁ニハ必要ニ依リ外套縮革、手帳、捕繩及呼子笛ヲ貸與スルコトヲ得  
 第三條 給與品ハ現品ヲ以テ給ス但シ左記ノ給與品ニ限リ各相當ノ代料ヲ以テ給與スルコトヲ得

- 短靴 一組
- 底革足袋 一組
- グートル 一組
- 靴 下 一組
- 冬襦衣袴下 一組
- 夏襦衣袴下 一組

前項但書ニ依リテ支給スヘキ金額ハ各品ヲ通シタル年額ヲ十二分シテ毎月五日之ヲ給ス但シ休職日ニ當ルトキハ順次之ヲ繰下クルモノトス

第四條 給與品ノ支給期ハ左ノ如シ  
 一 夏服、帽、日覆、短靴、底革足袋、グートル、夏襦衣、袴下ハ五月  
 一 冬服、外套、冬襦衣、袴下ハ九月  
 一 靴下ハ毎月

第五條 給與品ノ供用期限ハ支給シタル翌月ヨリ起算ス  
 第六條 支給期日以後ニ於テ給與スヘキ場合ニハ還納品ヲ以テ相當期限ヲ定メ之ヲ給與スルコトヲ得  
 期日以後ニ支給シタル給與品ニシテ其ノ次ノ支給期日ニ至リテ供用期限尙存スルモノハ之ヲ還納セシム

第七條 免職、轉職、退職又ハ死亡ノ際ハ其ノ貸與品及供用期限内ニ在ル給與品ヲ還納セシム  
 第八條 貸與品又ハ供用期限内ニ在ル給與品ヲ毀損又ハ紛失シタルモノアルトキハ代品ヲ貸與又ハ給與ス其ノ過失怠慢ニ出テタルモノナルトキハ代料辨償ノ責ニ任セシム

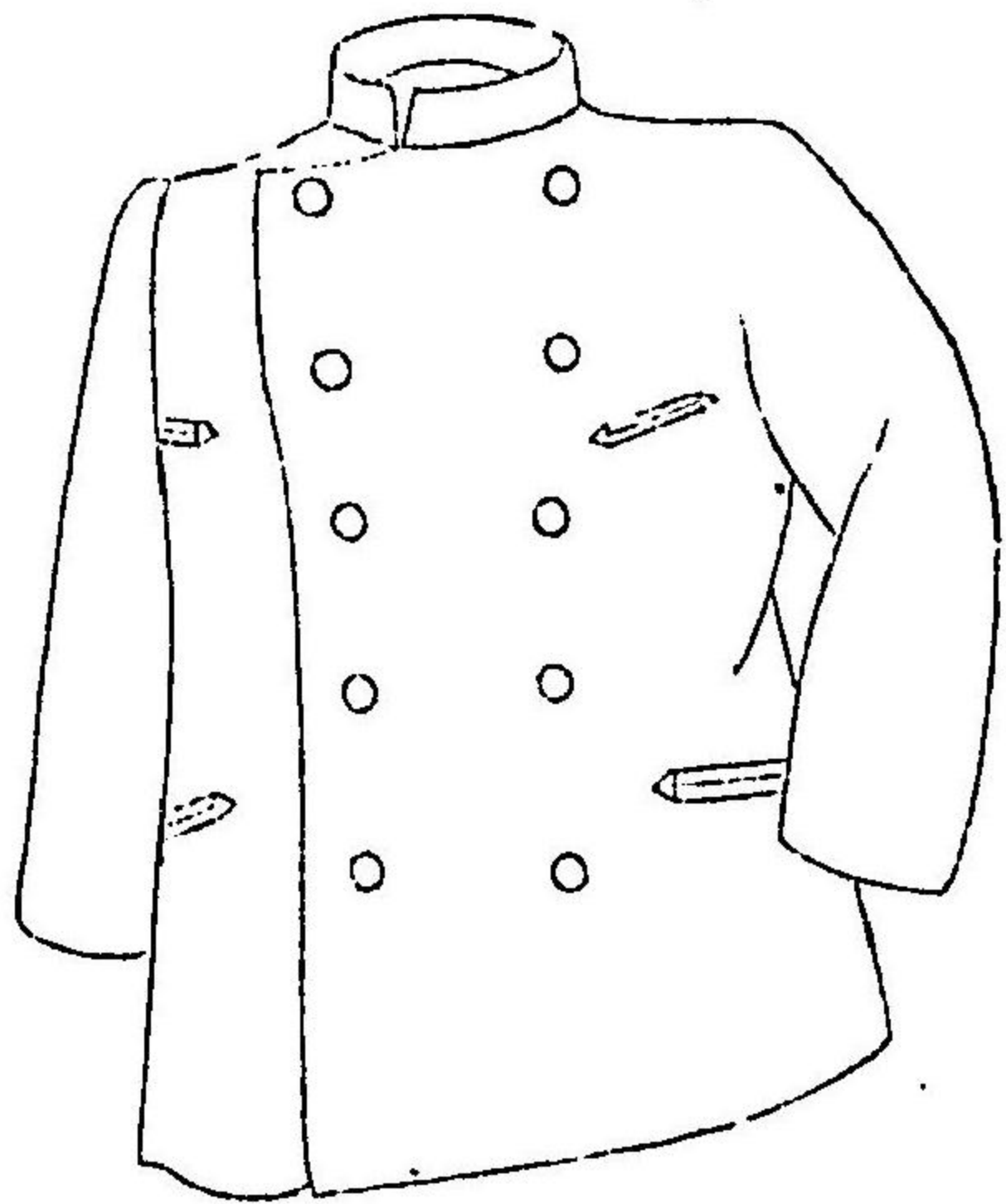
前項ニ依リ辨償セシムヘキ金額ハ典獄之ヲ定ム  
 第九條 給與品ノ修補ハ自辨トス  
 第十條 被服ノ製式ハ別表ノ如シ  
 第十一條 監丁、馭者及馬丁以外ノ監獄常備人ニシテ被服其ノ他ノ物品ヲ給與又ハ貸與スヘキ必要アルトキハ典獄ハ本規程ノ定ムル所ニ準シテ其ノ一部又ハ全部ヲ給與又ハ貸與スルコトヲ得

附則  
 本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 (別表)

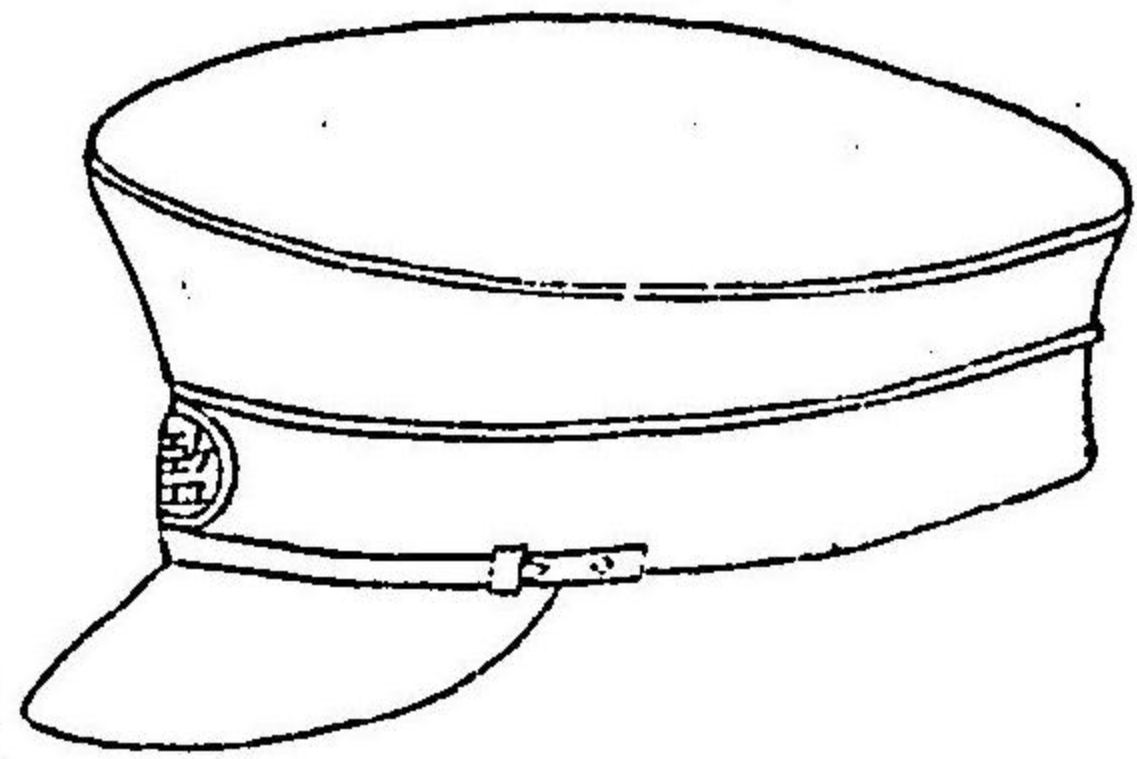
名	日覆	名	帽		名	名	名	名	名	名	名
			馬丁	馭者							
茶褐布	茶褐布	地	同	茶褐絨	同	同	同	同	同	同	同
帽ノ形ニ從ヒ上部ノミヲ覆フ	帽ノ形ニ從ヒ上部ノミヲ覆フ	製	同	下部高サ一寸三分 上部高サ一寸三分 下部高サ一寸三分	同	同	同	同	同	同	同
圖ノ如シ	圖ノ如シ	同	同	下部高サ一寸三分 上部高サ一寸三分 下部高サ一寸三分	同	同	同	同	同	同	同



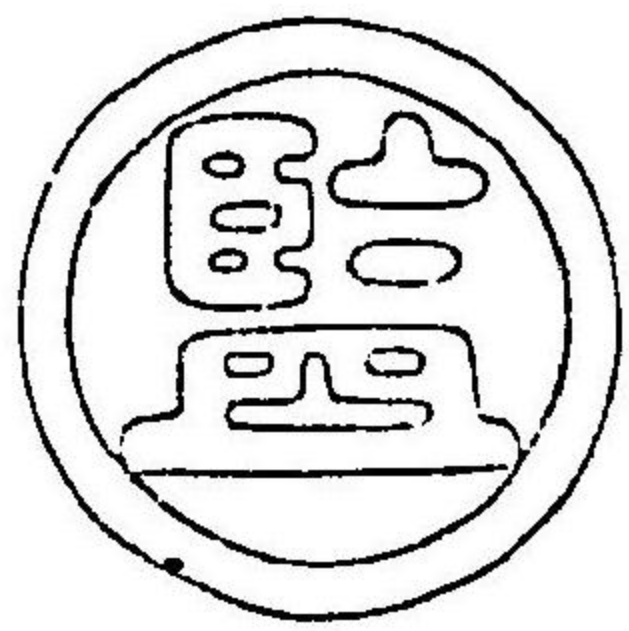
衣  
(者馭)



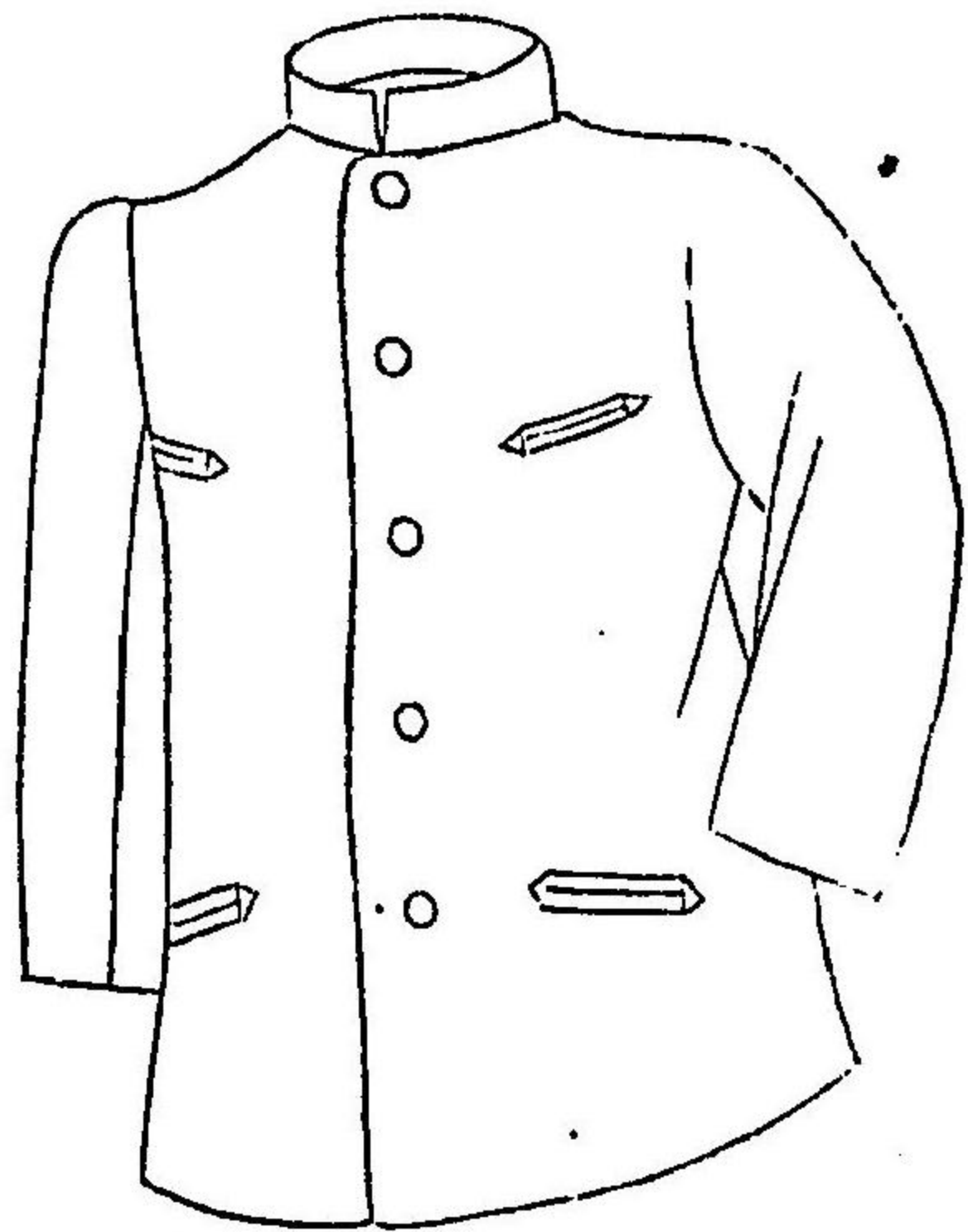
帽



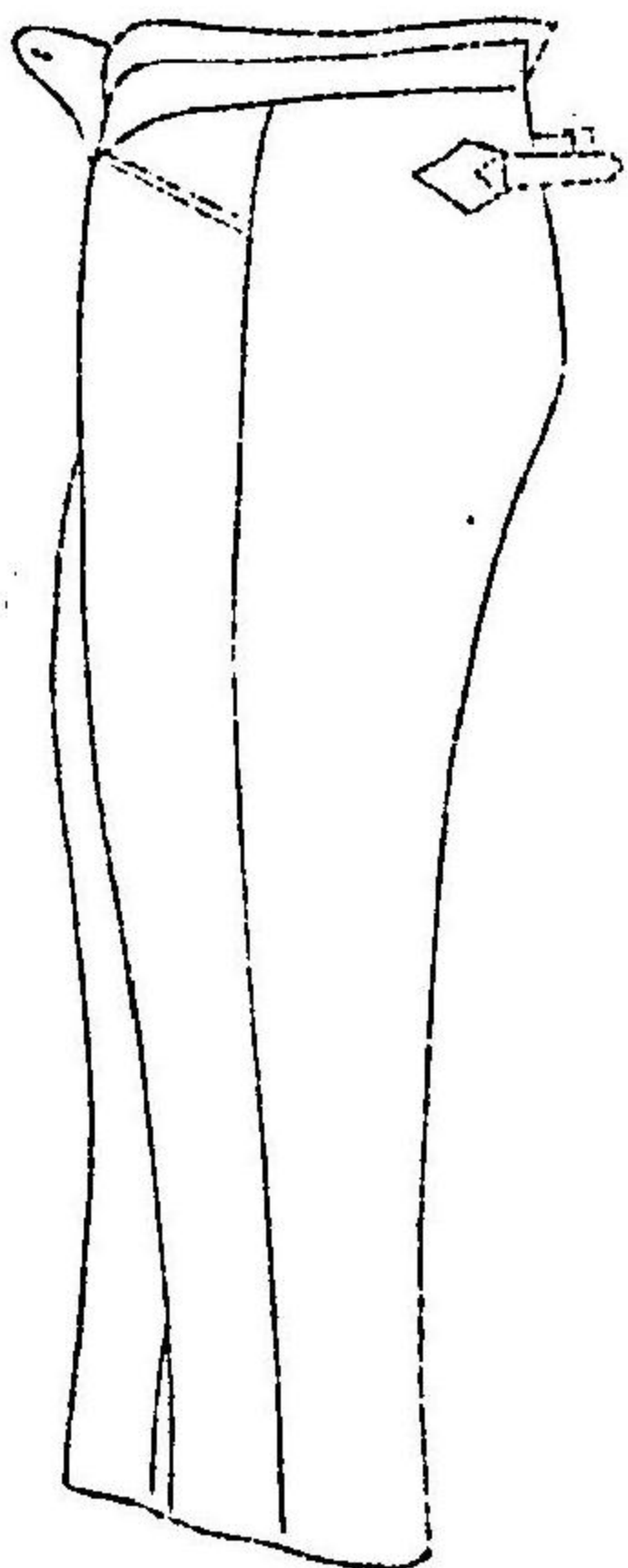
章帽



衣  
(丁馬) (丁監)



袴

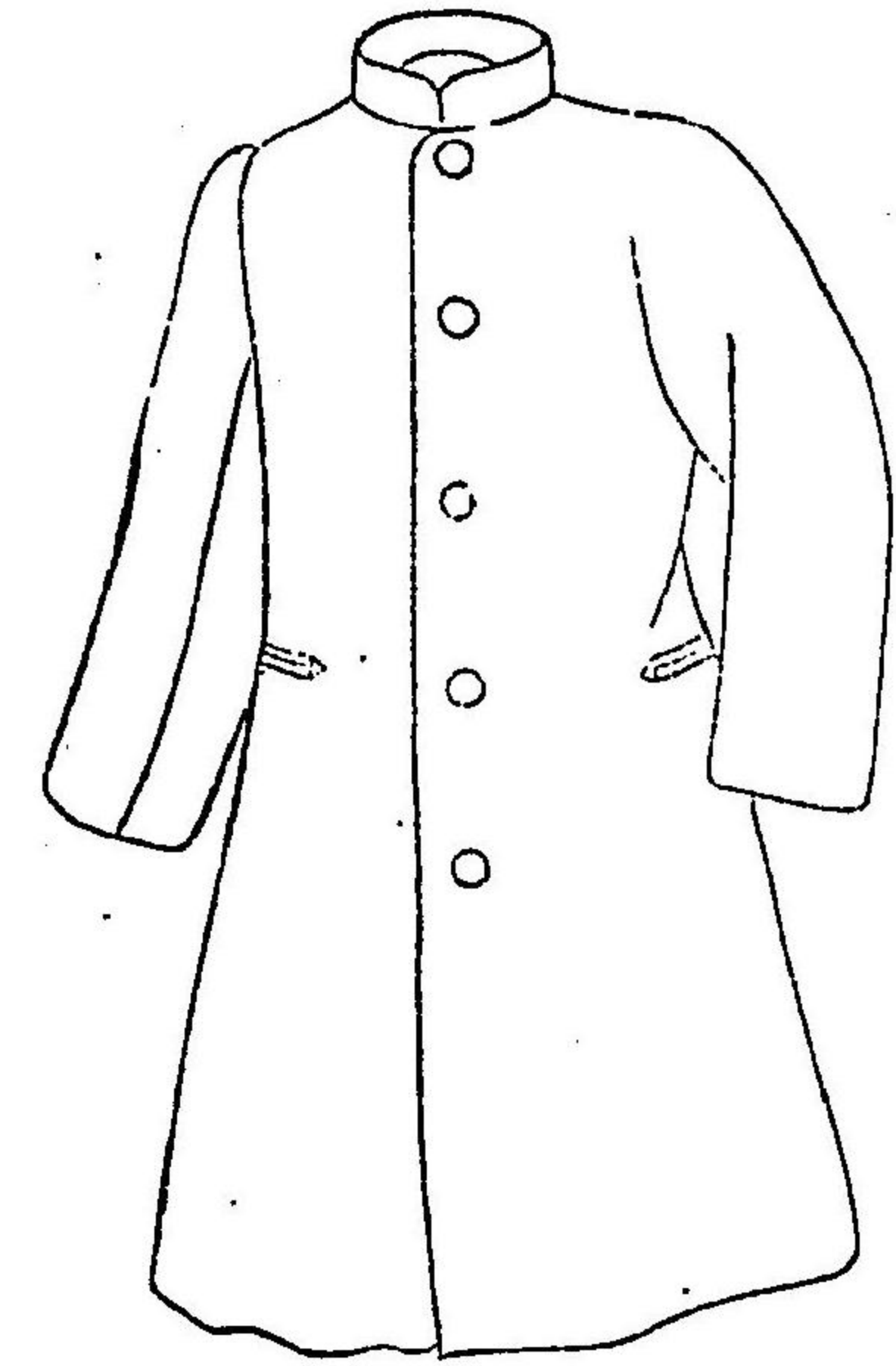


外套			名稱	袴			名稱	上衣		
馬丁	馭者	監丁		馬丁	馭者	監丁		馬丁	馭者	監丁
同	同	同	地	同	茶褐雲齋	同	同	茶褐雲齋	但シ夏衣茶褐雲齋	
同	同	同	質	同	同	質	同	同	同	
同	同	同	鈕	同	同	製	同	同	同	
同	同	同	式	同	同	式	同	同	同	
同	同	同	形狀	同	同	形狀	同	同	同	

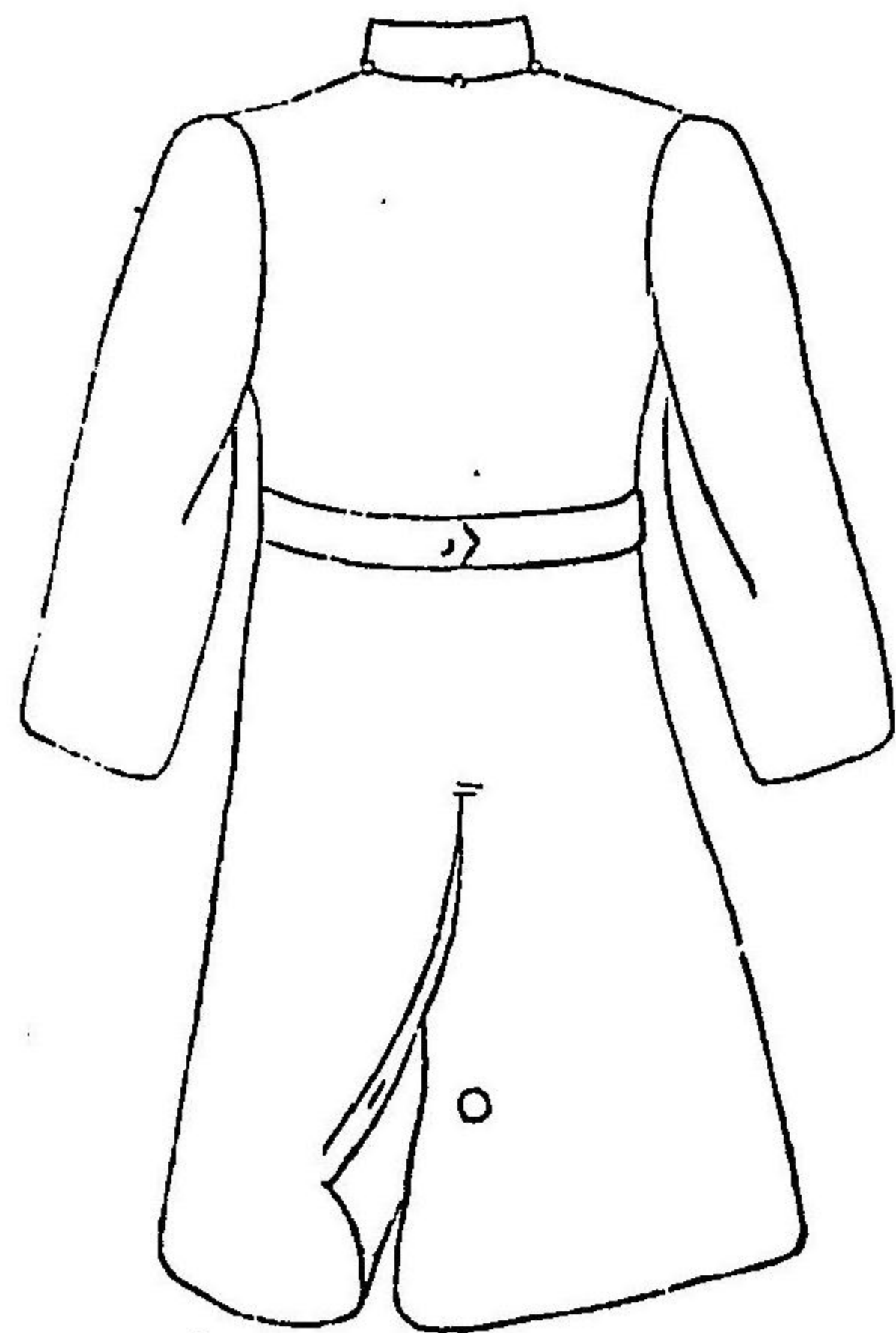
監丁 瀧紺又ハ黒絨或黒品質適宜  
 馭者 五角形徑七分五厘胸部ニ附シ收紐ニ一箇ヲ  
 馬丁 長サハ膝上際ヲ去ルコト約六寸種ノ長サハ腕部ヨリ延ルコト五分種ノ幅ハ二寸左  
 右ノ腰部ニ物入各一箇ヲ附ス  
 普通長袴  
 兩股ニ各一箇ノ物入ヲ附ス  
 前幅一寸二分  
 後幅一寸二分  
 左右ニ各二箇ノ物入ヲ附ス  
 同ノ如シ  
 同ノ如シ



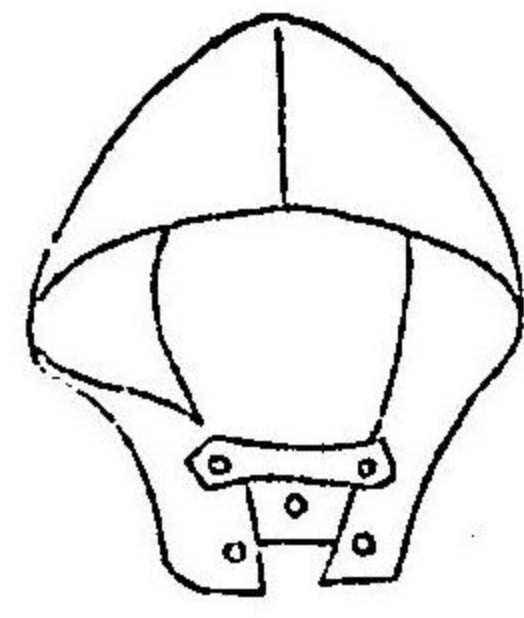
外套(前面)



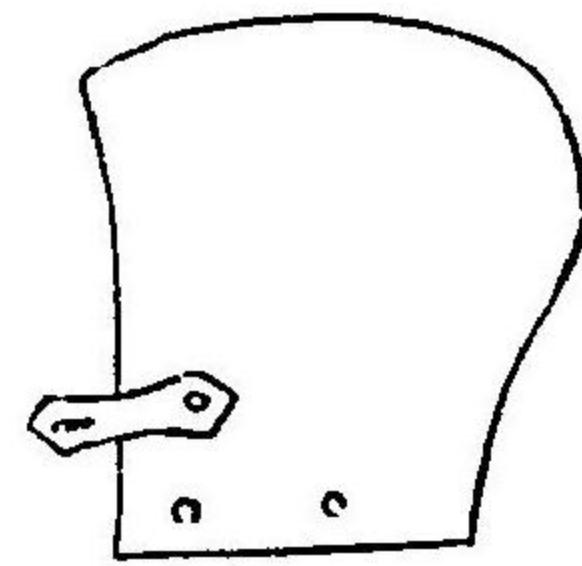
外套(後面)



外雨套  
(面前)



(面側)



●内國旅費規則

三十九年九月  
勅令第三百三十三號

改正

三二年勅令二〇八號  
四〇年二二六號

朕内國旅費規則改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

内國旅費規則

- 第一條 内國旅費ハ官吏公務ニ依リ本邦内ヲ旅行スルトキ之ヲ支給ス
- 第二條 内國旅費ハ分テ四等トシ別表定ムル處ニ從ヒ順路ニ依リ之ヲ支給ス
- 第三條 汽車旅行ニハ哩數ニ應シ汽車賃ヲ水路旅行ニハ海里數ニ應シ船賃ヲ其ノ他ノ旅行ハ陸路旅行トシ里數ニ應シ車馬賃ヲ支給ス
- 宿泊料ハ夜數ニ應シ日當ハ日數ニ應シ之ヲ支給ス但シ水路旅行ニハ宿泊料ヲ支給セス
- 官用ノ船舶ニテ旅行シ官ヨリ賄ヲ爲ササルトキハ食卓料ヲ支給ス
- 第四條 官用ノ舟車馬等ニテ旅行スルトキハ本令ノ汽車賃船賃車馬賃ヲ支給セス
- 旅行ノ性質又ハ地方ノ情況ニヨリ定額ノ汽車賃船賃車馬賃ヲ以テ支給シ難キ場合ハ實費ヲ以テ支給スルコトヲ得
- 第五條 強雨積雪又ハ道路險惡ノ爲メ定額ノ車馬賃ニテ支給シ難キ場合ハ定額二倍以内ノ車馬賃ヲ支給スルコトヲ得
- 第六條 汽車賃船賃車馬賃ハ旅行ノ種類毎ニ經過セシ路程ヲ合算シテ之ヲ支給ス但シ一位未滿端數ノ路程ハ切捨トス
- 第七條 年度若ハ日ニ依リテ旅費ヲ區分シテ計算スルノ必要アル場合ニ於テ汽車旅行若ハ水路旅行ニシテ其ノ區分判明ナラサルトキハ最近ノ到達地ニ著シタル日ヲ以テ其ノ路程ヲ區別シテ計算ス
- 第八條 陸路六里未滿汽車十哩未滿水路十海里未滿ノ旅行ニハ日當ヲ支給セス但シ公務ノ都合ニ依リ宿泊シタルトキハ日當及宿泊料ヲ支給ス



- 第九條 在勤廳所在地ノ市區町村内ヲ巡廻シ遠距離ニ涉ルトキハ一日五十錢以内ノ車馬賃ヲ支給スルコトヲ得
  - 第十條 赴任ノ場合ニハ舊任地ヨリ新任地マテ汽車賃船賃及車馬賃ニ限リ定額ノ二倍ヲ支給ス
  - 第十一條 旅行中私事ノ爲メ許可ヲ得テ迂路ヲ通過スルトキハ順路ノ路程ニ應シ旅費ヲ支給ス
  - 第十二條 旅行中廢官退官非職退職若ハ死亡ノモノニハ前官若ハ本官相當ヲ以テ舊任地マテノ旅費ヲ支給ス但シ刑事裁判又ハ懲戒處分ニ依リ退官ノモノハ此ノ限ニアラス
  - 第十三條 前二條ノ場合ニ於テ日數ノ計算方ハ汽車旅行ハ一日二百哩水路旅行ハ一日百海里諸陸路旅行ハ一日十二里諸トス但シ數種ノ旅行相跨ルトキハ各其ノ路程十二分ノ一ヲ以テ一時間ノ行程トシ一日ノ旅行ヲ十二時間トス但シ通算上ヨリ生スル一日未滿ノ端數ハ一日トシテ之ヲ計算ス
  - 第十四條 測量土木工事等ノ爲メ現場ヲ巡廻スル官吏又ハ平常旅行ヲ要スル官吏ニ對シテ各省大臣ハ特ニ其ノ旅費額ヲ定メ月額又ハ日額ヲ以テ之ヲ支給スルコトヲ得
  - 第十五條 各省大臣ハ旅費ノ定額ヲ減少シ若ハ其ノ一部ヲ支給スルコトヲ得
  - 第十六條 事務引繼殘務取調等ノ爲メ廢官若ハ退官者ニ旅行ヲ命スルトキハ前官相當ノ旅費ヲ支給ス
  - 第十七條 新ニ任用スル爲メ召喚スルトキハ新任官相當ノ旅費ヲ支給ス
  - 第十八條 陸海軍武官文官及警察官ノ旅費ハ主任大臣大藏大臣ト協議シ別ニ之ヲ定ム
  - 第十九條 雇員其ノ他本令ニ明文ナキモノノ旅費ハ別表ニ準シ主任大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム
- 附則
- 第二十條 各省大臣ハ當分ノ内臺灣又ハ樺太ノ旅行ニ限リ旅費定額ヲ以テ支辨シ難シト認ムル場合ニ於テハ大藏大臣ニ協議シ定額ノ旅費ニ對シ必要ノ増額ヲ爲スコトヲ得
  - 第二十一條 各省大臣ハ當分ノ内臺灣在勤滿二年以上ニシテ廢官諭旨退官若ハ非職トナリ三十日以内ニ同地出發歸郷スルモノニハ前官若ハ本官相當ノ旅費ヲ支給スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ日數ノ計算方ハ第十三條ノ例ニ據ル

臺灣在勤中死亡ノ者アルトキハ本條ニ準シ歸郷旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス

第二十一條ノ二 樺太ニ赴任スル者ニハ當分ノ内支度料ヲ支給スルコトヲ得其ノ額ハ主務大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第二十二條 本令ハ明治三十年十月一日ヨリ施行ス

(別表)

旅費額		汽車賃		船賃		車馬賃		宿泊料		日當		食卓料	
等	級	一哩	二哩	一哩	二哩	一哩	二哩	一日	一夜	一日	一日	一日	一日
一	等	七	七	七	七	三十五	三十五	三	三	四	二四五十錢	一四七十錢	一四七十錢
二	等	六	六	六	六	三十	三十	二	二	四	一四五十錢	一四五十錢	一四五十錢
三	等	五	五	五	五	二十	二十	一	一	四	一四五十錢	一四二十錢	一四二十錢
四	等	四	四	四	四	十五	十五	一	一	四	五十錢	九十錢	九十錢

●統監府及理事廳囑託員、雇員其ノ他旅費規則 三十九年二月八日總務長官願會 同月十二日第一五〇號大藏大臣承認

- 第一條 囑託員ノ旅費額ハ左ノ區別ニ依リ内國旅費規則又ハ外國旅費規則別表ノ定額ヲ支給ス
  - 一 手當月額百五十拾圓以上ノ者ハ奏任官相當ノ額ヲ給ス
  - 二 手當月額百五十拾圓未滿參拾圓以上ノ者ハ判任官參拾圓未滿ノ者ハ雇員ノ額ヲ給ス
  - 三 囑託韓國人ノ高等官又ハ判任官待遇者ハ其ノ待遇相當ノ額ヲ給ス
- 第二條 雇員巡視給仕小使職工等ノ内國旅費ハ本規則別表ニ依リ之ヲ支給ス
- 第三條 巡視給仕小使職工等ノ外國旅費ハ左ノ客舍料食卓料日當及支度料ヲ支給スル外汽船、汽車賃ノ下定價ヲ支給ス



客 舍 料 一圓五十錢  
 食 卓 料 四 十 錢  
 支 度 料 五 十 圓 以 內  
 汽船、汽車ノ設ケナキ地方ヲ旅行スルトキハ舟車馬賃ノ實費ヲ支給ス定價及實費ヲ支給スル場合ニ於テハ私屬ノ荷物十六貫目マテノ運賃ハ官費支給スルコトヲ得  
 第四條 前條第一項ノ日當ハ其ノ旅行中ノ日數ニ應シ之ヲ給ス  
 第五條 本規則ニ規定スルモノノ外旅費支給方ハ内國ニ在テハ内國旅費規則外國ニ在テハ外國旅費規則ノ規定ヲ準用ス  
 (別表)

名	稱	汽車賃	船賃	車馬賃	宿泊料	日當	食卓料
月俸三十圓以上員	四	付哩	一海里	一里	一付	一付	一付
月俸三十圓以下員	三	付哩	一海里	一里	一付	一付	一付
三十圓未満及巡視員	二	付哩	一海里	一里	一付	一付	一付
給仕、小使、取等者	二	付哩	一海里	一里	一付	一付	一付
馬丁、小使、取等者	二	付哩	一海里	一里	一付	一付	一付

●司法廳、裁判所及監獄囑託員、雇員、傭人旅費規則 四十二年十一月 統令第六十三號

統監府司法廳、統監府裁判所及統監府監獄囑託員、雇員、傭人旅費規則左ノ通定ム  
 統監府司法廳、統監府裁判所及統監府監獄囑託員、雇員、傭人旅費規則  
 囑託員、雇員(授業手ヲ含ム)及傭人(監丁、延丁、給仕、小使、取等者、馬丁等)ノ旅費ニ付テハ統監府及理事廳囑託員、雇員其他旅費規則ニ依ル  
 附則  
 本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●韓國人ニシテ裁判所及監獄ノ官吏、官吏待遇者、雇員及傭人タル者ノ旅費ニ關スル制 四十二年十一月 統令第五十二號

韓國人ニシテ統監府裁判所及統監府監獄ノ官吏、奏任及判任待遇者、雇員及傭人タル者ノ韓國内ニ於ケル旅費ニ付テハ内國旅費規則ヲ準用ス但シ旅費額ハ別表ニ依ル  
 附則  
 本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 (別表)

韓國内旅費額		汽車及船賃	車馬賃	宿泊料	日當	食卓料	支度料
官 等	任	一等實費	每二里	三	四	二	四
勅 任	一等實費	八	十	三	四	二	四
奏任及判任待遇者	一等實費	五	十	二	四	一	四
判任及判任待遇者	二等實費	三	十	一	四	一	四
看守及雇員	三等實費	二	十	七	三	七	十
傭 人	三等實費	八	十	四	二	三	十

●官吏待遇監獄職員旅費規則 四十二年十一月 統令第六十二號

奏任及判任待遇統監府監獄職員旅費規則左ノ通定ム  
 奏任及判任待遇統監府監獄職員旅費規則  
 第二輯 官規 第二章 手當 諸給 旅費



- 第一條 奏任及判任待遇統監府監獄職員ノ韓國内ノ旅費ニ付テハ外國旅費規則ヲ準用ス但シ統監府看守及統監府女監取締ノ旅費額ハ備員ノ額ニ依ル
- 第二條 奏任及判任待遇統監府監獄職員ノ本邦内ニ於ケル旅費ニ付テハ內國旅費規則ヲ準用ス但シ統監府看守及統監府女監取締ノ旅費額ハ警察官吏其他內國旅費概則中看守ノ額ニ依ル
- 第三條 統監府及理事應職員給與令第七條ノ規定ハ奏任及判任待遇統監府監獄職員ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國旅費規則

二十年五月 閣令第十二號

改正 二六年勅令五七號、二七年四六號、三〇年三三四號

各 官 廳

外國旅費規則左ノ通相定メ本年七月一日ヨリ施行ス

外國旅費規則

- 第一條 外國旅費ハ官吏公務ニ依リ外國ニ旅行スルトキ其行程日數ニ應シ旅行中一切ノ費用ニ充ツル爲メ之ヲ支給ス
- 第二條 外國旅費ハ船舶料、汽車料、客舍料、食卓料、日常及支度料ノ六種トス
- 第三條 客舍料、食卓料、日常、支度料ハ各官等ニ依リ分テ五等トシ第一號表ニ照シ船舶料、汽車料ハ勅奏判任官ハ一等、備員ハ二等ノ額ヲ以テ第二號表ニ照シ之ヲ支給ス
- 第四條 表面外ノ地ニ旅行スルトキ勅奏判任官ハ汽船、汽車賃ノ一等定額、備員ハ二等定額ヲ支給ス其二等ナキ場合ハ一等ヲ支給ス
- 汽船、汽車ノ設ナキ地方ヲ旅行スルトキハ舟、車、馬賃ノ實費ヲ支給ス
- 定價及實費ヲ支給スル場合ニ於テハ私屬ノ荷物三十五貫目マテノ運賃ハ官費支給スルコトヲ得

第五條 前條ノ場合ニ於テハ旅行者ヨリ旅行日記、受取書等精確ナル證明書ヲ出サシメ之ニ基キ支給スヘシ

旅行者ハ精密ナル旅行日記ヲ作り毎日ノ行程、宿泊ノ場所、旅店名稱、船名、賃銀等ヲ記入スヘシ

旅行者ハ成ルヘク運輸會社或ハ運輸營業人ノ受取書其他舟、車、馬賃ノ證明トナルヘキモノヲ取置ヘシ

第六條 船舶料、汽車料ハ官ヨリ船、車ヲ供スルトキハ之ヲ支給セス

第七條 食卓料ハ官ヨリ船舶ヲ供スルモ賄ヲ爲ササルトキニ限り航海ノ日數ニ應シ之ヲ支給ス

食卓料ハ客舍料ト重複ニ支給セス

第八條 客舍料ハ陸地宿泊ノ數ニ應シ之ヲ支給ス

航海途中汽船ノ寄港シタル場合ニ於テ自己ノ便宜ヲ以テ上陸宿泊スルトキハ客舍料ヲ支給セス

第九條 日常ハ本邦出發港接錨ノ日ヨリ本邦歸著港ニ投錨ノ日マテ日數ニ應シテ支給ス

第十條 支度料ハ各省大臣ニ於テ豫メ旅程ノ遠近、日數ノ多少、公務ノ性質等ヲ斟酌シ第一號表ニ掲クル範圍内ニ於テ相當ノ額ヲ定メ支給スヘシ

支度料ハ本邦ヨリ外國へ旅行ヲ命シタルトキ之ヲ支給シ其外國ニ在テ甲國ヨリ乙國へ旅行ヲ命スルコトアルモ之ヲ支給セサルモノトス

第十一條 奏任官四等以上ノ者從者ヲ伴ヒ外國ニ旅行スルトキ從者一人ニ限り願ニ依リ表面二等ノ船舶料、

汽車料表面外ノ地ハ及五等ノ食卓料ヲ支給スルコトアルヘシ

第十二條 外國へ旅行ヲ命セラレタル者出發前死去又ハ官ノ都合ニ由リ旅行ヲ免シタルトキハ支度料ノ半額ヲ支給ス

第十三條 外國旅行若クハ在勤中廢官退官及非職ノ者其命令到達ノ日ヨリ四週間以内ニ其所在地ヲ出發歸朝

スルトキハ其地ヨリ本邦出發地マテ本官若クハ舊官相當ノ旅費ヲ給ス但自己ノ便宜又ハ刑事裁判及懲戒處

分ニ由リ退官ノ者ハ此限ニアラス

外國旅行若クハ在勤中死亡ノ者ハ其地ヨリ本邦出發港マテ舊官相當ヲ以テ第二號表汽車料、船舶料ノ一割







### 第三章 任用 採用 試験

#### ●文官任用令

三十二年三月  
勅令第六十二號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ文官任用令ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

#### 文官任用令

第一條 勅任文官ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ任用ス但シ親任式ヲ以テ敍任スル官及別ニ任用ノ規程ヲ設クルモノハ此ノ限ニ在ラス

一 奏任文官 特別ノ規程ニ依リ任用セラレタル者及教官、技術官ヲ除クノ職ニ在ル者及在リタル者ニシテ高等官三等ノ文官ノ職ニ在ル者及在リタル者

二 滿一年以上勅任文官ノ職ニ在リタル者但シ特別任用ノ規程ニ依リ在職シタル者並教官、技術官ノ在職年數ヲ除ク

三 勅任文官 特別ノ規程ニ依リ任用セラレタル者及教官、技術官ヲ除クノ職ニ在リタル者ニシテ本令第二條第一項ノ資格ヲ有スル者

四 滿一年以上勅任檢事ノ職ニ在ル者及在リタル者

滿二年以上勅任判事ノ職ニ在ル者及在リタル者ハ司法省ノ勅任文官ニ任用スルコトヲ得

滿二年以上帝國大學及文部省直轄諸學校ノ勅任文官ノ職ニ在ル者及在リタル者ハ文部省部内ノ勅任文官ニ任用スルコトヲ得

陸海軍將官ハ別ニ任用ノ規程アルモノノ外各其ノ部内ノ勅任文官ニ任用スルコトヲ得

第二條 奏任文官ハ別ニ任用ノ規程ヲ設クルモノノ外左ノ資格ノ一ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ任用ス

一 文官高等試験ヲ經テ其ノ合格證書ヲ有スル者

二 滿二年以上高等文官ノ職ニ在リタル者但シ特別任用ノ規程ニ依リ在職シタル者並教官、技術官ノ在職年數ヲ除ク

三 滿二年以上檢事ノ職ニ在ル者及在リタル者

滿二年以上判事ノ職ニ在ル者及在リタル者ハ司法省ノ奏任文官ニ任用スルコトヲ得

第三條 判任文官ハ別ニ任用ノ規程ヲ設クルモノノ外左ノ資格ノ一ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ任用ス

一 文官普通試験ヲ經テ其ノ合格證書ヲ有スル者

二 文官高等試験ヲ經テ其ノ合格證書ヲ有スル者

三 官立公立中學校又ハ文部大臣ニ於テ之ト同等以上ト認めタル官立公立學校ノ卒業證書ヲ有スル者

四 高等商業學校舊附屬主計學校及舊主計專修科ノ卒業證書ヲ有スル者並文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ

依リ法律學、政治學又ハ經濟學ヲ教授スル私立學校ニ於テ明治二十六年十一月十日以前ニ卒業證書ヲ得タル者

五 滿二年以上文官ノ職ニ在リタル者但シ特別任用ノ規程ニ依リ在職シタル者並教官、技術官ノ在職年數ヲ除ク

第四條 教官及技術官ハ別ニ任用ノ規程ヲ設クルモノノ外高等官ニ在リテハ文官高等試験委員、判任官ニ在リテハ文官普通試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用ス

第五條 特別ノ學術技藝ヲ要スル行政官ハ高等官ニ在リテハ文官高等試験委員、判任官ニ在リテハ文官普通試験委員ノ銓衡ヲ經テ教官、技術官ノ中若ハ試験委員ニ於テ教官、技術官タルノ資格アリト認めル者ノ中ヨリ之ヲ任用スルコトヲ得

第六條 滿五年以上雇員トシテ同一官廳ニ勤績シタル者ハ文官普通試験委員ノ銓衡ヲ經テ直ニ其ノ官廳ノ判任文官ニ任用スルコトヲ得

第七條 本令第一條第二項第三項第四項、第二條第二項、第四條、第五條及第六條其ノ他特別ノ規程ニ依リ任用セラレタル者ハ文官試験ヲ經ルニ非サレハ其ノ各條項又ハ其ノ規程ニ指定シタル以外ノ文官ニ任用スルコトヲ得ス



第八條 文官任用及銓衡ニ關スル細則ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第九條 本令ハ明治三十二年四月十日ヨリ施行ス

●統監府總務長官及統監祕書官任用分限及官等ニ關スル制 三十八年十二月 勅令第二百七十五號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府總務長官及統監祕書官ノ任用分限及官等ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府總務長官及統監祕書官ノ任用分限及官等ニ關シテハ文官任用令、文官分限令及高等官官等俸給令第七條第八條ノ規定ヲ適用セス

●統監府及理事廳職員特別任用令 三十八年十二月 勅令第二百七十六號 改正 四〇年勅令三〇〇號 四二年二五三號、三四號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府及理事廳職員特別任用令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府及理事廳職員特別任用令

第一條 統監府書記官、理事官及副理事官ハ左ニ掲クル者ノ中ヨリ之ヲ任用スルコトヲ得

一 外交官、領事官又ハ貿易事務官ノ職ニ在ル者

二 外交官又ハ領事官タルノ資格ヲ有スル者

副理事官ハ左ニ掲クル者ノ中ヨリ文官高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルコトヲ得

一 一年以上地方行政事務ニ従事スル高等官ノ職ニ在リ又ハ在リタル者

二 一年以上統監府及理事廳判任官ノ職ニ在リ現ニ二級俸以上ノ俸給ヲ受クル者

統監府參與官ニシテ涉外事務ヲ掌ル者ハ第一項ニ依リ任用シタル書記官ノ中ヨリ之ヲ任用スルコトヲ得

第二條 統監府通譯官ハ公使館通譯官ニシテ韓國ニ在勤スル者又ハ文官高等試験委員ノ銓衡ヲ經タル者ノ中ヨリ之ヲ任用ス

第三條 統監府及理事廳屬ハ左ニ掲クル者ノ中ヨリ之ヲ任用スルコトヲ得

一 外務書記生ノ職ニ在ル者

二 外務書記生タルノ資格ヲ有スル者

第四條 第一條第一項第二號及第三條第二號ノ規定ハ任用ニ關スル特別ノ規定ニ依リテ資格ヲ有スル者ヲ包含セサルモノトス

第五條 統監府及理事廳通譯生ハ外務通譯生ニシテ韓國ニ在勤スル者又ハ文官普通試験委員ノ銓衡ヲ經タル者ノ中ヨリ之ヲ任用ス

第六條 (削除)

第七條 涉外事務ヲ掌ル參與官、通譯官及第一條第一項第一號及第二號ニ依リ任用シタル書記官、理事官、副理事官カ外交官、領事官、貿易事務官又ハ外務省高等官ニ轉任シタル場合又ハ轉任セントスル場合ニ於テハ統監府又ハ理事廳ノ在職ヲ以テ在外公館ノ在職ト看做ス通譯生及第三條ニ依リ任用シタル屬カ領事官外務書記生、外務通譯生又ハ外務省判任官ニ轉任シタル場合又ハ轉任セントスル場合亦同シ

●統監府司法廳職員特別任用令 四十二年十月 勅令第二百五十四號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府司法廳職員特別任用令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府司法廳職員特別任用令

第一條 二年以上勅任判事又ハ統監府裁判所勅任判事若ハ檢事ノ職ニ在リタル者ハ統監府司法廳ノ勅任文官ニ任用スルコトヲ得但シ特別ノ規定ニ依リ任用シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 二年以上判事又ハ統監府裁判所判事若ハ檢事ノ職ニ在リタル者ハ統監府司法廳ノ奏任文官ニ任用ス



ルコトヲ得但シ特別ノ規定ニ依リ任用シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 前二條ノ在職年數ハ裁判所及統監府裁判所ニ在職シタル期間ヲ通算ス

第四條 五年以上監獄事務ニ従事シ現ニ判任官ニ級俸以上ノ俸給ヲ受クル者ハ當分ノ内文官高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ統監府司法廳監獄事務官ニ任用スルコトヲ得

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府判事及檢事ノ任用ニ關スル制

四十二年十月 勅令第二百五十五號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府判事及檢事ノ任用ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
統監府判事及統監府檢事ハ裁判所構成法ニ依リ判事檢事又ハ司法官試補タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ任用ス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際韓國ノ判事又ハ檢事ノ職ニ在ル者ハ本令施行ノ際ニ限リ特ニ之ヲ統監府判事又ハ統監府檢事ニ任用スルコトヲ得

三年以上裁判所、統監府法務院若ハ統監府裁判所ノ書記ノ職ニ在リタル者又ハ三年以上理事廳屬ノ職ニ在リ法律事務ニ従事シタル者ハ本令施行後二年間ヲ限リ統監ノ定ムル所ニ依リ試験ヲ經テ特ニ之ヲ統監府判事又ハ統監府檢事ニ任用スルコトヲ得

前項ノ在職年數ハ裁判所、統監府法務院、統監府裁判所及理事廳ニ在職シタル期間ヲ通算ス

●統監府裁判所書記長及統監府裁判所書記特別任用令

四十二年十月 勅令第二百五十七號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府裁判所書記長及統監府裁判所書記特別任用令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
統監府裁判所書記長及統監府裁判所書記特別任用令

第一條 統監府裁判所書記長ハ五年以上裁判所、統監府法務院若ハ統監府裁判所ニ於テ書記ノ職ニ在リタル者又ハ五年以上理事廳屬ノ職ニ在リ法律事務ニ従事シタル者ニシテ現ニ判任官三級俸以上ノ俸給ヲ受クル者ノ中ヨリ文官高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルコトヲ得

前項ノ在職年數ハ裁判所、統監府法務院、統監府裁判所及理事廳ニ在職シタル期間ヲ通算ス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際韓國ノ裁判所書記長ノ職ニ在ル者ハ之ヲ統監府裁判所書記長ニ、韓國ノ裁判所書記又ハ法部主事ノ職ニ在ル者ハ之ヲ統監府裁判所書記ニ本令施行ノ際ニ限リ之ヲ任用スルコトヲ得

●統監府裁判所及監獄ノ職員タル韓國人ノ任用分限及給與

ニ關スル制

四十二年十月 勅令第二百五十九號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府裁判所及統監府監獄ノ職員タル韓國人ノ任用分限及給與ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 帝國大學、專門學校又ハ韓國ノ官立學校ニ於テ三學年以上法律學科ヲ修メタル韓國人ハ文官高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ統監府判事又ハ統監府檢事ニ任用スルコトヲ得

第二條 韓國ノ法規ニ依リ一般ノ判任文官タル資格ヲ有スル韓國人ハ文官普通試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之



ヲ統監府裁判所書記又ハ統監府看守長ニ任用スルコトヲ得

第三條 韓國人タル官吏ニ關シテハ文官分限令及滿韓在勤文官加俸令ヲ適用セス

第四條 韓國人タル官吏ニ對スル給與ハ別表ニ依ル

第五條 韓國人タル官吏ノ旅費ニ關スル規則ハ統監之ヲ定ム

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際韓國法部ノ勅任官又ハ奏任官タル韓國人ハ本令施行ノ際ニ限リ特ニ之ヲ統監府判事又ハ統監府檢事ニ任用スルコトヲ得

(別表)

高等官年俸表

一級	二千圓
二級	千八百圓
三級	千六百圓
四級	千四百圓
五級	千二百圓
六級	千圓
七級	九百圓
八級	八百圓
九級	七百圓
十級	六百圓
十一級	五百圓

判任官月俸表

一級	五十圓
二級	四十五圓
三級	四十圓
四級	三十五圓
五級	三十圓
六級	二十五圓
七級	二十圓
八級	十五圓
九級	十二圓
十級	十圓

●統監府警視警部ノ任用及分限ニ關スル制

四十二年十月 勅令第二百五十八號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府警視警部ノ任用及分限ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府警視ハ韓國ノ警視タル日本人ノ中ヨリ、統監府警部ハ韓國ノ警視警部タル日本人ノ中ヨリ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

前項ノ警視警部ニシテ韓國ノ警視警部ヲ免セラレタルトキハ當然其ノ官ヲ免セラレタルモノトス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府巡查採用及給與令

四十二年十月 勅令第四十二號

統監府巡查採用及給與令左ノ通定ム

統監府巡查採用及給與令

- 第一條 統監府巡查ハ日本人タル韓國巡查ノ中ヨリ特ニ之ヲ採用スルコトヲ得
- 前項ノ巡查ニシテ韓國ノ巡查ヲ免セラレタルトキハ當然其ノ職ヲ免セラレタルモノトス
- 第二條 統監府巡查ノ給與ニ付テハ巡查給與令ヲ準用ス
- 第三條 統監府巡查ニハ滿韓在勤文官加俸令ヲ準用ス
- 第四條 統監府巡查ニハ一箇月十圓以内ノ宿料ヲ給スルコトヲ得
- 第五條 統監府巡查ノ俸給ハ其ノ支給ヲ停止シ其ノ他ノ給與ハ之ヲ支給セス

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

巡查給與令 三十九年九月 勅令第二百五十九號

朕巡查給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

巡查給與令

第一條 巡查ノ月俸ハ十二圓乃至二十四圓トス但シ巡查部長タル巡查ニハ二十五圓迄ヲ給スルコトヲ得

教習中ノ巡查ノ月俸ハ九圓乃至十一圓トス

第二輯 官規 第三章 任用 採用 試驗



第二條 初メテ巡查ヲ命セラルル者ノ月俸ハ十五圓以下トス

判任官以上ノ官職ニ在リタル者又ハ巡查ノ職ニ在リタル者カ巡查ヲ命セラレタル場合ニハ第一條ニ定メタル範圍内ニ於テ其ノ前俸額以內ノ月俸ヲ給スルコトヲ得

第三條 月俸ノ増給ハ三圓ヲ超ユルコトヲ得ス

十五圓以上ノ月俸ヲ受クル巡查ニハ六箇月ヲ經過スルニ非サレハ増給スルコトヲ得ス十五圓未滿ノ月俸ヲ受クル巡查ニシテ十五圓以上ニ増給スル場合亦同シ

第四條 巡查部長タル巡查及刑事通譯其ノ他特別ノ技能ヲ有スル巡查ニハ第二條及第三條ヲ適用セス

第五條 休職巡查ニシテ陸海軍ヨリ受クル俸給又ハ給料ノ月額休職ヲ命セラレタル當時ノ月俸額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ニ相當スル金額以內ノ休職給ヲ給スルコトヲ得

第六條 刑事通譯其ノ他特別ノ技能ヲ有スル巡查ニハ一箇月二十四日以内ノ特別手當ヲ給スルコトヲ得

第七條 非番ノ日ニ於テ臨時勤務ニ服シタル巡查ニハ一日五十錢以内ノ勤務手當ヲ給スルコトヲ得

第八條 訓練中ノ巡查ニハ一箇月七日以内ノ訓練手當ヲ給スルコトヲ得

第九條 巡查ニハ一箇月五圓以内ノ宿料ヲ給スルコトヲ得

第十條 月俸ハ新任、増俸、減俸及復職ノ場合ニ於テハ其ノ翌日ヨリ、退職ノ場合ニ於テハ其ノ當日迄日割ヲ以テ給ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ其ノ全額ヲ給ス

一 職務上ノ傷疾又ハ疾病ニ由リ其ノ職ニ堪ヘズ退職シタル者

二 廢職ノ爲退職シタル者

三 身體若ハ精神ノ衰弱又ハ事務ノ都合ニ依リ退職ヲ命セラレタル者

四 休職ヲ命セラレタル者

五 在職中死亡シタル者

休職當月復職シタル者ニハ其ノ月ノ月俸ハ更ニ之ヲ給セス

第十一條 休職給ハ休職ノ翌月ヨリ之ヲ給ス

休職給、手當金及宿料ノ給與ニ關スル規定ハ廳府縣長官之ヲ定ム

第十二條 病氣ノ爲職務セサルコト六十日ヲ踰ユル者又ハ私事ノ故障ニ依リ職務セサルコト二十日ヲ踰ユル者ハ日割ヲ以テ月俸ノ半額ヲ減ス但シ公務ノ爲傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ヲ受クル者ハ此ノ限ニ在ラス

附則

第十三條 地方ノ狀況ニ依リ内務大臣ノ認可ヲ得テ當分ノ内巡查ニ最下俸以下九圓迄ノ月俸ヲ給スルコトヲ得

第十四條 本令施行ノ際ニ辭令ヲ受ケサル者ハ現ニ受ケル月俸額及特別手當ヲ給セラレルモノトス

第十五條 巡查看守俸給令及明治二十八年勅令第五百九十九號ハ之ヲ巡查ニ適用セス

●統監府典獄及統監府看守長特別任用令

四十二年十月 勅令第二百五十六號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ統監府典獄及統監府看守長特別任用令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

統監府典獄及統監府看守長特別任用令

第一條 統監府典獄ハ五年以上監獄事務ニ從事シ現ニ判任官三級俸以上ノ俸給ヲ受クル者ノ中ヨリ當分ノ内

文官高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルコトヲ得

第二條 統監府看守長ハ現ニ看守長ノ職ニ在ル者ノ中ヨリ之ヲ任用スルコトヲ得

三年以上看守ノ職務ニ從事シ精勤證書ヲ有シ現ニ其ノ職ニ在ル者ハ實務ノ成績ヲ考查シ及學術ヲ試験シ文

官普通試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ統監府看守長ニ任用スルコトヲ得

前項ノ考查及試験ハ統監府典獄之ヲ行フ其ノ方法及科目ハ統監之ヲ定ム

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際韓國ノ典獄ノ職ニ在ル者ハ統監府典獄ニ、理事廳看守長又ハ韓國ノ看守長ノ職ニ在ル者ハ統監府看守長ニ本令施行ノ際ニ限リ之ヲ任用スルコトヲ得

●統監府看守採用規則

四十二年十月 統令第四十三號

統監府看守採用規則左ノ通定ム

統監府看守採用規則

第二輯 官規 第三章 任用 採用 試験



